

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

阪大医病総 番
令和 7年 10月
開設者名 学長 熊ノ郷 淳

3号
1日

大阪大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番1号
氏名	国立大学法人大阪大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

大阪大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒565-0871 大阪府吹田市山丘2番15号
電話(06)6879 - 5111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
<input checked="" type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
<input checked="" type="radio"/>	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
「神経内科」の内容は脳神経内科、「アレルギー疾患内科またはアレルギー科」、「リウマチ科」の診療内容は免疫内科、「内分泌内科」、「代謝内科」の診療内容は糖尿病・内分泌・代謝内科、「血液内科」の診療内容は血液・腫瘍内科で提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科								
外科と組み合わせた診療科名								
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科	
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科	
診療実績								
「乳腺外科」、「内分泌外科」の診療内容は乳腺・内分泌外科で提供している。								

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科								有
歯科と組み合わせた診療科名								
	1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科			
歯科の診療体制								

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	脳神経内科	2	糖尿病・内分泌・代謝内科	3	アレルギー疾患リウマチ科	4	血液・腫瘍内科	5	老年内科
6	感染症内科	7	乳腺・内分泌外科	8	病理診断科	9	形成外科	10	リハビリテーション科
11	神経・精神科	12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
52				1034	1086

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	496	416.4	912.4
歯科医師	3	0	3
薬剤師	102	0	102
保健師	0	0	0
助産師	43	1	44
看護師	1072	17.4	1089.4
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	3	0	3
管理栄養士	18	0	18

職種	員数
看護補助者	101
理学療法士	27
作業療法士	6
視能訓練士	21
義肢装具士	0
臨床工学士	48
栄養士	0
歯科技工士	0
診療放射線技師	74

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	103
	衛生検査技師	2
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	16	
その他の技術員	38	
事務職員	408	
その他の職員	58	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	127	眼科専門医	28
外科専門医	130	耳鼻咽喉科専門医	16
精神科専門医	16	放射線科専門医	38
小児科専門医	41	脳神経外科専門医	19
皮膚科専門医	15	整形外科専門医	30
泌尿器科専門医	24	麻酔科専門医	24
産婦人科専門医	22	救急科専門医	21
		合計	551

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (野々村 祝夫) 任命年月日 令和 6 年 4 月 1 日

医療クオリティ審議委員会・3号委員(令和2年4月～令和4年3月)
 高難度新規医療技術評価委員会・委員長(平成30年4月～令和6年3月)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	829.9 人	0 人	829.9 人
1日当たり平均外来患者数	2,306.44 人	18.82 人	2325.26 人
1日当たり平均調剤数		1120.5	剤
必要医師数		220	人

必要歯科医師数	1	人
必要薬剤師数	28	人
必要(准)看護師数	468	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数			
集中治療室	847.38 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	34 床	有	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー	有 有 有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	420.22	㎡	病床数	30 床
	[移動式の場合]	台数	15	台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	55			㎡
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	643 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、遠心分離機、自動分析装置		
細菌検査室	135 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、顕微鏡、恒温器、安全キャビネット		
病理検査室	305 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、顕微鏡、ドラフトチャンバー		
病理解剖室	65 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、保管庫、冷蔵庫		
研究室	12121 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	パソコン等OA機器、実験台、保管庫		
講義室	1187 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	7 室	収容定員	953 人
図書室	3606 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	- 室	蔵書数	352000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	93.8	%	逆紹介率	84.7	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		19281 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		18075 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		745 人		
	D: 初診の患者の数		21341 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況

倉智 博久	大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 総長	○	医療側・経営側の両知識を有する者として選定	無	1
橋本 重厚	福島県立医科大学 会津医療センター糖尿病内分泌代謝・腎臓内科学講座教授 同附属病院医療安全管理部長		医療安全管理部長として医療安全管理の専門家として選定	無	1
水島 幸子	水島綜合法律事務所 所長		法律の専門家である上、医療に精通している者として選定	無	1
橋本 佐与子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センター COML 理事		患者・医療者双方のコミュニケーション能力を高める活動等に取り組み、患者目線で医療について助言できる者として選定	無	2
井上 恵嗣	大阪大学理事		リスク管理を担当する理事として選定	有	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	大阪大学ホームページにて公開

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	皮膚・軟部の脈管奇形に対するIVR治療	取扱患者数	51
当該医療技術の概要 頭頸部・四肢・体幹部等の脈管奇形(血管奇形・リンパ管奇形及びそれらの混合型)に対して塞栓術や硬化療法などIVR (interventional radiology)治療を行う。			
医療技術名	神経内分泌腫瘍に対するラジオアイソトープ(RI)治療	取扱患者数	24
当該医療技術の概要 神経内分泌腫瘍(NET)に対するラジオアイソトープ治療(ルタテラ®)を実施できる。			
医療技術名	褐色細胞腫・パラガングリオーマに対するラジオアイソトープ(RI)治療	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 褐色細胞腫・パラガングリオーマに対するラジオアイソトープ治療(ライアット®)を実施できる。			
医療技術名	卵巣機能不全患者に対するDHEAを用いた卵巣機能改善	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 早発卵巣機能不全(早発閉経)や、卵巣刺激におけるPoor responderなどの卵巣機能不全患者に対し、DHEA(Dehydroepiandrosterone)の内服治療を行うことで、卵巣機能改善を図る。			
医療技術名	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	取扱患者数	9
当該医療技術の概要 中・高リスクの子宮体癌に対して、一次的に傍大動脈リンパ節郭清術を腹腔鏡手術で行うことで、低侵襲治療を提供する。			
医療技術名	腹腔鏡下卵巣癌根治術	取扱患者数	0
当該医療技術の概要 卵巣癌に対する根治手術を腹腔鏡手術で行い、安全性を検討する。			
医療技術名	腹腔鏡下骨盤除臓術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 直腸や膀胱を子宮・膣と合併切除する拡大手術について、腹腔鏡手術で行い、低侵襲化を図る手術である			
医療技術名	十二指腸ESD	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 十二指腸に発生する腫瘍性病変に対して行う内視鏡的粘膜下層剥離術。			
医療技術名	経カテーテル的三尖弁留置術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 重度三尖弁閉鎖不全にて心不全症状を有する患者で開胸の手術リスクが高い患者に対して行っている			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	9
取扱い患者数の合計(人)	103

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	56	ベーチェット病	126
2	筋萎縮性側索硬化症	46	57	特発性拡張型心筋症	337
3	脊髄性筋萎縮症	5	58	肥大型心筋症	76
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	8
5	進行性核上性麻痺	46	60	再生不良性貧血	54
6	パーキンソン病	592	61	自己免疫性溶血性貧血	13
7	大脳皮質基底核変性症	14	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	25
8	ハンチントン病	4	63	特発性血小板減少性紫斑病	83
9	神経有棘赤血球症	4	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	8	65	原発性免疫不全症候群	39
11	重症筋無力症	260	66	IgA 腎症	69
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	116
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	242	68	黄色靱帯骨化症	2
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	30	69	後縦靱帯骨化症	67
15	封入体筋炎	3	70	広範脊柱管狭窄症	4
16	クドウ・深瀬症候群	2	71	特発性大腿骨頭壊死症	66
17	多系統萎縮症	27	72	下垂体性ADH分泌異常症	13
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	92	73	下垂体性TSH分泌亢進症	5
19	ライソゾーム病	79	74	下垂体性PRL分泌亢進症	17
20	副腎白質ジストロフィー	7	75	クッシング病	22
21	ミトコンドリア病	21	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	4
22	もやもや病	30	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	60
23	プリオン病	5	78	下垂体前葉機能低下症	206
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	5
25	進行性多巣性白質脳症	2	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	6
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	48	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	111
30	遠位型ミオパチー	5	85	特発性間質性肺炎	50
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	66
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	10
34	神経線維腫症	98	89	リンパ脈管筋腫症	40
35	天疱瘡	34	90	網膜色素変性症	80
36	表皮水疱症	48	91	バッド・キアリ症候群	2
37	膿疱性乾癬(汎発型)	11	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	93	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	50
39	中毒性表皮壊死症	3	94	原発性硬化性胆管炎	21
40	高安動脈炎	56	95	自己免疫性肝炎	31
41	巨細胞性動脈炎	21	96	クローン病	300
42	結節性多発動脈炎	18	97	潰瘍性大腸炎	312
43	顕微鏡的多発血管炎	54	98	好酸球性消化管疾患	9
44	多発血管炎性肉芽腫症	28	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	9
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	51	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	9	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	9	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	8	103	CFC症候群	1
49	全身性エリテマトーデス	486	104	コストロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	164	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	224	106	クリオピリン関連周熱症候群	1
52	混合性結合組織病	69	107	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	3
53	シェーグレン症候群	85	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
54	成人スチル病	19	109	非典型型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	19	110	ブラウ症候群	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

111	先天性ミオパチー	4	161	家族性良性慢性天疱瘡	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	20
113	筋ジストロフィー	46	163	特発性後天性全身性無汗症	22
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	1	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	4
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	8
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	8
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	1
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	16
122	脳表ヘモジドリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	1
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	3	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	14	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名(有馬症候群)	2
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	1	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	1	180	ATR-X症候群	1
131	アレキサンダー病	1	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	1	188	多脾症候群	2
139	先天性大脳白質形成不全症	1	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	3
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	193	ブラダー・ウィリ症候群	2
144	レノックス・ガスター症候群	1	194	ソトス症候群	1
145	ウエスト症候群	5	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シン普森症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	1
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	1
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	2	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	203	22q11.2欠失症候群	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	2	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	2	207	総動脈幹遺残症	1
158	結節性硬化症	59	208	修正大血管転位症	3
159	色素性乾皮症	1	209	完全大血管転位症	5
160	先天性魚鱗癬	3	210	単心室症	16

4 指定難病についての診療

211	左心低形成症候群	2	272	進行性骨化性線維異形成症	0
212	三尖弁閉鎖症	9	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	274	骨形成不全症	4
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
215	ファロー四徴症	13	276	軟骨無形成症	3
216	両大血管右室起始症	6	277	リンパ管腫症/ゴーム病	4
217	エプスタイン病	1	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	1
218	アルポート症候群	1	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	5
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	6
220	急速進行性糸球体腎炎	2	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	3
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
222	一次性ネフローゼ症候群	59	283	後天性赤芽球癆	1
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	4	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
224	紫斑病性腎炎	2	285	ファンconi貧血	1
225	先天性腎性尿崩症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	287	エプスタイン症候群	0
227	オスラー病	18	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2
228	閉塞性細気管支炎	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
230	肺胞低換気症候群	2	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	3
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	0	292	総排泄腔外反症	1
232	カーニー複合	0	293	総排泄腔遺残	2
233	ウォルフラム症候群	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	1	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
235	副甲状腺機能低下症	8	296	胆道閉鎖症	16
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	297	アラジール症候群	3
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	298	遺伝性膀胱炎	1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	6	299	嚢胞性線維症	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	300	IgG4関連疾患	49
240	フェニルケトン尿症	3	301	黄斑ジストロフィー	2
241	高チロシン血症1型	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
242	高チロシン血症2型	0	303	アッシュャー症候群	0
243	高チロシン血症3型	0	304	若年発症型両側性感音難聴	1
244	メーブルシロップ尿症	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
245	プロピオン酸血症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	66
246	メチルマロン酸血症	0	307	カナバン病	0
247	イソ吉草酸血症	0	308	進行性白質脳症	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	8	309	進行性ミオクローヌスてんかん	0
249	グルタル酸血症1型	0	310	先天異常症候群	2
250	グルタル酸血症2型	0	311	先天性三尖弁狭窄症	1
251	尿素サイクル異常症	3	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
254	ポルフィリン症	1	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	316	カルニチン回路異常症	0
256	筋型糖原病	0	317	三頭酵素欠損症	0
257	肝型糖原病	4	318	シトリン欠損症	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
260	シトステロール血症	3	321	非ケトosis型高グリシン血症	0
261	タンジール病	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
262	原発性高カイロミクロン血症	2	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
263	脳腫黄色腫症	2	324	メチルグルタコン酸尿症	0
264	無 β リポタンパク血症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
265	脂肪萎縮症	0	326	大理石骨病	0
266	家族性地中海熱	3	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	3
267	高IgD症候群	0	328	前眼部形成異常	0
268	中條・西村症候群	0	329	無虹彩症	14

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	2
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	33
271	強直性脊椎炎	38	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	1
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
			334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	1
			336	家族性低βリポタンパク血症1 (ホモ接合体)	0
			337	ホモシスチン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
			339	MECP2重複症候群	0
			340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群 を含む。)	0
			341	TRPV4異常症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	341
合計患者数(人)	6334

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・情報通信機器を用いた診療に係る基準	・感染対策向上加算1
・医療DX推進体制整備加算	・患者サポート体制充実加算
・初診料(歯科)の注1に掲げる基準	・重症患者初期支援充実加算
・歯科外来診療医療安全対策加算1	・報告書管理体制加算
・歯科外来診療感染対策加算1	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料	・ハイリスク妊娠管理加算
・救急医療管理加算	・ハイリスク分娩管理加算
・超急性期脳卒中加算	・呼吸ケアチーム加算
・診療録管理体制加算1	・術後疼痛管理チーム加算
・医師事務作業補助体制加算2	・病棟薬剤業務実施加算1
・急性期看護補助体制加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・看護職員夜間配置加算	・データ提出加算
・療養環境加算	・入退院支援加算
・重症者等療養環境特別加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・無菌治療室管理加算1	・精神疾患診療体制加算
・無菌治療室管理加算2	・精神科急性期医師配置加算
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・地域医療体制確保加算
・放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)	・救命救急入院料3
・緩和ケア診療加算	・救命救急入院料4
・小児緩和ケア診療加算	・特定集中治療室管理料1
・精神科身体合併症管理加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・精神科リエゾンチーム加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・摂食障害入院医療管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・栄養サポートチーム加算	・小児入院医療管理料1
・医療安全対策加算1	・短期滞在手術等基本料1
・	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
酸素の購入単価	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
入院ベースアップ評価料80	外来化学療法加算1
歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)	無菌製剤処理料
外来・在宅ベースアップ評価料(I)	心大血管疾患リハビリテーション料(I)
看護職員処遇改善評価料61	脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
悪性腫瘍病理組織標本加算	運動器リハビリテーション料(I)
病理診断管理加算2	呼吸器リハビリテーション料(I)
画像誘導密封小線源治療加算	摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	がん患者リハビリテーション料
定位放射線治療	集団コミュニケーション療法料
画像誘導放射線治療(IGRT)	通院・在宅精神療法の注4に規定する児童思春期精神科専門管理加算
強度変調放射線治療(IMRT)	通院・在宅精神療法の注8に規定する療養生活継続支援加算
一回線量増加加算	通院・在宅精神療法の注10に規定する児童思春期支援指導加算
高エネルギー放射線治療	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
外来放射線治療加算	医療保護入院等診療料
放射線治療専任加算	静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
麻酔管理料(II)	多血小板血漿処置
麻酔管理料(I)	硬膜外自家血注入
レーザー機器加算	人工腎臓
手術時歯根面レーザー応用加算	導入期加算2及び腎代替療法実績加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	導入期加算3及び腎代替療法実績加算
コーディネート体制充実加算	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
輸血管理料 I	難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレンシス療法
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	ストーマ合併症加算
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	磁気による膀胱等刺激法

体外式膜型人工肺管理料	口腔粘膜処置
胎児輸血術及び臍帯穿刺	う蝕歯無痛的窩洞形成加算
無心体双胎焼灼術	CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
胎児胸腔・羊水腔シャント術	皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算
腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	皮膚移植術(死体)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	自家脂肪注入
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
腹腔鏡下膣式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
腹腔鏡下仙骨腔固定術	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
精巣内精子採取術	椎間板内酵素注入療法
精巣温存手術	緊急穿頭血腫除去術
人工尿道括約筋植込・置換術	内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)
生体腎移植術	癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
同種死体腎移植術	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)
腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	角結膜悪性腫瘍切除術
腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は带状角膜変性に係るものに限る。))
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	角膜移植術(内皮移植加算)
腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	羊膜移植術
入院時食事療養/生活療養(I)	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
糖尿病合併症管理料	毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)
がん性疼痛緩和指導管理料	網膜再建術
がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
がん患者指導管理料イ	人工中耳植込術

がん患者指導管理料ロ	植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
がん患者指導管理料ハ	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。)
がん患者指導管理料ニ	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
外来緩和ケア管理料	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
糖尿病透析予防指導管理料	喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
小児運動器疾患指導管理料	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
婦人科特定疾患治療管理料	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
腎代替療法指導管理料	乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
一般不妊治療管理料	乳癌センチネルリンパ節生検加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
生殖補助医療管理料1	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
下肢創傷処置管理料	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
慢性腎臓病透析予防指導管理料	乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
外来放射線照射診療料	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来腫瘍化学療法診療料1	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
連携充実加算	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算	胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
がん治療連携計画策定料	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ハイリスク妊産婦連携指導料2	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
プログラム医療機器等指導管理料	同種死体肺移植術
薬剤管理指導料	生体部分肺移植術
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
医療機器安全管理料1	縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
医療機器安全管理料2	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
精神科退院時共同指導料1及び2	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
歯科治療時医療管理料	胸腔鏡下弁形成術

救急搬送診療料の注4に規定する重症患者搬送加算	胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	胸腔鏡下弁置換術
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的 大動脈弁置換術)
在宅経肛門の自己洗腸指導管理料	経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持 続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	経皮的僧帽弁クリップ術
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない 持続血糖測定器を用いる場合)	不整脈手術左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
遺伝学的検査の注1に規定する施設基準	不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
遺伝学的検査の注2に規定する施設基準	経皮的中隔心筋焼灼術
染色体検査の注2に規定する基準	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
骨髄微小残存病変量測定	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレス ペースメーカー)
BRCA1/2遺伝子検査	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室 ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
がんゲノムプロファイリング検査	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心 室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
先天性代謝異常症検査	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込 型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特 異性同定検査)	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下 植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他 のもの)及び経静脈電極除去術
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極 の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換 術(心筋電極の場合)
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸 検出を含まないもの)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電 極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交 換術(経静脈電極の場合)
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
検体検査管理加算(I)	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
検体検査管理加算(IV)	補助人工心臓
国際標準検査管理加算	小児補助人工心臓
遺伝カウンセリング加算	植込型補助人工心臓(非拍動流型)
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	同種心移植術
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	同種心肺移植術
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	骨格筋由来細胞シート心表面移植術
胎児心エコー法	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
ヘッドアップティルト試験	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
人工膵臓検査、人工膵臓療法	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
長期継続頭蓋内脳波検査	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開 後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出 術、等
長期脳波ビデオ同時記録検査1	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法

中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	内視鏡的逆流防止粘膜切除術
単線維筋電図	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
脳磁図(自発活動を測定するもの)	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
脳磁図(その他のもの)	腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
脳波検査判断料1	腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
神経学的検査	腹腔鏡下胃縮小術
補聴器適合検査	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
黄斑局所網膜電図	腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
全視野精密網膜電図	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
ロービジョン検査判断料	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
コンタクトレンズ検査料1	腹腔鏡下肝切除術
内服・点滴誘発試験	腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
経頸静脈的肝生検	移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	生体部分肝移植術
経気管支凍結生検法	同種死体肝移植術
画像診断管理加算4	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
遠隔画像診断	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	腹腔鏡下膵中央切除術
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
CT撮影及びMRI撮影	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
冠動脈CT撮影加算	同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
血流予備量比コンピューター断層撮影	同種死体膵島移植術
外傷全身CT加算	生体部分小腸移植術
心臓MRI撮影加算	同種死体小腸移植術
乳房MRI撮影加算	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
頭部MRI撮影加算	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
全身MRI撮影加算	腹腔鏡下副腎摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髓質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
肝エラストグラフィ加算	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
HIV陽性者に対する精神・心理的支援方策の開発、及びHIV医療と精神科医療の連携体制構築に資する研究	池田学	精神医学	9,999,000	補	厚生労働省
データベースを活用した慢性腎臓病(CKD)の診療実態把握と最適化を目的とした体制構築	猪阪善隆	腎臓内科学	400,000	補	厚生労働省
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する外科治療の標準化に関する研究	江口英利	消化器外科学1	100,000	補	厚生労働省
原発性脂質異常症に関する調査研究	小関正博	循環器内科学	200,000	補	厚生労働省
中性脂肪蓄積心筋血管症の診療、療養実態把握と医療水準の向上に資する研究	平野賢一	中性脂肪学共同研究講座	3,400,000	補	厚生労働省
高齢者の身体機能低下に関する評価指標の検討、リスク要因の探索、ならびに予防法の確立に資する研究	山本浩一	老年・総合内科学	750,000	補	厚生労働省
ダウン症候群における自然歴調査とQOL向上のための包括的支援体制構築のための研究	北畠康司	小児科学	100,000	補	厚生労働省
救急応需要率向上を目指した効率的な救急医療提供体制の構築に資する研究	織田順	救急医学	400,000	補	厚生労働省
早老症の医療水準向上と予後改善を目指す集学的研究	鷹見洋一	老年・総合内科学	200,000	補	厚生労働省
エピゲノム制御によるプレジジョンエイジングを目指す神経発達症の加齢研究	木村亮	生命情報学研究領域	7,800,000	補	独立行政法人日本学術振興会
自己糖鎖認識機構の制御によりがん認識能を増強したCAR-NK細胞の開発	保仙直毅	血液・腫瘍内科学講座	3,510,000	補	独立行政法人日本学術振興会

がんエクソソーム抗原と内部RNA情報の統合解析による診断性能の最高精度化と応用	石井秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	4,810,000	補	独立行政法人日本学術振興会
がんエクソソーム抗原と内部RNA情報の統合解析による診断性能の最高精度化と応用	土岐祐一郎	疾患データサイエンス学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
がんエクソソーム抗原と内部RNA情報の統合解析による診断性能の最高精度化と応用	江口英利	疾患データサイエンス学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ブレインマシンインターフェース駆動型機能的電気刺激による完全体内埋込機能再建	平田雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	11,050,000	補	独立行政法人日本学術振興会
タウ病理の脳内進展過程を標的とした認知症の層別化・個別化治療に向けた基盤的研究	武田朱公	臨床遺伝子治療学寄附講座	4,030,000	補	独立行政法人日本学術振興会
タウ病理の脳内進展過程を標的とした認知症の層別化・個別化治療に向けた基盤的研究	中神啓徳	臨床遺伝子治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
自己抗体により規定される「4つの皮膚筋炎」病型の病態解明と特異的治療法の開発	藤本学	皮膚科学講座	3,380,000	補	独立行政法人日本学術振興会
エピゲノム変化に着目したライフステージに応じた社会認知特性の評価	木村亮	生命情報学研究領域	3,835,000	補	独立行政法人日本学術振興会
睡眠啓発アプリのAI化および睡眠習慣改善による発達促進と脳基盤変化の解明	下野九理子	小児発達神経学領域	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
睡眠啓発アプリのAI化および睡眠習慣改善による発達促進と脳基盤変化の解明	岩谷祥子	小児発達神経学領域	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
睡眠啓発アプリのAI化および睡眠習慣改善による発達促進と脳基盤変化の解明	毛利育子	小児発達神経学領域	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
α シヌクレインが引き起こす凝集構造多型と疾患多様性獲得機序の解明	角田溪太	神経内科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
α シヌクレインが引き起こす凝集構造多型と疾患多様性獲得機序の解明	池中建介	神経内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会

認知症関連病的蛋白の翻訳後修飾を標的としたワクチン療法の開発	森下竜一	臨床遺伝子治療学寄附講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
認知症関連病的蛋白の翻訳後修飾を標的としたワクチン療法の開発	中神啓徳	臨床遺伝子治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
認知症関連病的蛋白の翻訳後修飾を標的としたワクチン療法の開発	武田朱公	臨床遺伝子治療学寄附講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
難治性癌に対する超高線量率炭素イオン線照射を用いた免疫放射線治療法の開発	小川和彦	放射線治療学講座	3,900,000	補	独立行政法人日本学術振興会
難治性癌に対する超高線量率炭素イオン線照射を用いた免疫放射線治療法の開発	玉利慶介	放射線治療学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム・エピゲノム編集をもちいたダウン症候群の知的障害に対する遺伝子治療法開発	北畠康司	小児科学講座	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
全ゲノム解析基盤による機能・情報統合解析と新規心筋症遺伝子の同定および機序解明	朝野仁裕	循環器内科学講座	5,330,000	補	独立行政法人日本学術振興会
グレリン/グレリン経ロアナログによる外科的悪液質の治療	土岐祐一郎	消化器外科学2講座	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
グレリン/グレリン経ロアナログによる外科的悪液質の治療	黒川幸典	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
グレリン/グレリン経ロアナログによる外科的悪液質の治療	山下公太郎	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
制御性T細胞を用いた移植免疫制御方法の開発	宮川繁	心臓血管外科学講座	5,590,000	補	独立行政法人日本学術振興会
制御性T細胞を用いた移植免疫制御方法の開発	河村拓史	心臓血管外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
重症病態の腸内細菌を介した新規腸管バリア・免疫能の解析と腸内細菌叢再構築法の確立	清水健太郎	救急医学講座	3,705,000	補	独立行政法人日本学術振興会

3次元変形矯正システムの発展的開発と基礎研究、それらを包括運用するクラウドの構築	田中啓之	整形外科科学講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
3次元変形矯正システムの発展的開発と基礎研究、それらを包括運用するクラウドの構築	宮村聡	整形外科科学講座	611,000	補	独立行政法人日本学術振興会
3次元変形矯正システムの発展的開発と基礎研究、それらを包括運用するクラウドの構築	岡田潔	整形外科科学講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
3次元変形矯正システムの発展的開発と基礎研究、それらを包括運用するクラウドの構築	岩橋徹	整形外科科学講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
3次元変形矯正システムの発展的開発と基礎研究、それらを包括運用するクラウドの構築	岡久仁洋	整形外科科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
慢性期脊髄損傷に対する治療ストラテジーの確立	岡田誠司	整形外科科学講座	4,810,000	補	独立行政法人日本学術振興会
遺伝的素因、生活習慣、腸内細菌叢の多面的解析に基づく前立腺癌の早期診断戦略の構築	野々村祝夫	泌尿器科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
遺伝的素因、生活習慣、腸内細菌叢の多面的解析に基づく前立腺癌の早期診断戦略の構築	波多野浩士	泌尿器科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
尿路性器癌における全身循環細菌叢及び細菌関連代謝が構築する癌局所免疫状態の解明	河嶋厚成	泌尿器科学講座	3,770,000	補	独立行政法人日本学術振興会
尿路性器癌における全身循環細菌叢及び細菌関連代謝が構築する癌局所免疫状態の解明	西塔拓郎	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
尿路性器癌における全身循環細菌叢及び細菌関連代謝が構築する癌局所免疫状態の解明	野々村祝夫	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
HPVワクチン再普及のシミュレーションと生まれ年度別の子宮頸がん罹患リスク予測	上田豊	産科学婦人科学講座	3,770,000	補	独立行政法人日本学術振興会
HPVワクチン再普及のシミュレーションと生まれ年度別の子宮頸がん罹患リスク予測	中川慧	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

ポジティブ心理健康資源と認知症発症の関連とメカニズム解明に関する観察・介入研究	武田朱公	公衆衛生学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
睡眠障害が発達脳に及ぼす影響の神経基盤の解明—神経発達症との関連において	下野九理子	高次脳機能損傷学領域	2,366,000	補	独立行政法人日本学術振興会
睡眠障害が発達脳に及ぼす影響の神経基盤の解明—神経発達症との関連において	橘雅弥	高次脳機能損傷学領域	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
睡眠障害が発達脳に及ぼす影響の神経基盤の解明—神経発達症との関連において	岩谷祥子	高次脳機能損傷学領域	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
睡眠障害が発達脳に及ぼす影響の神経基盤の解明—神経発達症との関連において	毛利育子	高次脳機能損傷学領域	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
慢性炎症におけるpaligenosis過程の可視化と分化破綻機構および腫瘍化の解明	森井英一	病態病理学講座	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
自己免疫性神経筋疾患の発症機構解明と治療カタログ化の試み	奥野龍禎	神経内科学講座	3,900,000	補	独立行政法人日本学術振興会
炎症調節の破綻による細胞間ネットワークを介した胆膵癌エコシステム形成機構の解明	小玉尚宏	消化器内科学講座	5,460,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肝癌発生微小環境としての肝細胞死を起点とした非実質細胞の細胞老化の意義の解明	疋田隼人	消化器内科学講座	5,720,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肝癌発生微小環境としての肝細胞死を起点とした非実質細胞の細胞老化の意義の解明	田畑優貴	消化器内科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
侵襲時再生治療に関する新規制御因子の解明:ゲノム・エピゲノム統合解析	蛭原健	医病高度救命救急センター	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
侵襲時再生治療に関する新規制御因子の解明:ゲノム・エピゲノム統合解析	入澤太郎	医病高度救命救急センター	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
侵襲時再生治療に関する新規制御因子の解明:ゲノム・エピゲノム統合解析	清水健太郎	救急医学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会

侵襲時再生治療に関する新規制御因子の解明:ゲノム・エピゲノム統合解析	織田順	救急医学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
侵襲時再生治療に関する新規制御因子の解明:ゲノム・エピゲノム統合解析	松本寿健	医病高度救命救急センター	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
人工呼吸器を使用せず呼吸陽圧を発生させる呼吸回路用コネクタの開発	吉田健史	麻酔・集中治療医学講座	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
リキッドバイオプシーに基づくHPV関連中咽頭癌の個別化治療	猪原秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	6,630,000	補	独立行政法人日本学術振興会
シングルセル解析によるケロイド原因細胞の発見と新規治療法の開発	久保盾貴	形成外科学講座	3,796,000	補	独立行政法人日本学術振興会
患者組織由来RNA-seqの統合的解析によるALS病態関連因子の同定	長野清一	神経難病認知症探索治療学寄附講座	3,380,000	補	独立行政法人日本学術振興会
患者組織由来RNA-seqの統合的解析によるALS病態関連因子の同定	小河浩太郎	神経内科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
前頭側頭型認知症における自然免疫とRNA分解系のクロストーク	森康治	精神医学講座	7,280,000	補	独立行政法人日本学術振興会
癌関連線維芽細胞を標的とした革新的アルファ線治療薬の開発	渡部直史	放射線医学講座	7,280,000	補	独立行政法人日本学術振興会
心臓ポンプ機能の制御メカニズムに係る心不全治療標的の同定と介入法の開発	木岡秀隆	医化学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
治療抵抗性心筋不全の層別化・病態解明とゲノム医療の創出	坂田泰史	循環器内科学講座	3,380,000	補	独立行政法人日本学術振興会
治療抵抗性心筋不全の層別化・病態解明とゲノム医療の創出	肥後修一郎	循環器内科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
治療抵抗性心筋不全の層別化・病態解明とゲノム医療の創出	大谷朋仁	循環器内科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会

治療抵抗性心筋不全の層別化・病態解明とゲノム医療の創出	木岡秀隆	循環器内科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
AKI脆弱性に着目した高齢者AKIを予防するためのシーズ探索	猪阪善隆	腎臓内科学講座	6,630,000	補	独立行政法人日本学術振興会
AKI脆弱性に着目した高齢者AKIを予防するためのシーズ探索	山本毅士	腎臓内科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
AKI脆弱性に着目した高齢者AKIを予防するためのシーズ探索	酒井晋介	医病腎臓内科	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
血液がん患者体内で増殖し長期間生存するCAR-T細胞の単離とその制御分子の同定	保仙直毅	血液・腫瘍内科学講座	6,500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
アディポネクチン/T-カドヘリン/エクソソーム経路による臓器保護機構の解明と応用	下村伊一郎	内分泌・代謝内科学講座	3,705,000	補	独立行政法人日本学術振興会
アディポネクチン/T-カドヘリン/エクソソーム経路による臓器保護機構の解明と応用	西澤均	内分泌・代謝内科学講座	3,705,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膵癌の大規模単細胞解析に基づく患者層別化と放射線増感技術による集学的治療の最適化	江口英利	消化器外科学2講座	9,230,000	補	独立行政法人日本学術振興会
患者人工呼吸不同調に対する人工呼吸器最適調節システムの開発	吉田健史	麻酔・集中治療医学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
患者人工呼吸不同調に対する人工呼吸器最適調節システムの開発	橋本明佳	医病集中治療部(西)	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
Immunogenomicsを用いたネオアンチゲンの効率的同定による新規個別化免疫療法の開発	加藤大悟	泌尿器科学講座	5,330,000	補	独立行政法人日本学術振興会
Immunogenomicsを用いたネオアンチゲンの効率的同定による新規個別化免疫療法の開発	奥田洋平	医病泌尿器科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
Immunogenomicsを用いたネオアンチゲンの効率的同定による新規個別化免疫療法の開発	野々村祝夫	泌尿器科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

救急医療と医療安全技能のスマートフィードバック(S-Feed)による教育システムの構築	織田順	救急医学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
力学強度を有する細胞担体-間葉系幹細胞複合体を用いた生体軟組織機能再建法の開発	中田研	(医医)スポーツ医学講座	9,880,000	補	独立行政法人日本学術振興会
力学強度を有する細胞担体-間葉系幹細胞複合体を用いた生体軟組織機能再建法の開発	金本隆司	(医医)スポーツ医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
リバーストランスレーショナルリサーチによるぶどう膜炎新規診断法の探索	丸山和一	視覚情報制御学共同研究講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
皮膚悪性リンパ腫におけるガングリオシドと腫瘍免疫の解明	清原英司	皮膚科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
敗血症性急性腎傷害の早期発見-尿中酸素分圧を用いての検討-	井口直也	麻酔・集中治療医学講座	715,000	補	独立行政法人日本学術振興会
視覚障害原因疾患の視機能回復のための人工視覚の低侵襲電気刺激法の開発	西田健太郎	先端デバイス再生学共同研究講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌におけるエピゲノムを標的とした新規治療法開発と免疫回避機構阻害への応用	波多豪	消化器外科学2講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
乳癌センチネルリンパ節における転移診断および治療を目的とした新規トレーサーの開発	島津研三	乳腺・内分泌外科学講座	91,000	補	独立行政法人日本学術振興会
乳癌センチネルリンパ節における転移診断および治療を目的とした新規トレーサーの開発	渡部直史	乳腺・内分泌外科学講座	91,000	補	独立行政法人日本学術振興会
難治がん有望ながん免疫effectorT細胞特性の基盤的解明と細胞治療開発	西田純幸	呼吸器・免疫内科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
髄膜腫における自然歴の解明および予後予測アルゴリズムの構築	貴島晴彦	脳神経外科学講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
髄膜腫における自然歴の解明および予後予測アルゴリズムの構築	平山龍一	脳神経外科学講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会

髄膜腫における自然歴の 解明および予後予測アル ゴリズムの構築	木嶋教行	脳神経外科学講座	13,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
環状RNAによるバイオマ ーカーとしての有用性の検 討と新規核酸治療法の開 発	田中晃司	消化器外科学2講座	715,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
高齢者糖尿病のオートファ ジー機能を反映するバイ オマーカーの確立と標的 治療法の開発	山本浩一	老年・総合内科学講 座	260,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
高齢者のCOVID-19感染 リスクを安全に低下し得る 新規戦略の開発	山本浩一	老年・総合内科学講 座	117,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
高齢者のCOVID-19感染 リスクを安全に低下し得る 新規戦略の開発	中神啓徳	老年・総合内科学講 座	91,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
血漿及びエクソソームを用 いたメタボロミクス解析に よるフレイルバイオマーカー の探索	山本浩一	老年・総合内科学講 座	130,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
血漿及びエクソソームを用 いたメタボロミクス解析に よるフレイルバイオマーカー の探索	中神啓徳	老年・総合内科学講 座	130,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
血漿及びエクソソームを用 いたメタボロミクス解析に よるフレイルバイオマーカー の探索	鷹見洋一	老年・総合内科学講 座	130,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
アルギニンジメチル化異常 が与えるALS病態の解明と 新規病態関連因子の同定	池中建介	神経内科学講座	1,040,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
老化に伴う認知・運動障害 における、嗜銀顆粒の総 合的研究	村山繁雄	(小児科・子ども)環境 関連	780,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
細胞骨格動態制御による ALS病態改善の試み	奥野龍禎	神経内科学講座	130,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
アルツハイマー病超早期 診断・病態進行予測マー カーの開発	吉山頭次	精神医学講座	65,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
アルツハイマー病超早期 診断・病態進行予測マー カーの開発	森康治	精神医学講座	65,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会

アルツハイマー病超早期診断・病態進行予測マーカーの開発	池田学	精神医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
PETのFBPA集積と病理所見での効果予測を併用した肉腫BNCTの基盤研究	礒橋佳也子	放射線医学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
乳癌術前化学療法後病理学的完全奏功のRadiogenomics予測モデルの構築	梁川雅弘	放射線医学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
乳癌術前化学療法後病理学的完全奏功のRadiogenomics予測モデルの構築	富山憲幸	放射線医学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌進展における線維芽細胞の促進化/抑制化機能のスイッチ機構の解明	林義人	消化器内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌進展における線維芽細胞の促進化/抑制化機能のスイッチ機構の解明	辻井芳樹	消化器内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
心筋細胞と心筋線維芽細胞の相互作用に着目した拘束型心筋症・心室拡張障害の病態解明	石田秀和	小児科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
NEDD化修飾を介した心筋細胞ストレス耐性機構の解明と創薬標的の同定	木岡秀隆	循環器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂質異常症が高血圧や高血圧性腎障害を増強する新規メカニズムの解明	山本浩一	老年・総合内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
動脈硬化発症プロセスにおける一酸化窒素修飾がもたらすエンドセリン受容体機能の検討	中神啓徳	健康発達医学寄附講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
次世代プロテオミクスが紐解く個別化医療に有用なPF-ILDの新規BM開発	武田吉人	呼吸器・免疫内科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腎移植患者におけるSGLT2阻害薬の腎保護効果	猪阪善隆	腎臓内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腎移植患者におけるSGLT2阻害薬の腎保護効果	野々村祝夫	腎臓内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会

腎移植患者におけるSGLT2阻害薬の腎保護効果	水井理之	腎臓内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腎移植患者におけるSGLT2阻害薬の腎保護効果	土井洋平	腎臓内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
表皮の構造動態生物学	石塚洋典	皮膚科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規実験システムを用いた血小板インテグリンシグナル制御機構の解析とその応用	加藤恒	医病輸血部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
PPAR α をターゲットとしたリンパ球代謝リモデリングによる自己免疫疾患制御	水井理之	腎臓内科学講座	585,000	補	独立行政法人日本学術振興会
PPAR α をターゲットとしたリンパ球代謝リモデリングによる自己免疫疾患制御	増山慧	医病腎臓内科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
血管・脂肪組織由来内分泌因子Favineの機能解析	小林祥子	内分泌・代謝内科学講座	1,365,000	補	独立行政法人日本学術振興会
血管・脂肪組織由来内分泌因子Favineの機能解析	福原淳範	内分泌・代謝内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
血管・脂肪組織由来内分泌因子Favineの機能解析	加藤恒	医病輸血部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新しいアディポネクチン学とその応用	西澤均	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新しいアディポネクチン学とその応用	藤島裕也	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新しいアディポネクチン学とその応用	福田士郎	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
シトステロール血症の若年性動脈硬化惹起メカニズムの解明	小関正博	循環器内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会

生細胞染色法を用いた乳癌の乳房温存手術の切除断端に対する術中迅速診断の確立	多根井智紀	乳腺・内分泌外科学講座	1,339,000	補	独立行政法人日本学術振興会
神経芽腫に対する腫瘍溶解ウイルスと抗GD2抗体を併用した相補的治療法の開発	野村元成	小児成育外科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
炎症性腸疾患における腸内細菌叢に対する腸管上皮機能異常の研究	関戸悠紀	消化器外科学2講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
炎症性腸疾患における腸内細菌叢に対する腸管上皮機能異常の研究	荻野崇之	消化器外科学2講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌における特異的な新規がん関連線維芽細胞マーカーの同定	三吉範克	消化器外科学1講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
異化関連サイトカイン/受容体を標的とした食道癌の集学的周術期介入	山下公太郎	消化器外科学2講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
疾患特異的iPS細胞を用いた肥大型心筋症の病態解明と治療法の探索	河村愛	心臓血管外科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
疾患特異的iPS細胞を用いた肥大型心筋症の病態解明と治療法の探索	河村拓史	心臓血管外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ペリオスチンを基軸とした間質性肺炎合併肺癌に対する包括的治療法の開発	大瀬尚子	呼吸器外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ペリオスチンを基軸とした間質性肺炎合併肺癌に対する包括的治療法の開発	狩野孝	呼吸器外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ペリオスチンを基軸とした間質性肺炎合併肺癌に対する包括的治療法の開発	新谷康	呼吸器外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ペリオスチンを基軸とした間質性肺炎合併肺癌に対する包括的治療法の開発	福井絵里子	呼吸器外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肺癌における癌関連線維芽細胞の機能解析と新規治療戦略の提案	新谷康	呼吸器外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

肺がんにおける癌関連線維芽細胞の機能解析と新規治療戦略の提案	福井絵里子	呼吸器外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肺がんにおける癌関連線維芽細胞の機能解析と新規治療戦略の提案	狩野孝	呼吸器外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肺がんにおける癌関連線維芽細胞の機能解析と新規治療戦略の提案	大瀬尚子	呼吸器外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
Scaffold-free気管模倣組織体で導かれた気管再生のメカニズム解明	出口幸一	小児成育外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肺癌の間質形成と肺線維化における線維芽細胞を標的とした新規免疫療法の基盤確立	木村亨	呼吸器外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肺癌の間質形成と肺線維化における線維芽細胞を標的とした新規免疫療法の基盤確立	新谷康	呼吸器外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的生体分子情報に基づく重症熱傷病態の中心的分子解明と新規治療薬開発	清水健太郎	救急医学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的生体分子情報に基づく重症熱傷病態の中心的分子解明と新規治療薬開発	松本寿健	医病高度救命救急センター	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的分子生体情報を用いた頭部外傷患者に対する新たな治療戦略の構築	中村洋平	救急医学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的分子生体情報を用いた頭部外傷患者に対する新たな治療戦略の構築	清水健太郎	救急医学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的分子生体情報を用いた頭部外傷患者に対する新たな治療戦略の構築	松本寿健	医病高度救命救急センター	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的分子生体情報を用いた頭部外傷患者に対する新たな治療戦略の構築	伊藤弘	救急医学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的分子生体情報を用いた頭部外傷患者に対する新たな治療戦略の構築	蛭原健	医病高度救命救急センター	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会

中枢性脳卒中後疼痛に対する脊髄刺激療法の中 枢神経内除痛機序の解明	細見晃一	脳神経外科学講座	780,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
膠芽腫の腫瘍特異的抗原 の検索とCAR-T療法への 応用	木嶋教行	脳神経外科学講座	1,170,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
膠芽腫の腫瘍特異的抗原 の検索とCAR-T療法への 応用	保仙直毅	脳神経外科学講座	130,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
脳血管内治療に対する AdjuvantSynbioticsの開発	中村元	脳神経外科学講座	65,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
末梢神経損傷後にシュワ ン細胞と血管内皮細胞間 で働く接着分子の解明	岩橋徹	整形外科科学講座	1,040,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
末梢神経損傷後にシュワ ン細胞と血管内皮細胞間 で働く接着分子の解明	田中啓之	整形外科科学講座	130,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
末梢神経損傷後にシュワ ン細胞と血管内皮細胞間 で働く接着分子の解明	岡久仁洋	整形外科科学講座	130,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
人工知能による深層学習 を利用した特発性側弯症 の進行予測	藤森孝人	整形外科科学講座	520,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
融合遺伝子のエピゲノム 制御メカニズムの解明と融 合遺伝子制御療法の開発	王谷英達	整形外科科学講座	1,560,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
生活習慣による代謝物プ ロファイル変化を介する前 立腺癌の増殖制御	波多野浩士	泌尿器科学講座	1,365,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
シリコン微細粒子経口投 与によるラット異系腎移植 モデルにおける免疫応答 への効果	野々村祝夫	泌尿器科学講座	130,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
シリコン微細粒子経口投 与によるラット異系腎移植 モデルにおける免疫応答 への効果	中澤成晃	泌尿器科学講座	130,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会
Gut-kidneyaxisを介した夜 間多尿の新規治療法確立	竹澤健太郎	泌尿器科学講座	78,000	補	独立行政 法人日本 学術振興 会

ヒト子宮着床能前方視的評価メカニズム解明のための月経による内膜再生機構の基礎検討	遠藤誠之	遠藤誠之	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ヒト子宮着床能前方視的評価メカニズム解明のための月経による内膜再生機構の基礎検討	味村和哉	医病産科婦人科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
尿中エクソソームのPreeclampsia早期診断バイオマーカー有用性の検討	澤田健二郎	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的解析を通じた卵巣癌特異的な環状RNAの同定とその役割の解明	澤田健二郎	産科学婦人科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的解析を通じた卵巣癌特異的な環状RNAの同定とその役割の解明	小玉美智子	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
PDXとドラッグスクリーニングによるARID1A変異婦人科がんの個別化医療開発	澤田健二郎	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
PDXとドラッグスクリーニングによるARID1A変異婦人科がんの個別化医療開発	小玉美智子	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的プロテオーム解析から目指す子宮内膜癌新規治療薬の開発	松崎慎哉	産科学婦人科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
好酸球性副鼻腔炎におけるセマフォリンを介したステロイド抵抗性の獲得に関する研究	津田武	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
多光子励起顕微鏡を用いた緑内障モデルのアストロサイト酸化システム生体観察	臼井審一	眼科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
多光子励起顕微鏡を用いた緑内障モデルのアストロサイト酸化システム生体観察	松下賢治	眼科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
LIMK2に注目した、肥厚性瘢痕・ケロイドのコントロール	黒田一也	形成外科学講座	728,000	補	独立行政法人日本学術振興会
MELFpatternを有する類内膜癌の中皮への分化に関する研究	田原紳一郎	病態病理学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会

自家蛍光による生体イメージングを活用した腫瘍微小環境の細胞機能解析	松井崇浩	病態病理学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
CCL1-CCR8経路を介した腫瘍内Treg制御による治療法の探索	中井慈人	消化器外科学2講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
造血細胞移植の予後および合併症リスクを規定する腸内細菌叢関連因子の探索	福島健太郎	血液・腫瘍内科学講座	481,000	補	独立行政法人日本学術振興会
造血細胞移植の予後および合併症リスクを規定する腸内細菌叢関連因子の探索	保仙直毅	血液・腫瘍内科学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
造血細胞移植の予後および合併症リスクを規定する腸内細菌叢関連因子の探索	草壁信輔	血液・腫瘍内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
免疫療法の効果を予測する新規バイオマーカー及び効果を増強する新規治療法の開発	内藤祐二郎	呼吸器・免疫内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ヘルパーエпитープを含む新規WT1経口がんワクチンの効果	皆川光	小児科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ClonalHematopoiesisによる放射線肺臓炎重症化機序の解明	立川章太郎	放射線治療学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ClonalHematopoiesisによる放射線肺臓炎重症化機序の解明	玉利慶介	放射線治療学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ClonalHematopoiesisによる放射線肺臓炎重症化機序の解明	小川和彦	放射線治療学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
癌細胞の放射線感受性を変化させるヒト血中エクソソーム中のマイクロRNAの解析	玉利慶介	放射線治療学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
癌細胞の放射線感受性を変化させるヒト血中エクソソーム中のマイクロRNAの解析	小川和彦	放射線治療学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ダウン症候群に関連する肺動脈性肺高血圧症の病態解明と新規治療薬開発	石田秀和	小児科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会

未分化マーカーを指標とした新規癌幹細胞マーカーの取得	山本浩文	山本浩文	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
細胞除去ワクチンを用いた新規心線維化抑制治療法の開発	中神啓徳	健康発達医学寄附講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
空間マルチオミクス解析と3Dイメージングによる移植心管理の高精度化を目指した研究	成田淳	小児科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
空間マルチオミクス解析と3Dイメージングによる移植心管理の高精度化を目指した研究	石田秀和	小児科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
HFpEF発症進展機構における無菌性炎症の役割の解明と新規治療法開発への応用	村川智一	循環器内科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
自己免疫性肺胞蛋白症の末梢血B細胞シングルセル解析による病態解明と新規治療開発	武田吉人	呼吸器・免疫内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
リソソーム-フェロトーシス軸に着目した肥満関連尿細管症の病態解明と治療への応用	山本毅士	腎臓内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
リソソーム-フェロトーシス軸に着目した肥満関連尿細管症の病態解明と治療への応用	猪阪善隆	腎臓内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
リソソーム-フェロトーシス軸に着目した肥満関連尿細管症の病態解明と治療への応用	松井翔	医病腎臓内科	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
傍細胞リン吸収メカニズムに着目した高リン血症治療法開発	松井功	腎臓内科学講座	1,365,000	補	独立行政法人日本学術振興会
傍細胞リン吸収メカニズムに着目した高リン血症治療法開発	猪阪善隆	腎臓内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
傍細胞リン吸収メカニズムに着目した高リン血症治療法開発	井上和則	腎臓内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
傍細胞リン吸収メカニズムに着目した高リン血症治療法開発	松本あゆみ	医病腎臓内科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会

糸球体障害進展による尿細管間質線維化発症機序の解明	井上和則	腎臓内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
糸球体障害進展による尿細管間質線維化発症機序の解明	猪阪善隆	腎臓内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
糸球体障害進展による尿細管間質線維化発症機序の解明	松本あゆみ	医病腎臓内科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
糸球体障害進展による尿細管間質線維化発症機序の解明	松井功	腎臓内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
糸球体障害進展による尿細管間質線維化発症機序の解明	奥嶋拓樹	医病腎臓内科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
多発性骨髄腫の炎症性微小環境におけるSTAP蛋白の役割	一井倫子	血液・腫瘍内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
多発性骨髄腫の炎症性微小環境におけるSTAP蛋白の役割	保仙直毅	血液・腫瘍内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
寒冷凝集素症に対する抗補体薬反応不良機序の解明	植田康敬	血液・腫瘍内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
寒冷凝集素症に対する抗補体薬反応不良機序の解明	保仙直毅	血液・腫瘍内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂肪細胞栄養シグナルの解明と肥満病態への治療応用	福原淳範	肥満脂肪病態学寄附講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂肪細胞栄養シグナルの解明と肥満病態への治療応用	奥野陽亮	肥満脂肪病態学寄附講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂肪細胞栄養シグナルの解明と肥満病態への治療応用	西谷重紀	肥満脂肪病態学寄附講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
PGRMC1による脂質受容体、糖輸送体の輸送制御を介した脂肪肝進展メカニズムの解明	小関正博	循環器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会

アディポネクチンとその結合蛋白T-カドヘリンに関する病態解析と臨床的意義の解明	西澤均	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
アディポネクチンとその結合蛋白T-カドヘリンに関する病態解析と臨床的意義の解明	藤島裕也	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
アディポネクチンとその結合蛋白T-カドヘリンに関する病態解析と臨床的意義の解明	福田士郎	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肝由来XORによる動脈硬化進展作用の解明と新たな治療戦略の確立	西澤均	代謝血管学寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肝由来XORによる動脈硬化進展作用の解明と新たな治療戦略の確立	藤島裕也	代謝血管学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肝由来XORによる動脈硬化進展作用の解明と新たな治療戦略の確立	福田士郎	代謝血管学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍特異的に集積するDDSを用いた転移性癌の核酸治療	山本浩文	山本浩文	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌の悪性形質に対する低酸素ダイナミズムの統合的解明	植村守	消化器外科学1講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
食道癌における腫瘍細菌叢解析と悪性化の機序解明	田中晃司	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
胃癌新規バイオマーカーとしての血中メチル化ctDNA検出法の新規開発と臨床応用	黒川幸典	消化器外科学2講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
炎症性発癌における自然リンパ球の役割解明	荻野崇之	消化器外科学2講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ニボルマブ結合T細胞検出法を用いた免疫チェックポイント阻害薬の治療効果機序の解明	西塔拓郎	消化器外科学2講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
心不全に対するiPS細胞技術を利用した次世代型セルフリー再生医療の研究	河村拓史	心臓血管外科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会

動脈硬化進行メカニズムの解明およびバイオマーカーの確立	三宅啓介	医病心臓血管外科(一外)	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞の肺再生メカニズムの解明による新たな肺再生治療法の開発	福井絵里子	呼吸器外科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞の肺再生メカニズムの解明による新たな肺再生治療法の開発	新谷康	呼吸器外科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞の肺再生メカニズムの解明による新たな肺再生治療法の開発	大瀬尚子	呼吸器外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞の肺再生メカニズムの解明による新たな肺再生治療法の開発	狩野孝	呼吸器外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞の肺再生メカニズムの解明による新たな肺再生治療法の開発	木村亨	呼吸器外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
本邦での心停止ドナー肺移植開始を目指したネクロプトーシス制御による臓器保護戦略	狩野孝	呼吸器外科学講座	1,755,000	補	独立行政法人日本学術振興会
本邦での心停止ドナー肺移植開始を目指したネクロプトーシス制御による臓器保護戦略	大瀬尚子	呼吸器外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
本邦での心停止ドナー肺移植開始を目指したネクロプトーシス制御による臓器保護戦略	新谷康	呼吸器外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
本邦での心停止ドナー肺移植開始を目指したネクロプトーシス制御による臓器保護戦略	木村亨	呼吸器外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
本邦での心停止ドナー肺移植開始を目指したネクロプトーシス制御による臓器保護戦略	福井絵里子	呼吸器外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
免疫応答バランスからみた熱傷後の免疫不全メカニズムに関する統合的解析	清水健太郎	救急医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
免疫応答バランスからみた熱傷後の免疫不全メカニズムに関する統合的解析	松本寿健	医病高度救命救急センター	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会

免疫応答バランスからみた熱傷後の免疫不全メカニズムに関する統合的解析	米田和弘	医病高度救命救急センター	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
簡便・低費用・短時間で可能な新たな腸内細菌叢の評価方法の開発と指標化	清水健太郎	救急医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
closed-loopsystemを応用した脳深部刺激療法の長期効果研究	谷直樹	脳神経外科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膠芽腫における腫瘍内細菌叢プロファイリングと生理機能の解明	梅原徹	脳神経外科学講座	1,235,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膠芽腫における腫瘍内細菌叢プロファイリングと生理機能の解明	木嶋教行	脳神経外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
生体内骨密度分布および関節軟骨モデル化による新規関節画像評価システムの構築	岡久仁洋	運動器バイオマテリアル学寄附講座	1,378,000	補	独立行政法人日本学術振興会
生体内骨密度分布および関節軟骨モデル化による新規関節画像評価システムの構築	田中啓之	運動器バイオマテリアル学寄附講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
生体内骨密度分布および関節軟骨モデル化による新規関節画像評価システムの構築	宮村聡	運動器バイオマテリアル学寄附講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
生体内骨密度分布および関節軟骨モデル化による新規関節画像評価システムの構築	塩出亮哉	医病整形外科	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
Microglia-HealingPeptides1 (MHP1)による新規骨粗鬆症治療法の開発	蛭名耕介	整形外科科学講座	1,365,000	補	独立行政法人日本学術振興会
カリウムによる新規ナトリウム・クロライド共輸送体の制御機構に基づいた夜間多尿治療	辻村剛	医病泌尿器科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
カリウムによる新規ナトリウム・クロライド共輸送体の制御機構に基づいた夜間多尿治療	上田倫央	泌尿器科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
カリウムによる新規ナトリウム・クロライド共輸送体の制御機構に基づいた夜間多尿治療	竹澤健太郎	泌尿器科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

運動が夜間多尿を改善させる分子病態メカニズムの解明と新規治療薬の創薬	上田倫央	泌尿器科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
運動が夜間多尿を改善させる分子病態メカニズムの解明と新規治療薬の創薬	竹澤健太郎	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
尿路上皮癌のRNA修飾によるエピトランスクリプトムの解明と新規治療戦略創成	山本致之	泌尿器科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
KIF4AとCDC25を介した子宮平滑筋肉腫の新規治療法の開発	中川慧	産科学婦人科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
卵巣高異型度漿液性腺癌における特異的に発現上昇する環状RNAの同定とその役割の解明	澤田健二郎	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
卵巣高異型度漿液性腺癌における特異的に発現上昇する環状RNAの同定とその役割の解明	小玉美智子	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
CRISPR-Cas9によるスピーディかつ汎用性の高い卵巣がんモデルマウスの樹立	澤田健二郎	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
CRISPR-Cas9によるスピーディかつ汎用性の高い卵巣がんモデルマウスの樹立	小玉美智子	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
プロゲステロンが卵子に及ぼす作用機序の解明とPPOS法の最適な治療プロトコルの確立	伴田美佳	産科学婦人科学講座	936,000	補	独立行政法人日本学術振興会
プロゲステロンが卵子に及ぼす作用機序の解明とPPOS法の最適な治療プロトコルの確立	瀧内剛	産科学婦人科学講座	351,000	補	独立行政法人日本学術振興会
エクソソーム表面糖鎖を標的とした新規子宮内膜症バイオマーカーの開発	澤田健二郎	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的ゲノム解析・微小環境空間的解析による子宮頸部胃型腺癌の発症・治療戦略の樹立	小玉美智子	産科学婦人科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的ゲノム解析・微小環境空間的解析による子宮頸部胃型腺癌の発症・治療戦略の樹立	澤田健二郎	産科学婦人科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会

難治性副鼻腔炎における局所自己反応性抗体の産生機序と炎症難治化メカニズムの解明	津田武	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
全ゲノム解析を用いたHPV16関連中咽頭癌におけるHPVの亜系統の分布解明と予後との相関	岸川敏博	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ラマン分光法による網膜組織の測定法の開発とその応用	森本壮	視覚機能形成学寄附講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
重症複合免疫不全ウサギを用いたヒト角膜上皮幹細胞の長期生体内挙動の解明	相馬剛至	眼科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
神経障害性疼痛に関与する体性感覚神経回路の解明	細見晃一	脳神経外科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
CES1による細胞内トリグリセリド蓄積の改善:カプリン酸治療の標的となりうるか	平野賢一	中性脂肪学共同研究講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
“架け橋期”の睡眠習慣を支援するオンライン・リコメンドシステム開発の実践的研究	毛利育子	(小児科・子ども)環境関連	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
線維化におけるペリオスチンのスプライシングアイソフォームの機能的差異	谷山義明	先端分子治療学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膀胱癌組織中の細菌叢形成が及ぼす遺伝子発現変化に着目した新規バイオマーカーの開発	藤井智美	変革的医療情報システム(日本財団)寄附講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膀胱癌組織中の細菌叢形成が及ぼす遺伝子発現変化に着目した新規バイオマーカーの開発	清川博貴	変革的医療情報システム(日本財団)寄附講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
前転移ニッチ形成解析を応用した非手術的な乳癌センチネルリンパ節転移診断法の開発	島津研三	乳腺・内分泌外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
癌微小転移の早期発見と治療戦略の構築	植村守	消化器外科学2講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
癌微小転移の早期発見と治療戦略の構築	三吉範克	消化器外科学2講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会

癌微小転移の早期発見と治療戦略の構築	林理絵	医病消化器外科(二外)	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
デジタルPCRを用いた造血幹細胞移植後新規キメリズム解析法の開発	上田智朗	血液・腫瘍内科学講座	1,365,000	補	独立行政法人日本学術振興会
デジタルPCRを用いた造血幹細胞移植後新規キメリズム解析法の開発	保仙直毅	血液・腫瘍内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
デジタルPCRを用いた造血幹細胞移植後新規キメリズム解析法の開発	福島健太郎	血液・腫瘍内科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
アルツハイマー病発症メカニズムを標的とした、降圧薬の新たな作用を証明する基礎研究	山本浩一	老年・総合内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
老化による脳血管内皮での α シヌクレインの発現低下に伴う認知機能障害の病態への関与	鷹見洋一	老年・総合内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
老化による脳血管内皮での α シヌクレインの発現低下に伴う認知機能障害の病態への関与	中神啓徳	老年・総合内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
老化による脳血管内皮での α シヌクレインの発現低下に伴う認知機能障害の病態への関与	武田朱公	老年・総合内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ANCA関連血管炎の新規モデルマウス構築を通じた病態解明と治療応用	水野裕美子	呼吸器・免疫内科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
嗅球組織に着目したパーキンソン病発症機序の解明	別宮豪一	神経内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
嗅球組織に着目したパーキンソン病発症機序の解明	木村康義	神経内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
嗅球組織に着目したパーキンソン病発症機序の解明	小河浩太郎	神経内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
自己抗体介在性神経免疫疾患におけるimmuneflaesignatureの同定	木下允	神経内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会

革新的なAVM治療としての血管新生阻害剤徐放性ゲルの開発	田中会秀	放射線医学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
革新的なAVM治療としての血管新生阻害剤徐放性ゲルの開発	是恒悠司	医病放射線診断科・IVR科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
革新的なAVM治療としての血管新生阻害剤徐放性ゲルの開発	木村廉	放射線医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
超高精細CTおよびフォトカウンティングCTによる間質性肺異常影の早期線維化検出	梁川雅弘	放射線医学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
超高精細CTおよびフォトカウンティングCTによる間質性肺異常影の早期線維化検出	秦明典	放射線医学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
人工知能画像診断システムおよびラジオミクスの信頼性: 日常臨床への普及を目指して	堀雅敏	人工知能画像診断学共同研究講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
人工知能画像診断システムおよびラジオミクスの信頼性: 日常臨床への普及を目指して	大西裕満	大西裕満	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
免疫細胞のグルタミン代謝を標的とした革新的なDDSの開発	小野祐介	放射線医学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
免疫細胞のグルタミン代謝を標的とした革新的なDDSの開発	木村廉	放射線医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ヒアルロン酸ナノゲルを応用した次世代液体塞栓物質の開発	東原大樹	高精度画像下穿刺治療学寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ヒアルロン酸ナノゲルを応用した次世代液体塞栓物質の開発	是恒悠司	医病放射線診断科・IVR科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ヒアルロン酸ナノゲルを応用した次世代液体塞栓物質の開発	木村廉	高精度画像下穿刺治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
エクソソーム中のマイクロRNAを用いた、前立腺癌に対する個別化定位放射線治療の開発	平田岳郎	放射線治療学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会

エクソソーム中のマイクロRNAを用いた、前立腺癌に対する個別化定位放射線治療の開発	玉利慶介	放射線治療学講座	455,000	補	独立行政法人日本学術振興会
エクソソーム中のマイクロRNAを用いた、前立腺癌に対する個別化定位放射線治療の開発	小川和彦	放射線治療学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
Radiogenomicsと空間的遺伝子解析による腎癌免疫療法の効果予測	中本篤	次世代画像診断学共同研究講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
Radiogenomicsと空間的遺伝子解析による腎癌免疫療法の効果予測	大西裕満	大西裕満	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
Radiogenomicsと空間的遺伝子解析による腎癌免疫療法の効果予測	木村廉	次世代画像診断学共同研究講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
マウスモデルを用いた小児閉塞性睡眠時無呼吸におけるADHD症状の病態解明	毛利育子	小児発達神経学領域	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
マウスモデルを用いた小児閉塞性睡眠時無呼吸におけるADHD症状の病態解明	橘雅弥	小児発達神経学領域	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
TNNI3変異ノックインモデルマウスを用いた拘束型心筋症の病態解明	石井良	小児科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
TNNI3変異ノックインモデルマウスを用いた拘束型心筋症の病態解明	石田秀和	小児科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
多層オミクスを起点とした肝代謝異常と再生不全をつなぐ分子機序の解明	巽智秀	消化器内科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
多層オミクスを起点とした肝代謝異常と再生不全をつなぐ分子機序の解明	小玉尚宏	消化器内科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
IPMNサーベイランス時の背景膵CT値に着目した発癌リスク層別化とバイオマーカー探索	重川稔	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
マイトファジー活性化機構の解明と心不全治療薬開発への基礎的検討	村川智一	循環器内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会

デスモゾーム心筋症に対する介入治療法の開発	肥後修一朗	循環器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
マイトファジー関連蛋白質の虚血心における役割の解明及び創薬への基礎的検討	村川智一	循環器内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
非虚血性心筋症における心筋障害因子に着目した微小循環障害の病態解明	大谷朋仁	循環器内科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
エクソソームのマルチオミクスが紐解く気管支喘息の新規BM開発と病態解明	平田陽彦	呼吸器・免疫内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
エクソソームのマルチオミクスが紐解く気管支喘息の新規BM開発と病態解明	武田吉人	呼吸器・免疫内科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規遺伝子変異による菲薄基底膜病の分子病態学的研究	猪阪善隆	腎臓内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規遺伝子変異による菲薄基底膜病の分子病態学的研究	坂口悠介	腎臓内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ポドサイトのGIT2に着目したネフローゼ症候群の病態解明	松田潤	腎臓内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
白斑真皮線維芽細胞による抗酸化及び免疫調節機構の解明	種村篤	皮膚科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
皮膚筋炎におけるT細胞の標的自已抗原の解析	荒瀬規子	皮膚科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
シングルセル解析で紐解く免疫難病の臓器障害進展メカニズムとその治療	西出真之	呼吸器・免疫内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
アディポネクチンの臓器保護作用における血管組織・T-cadherinの意義の解明	藤島裕也	内分泌・代謝内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
アディポネクチンの臓器保護作用における血管組織・T-cadherinの意義の解明	西澤均	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

アディポネクチンの臓器保護作用における血管組織・T-cadherinの意義の解明	福田士郎	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬による1型糖尿病の発症予測と病態解明	小澤純二	糖尿病病態医療学寄附講座	3,770,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ARMC5によるインスリン抵抗性・分泌の両面制御機構の解明	奥野陽亮	内分泌・代謝内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ARMC5によるインスリン抵抗性・分泌の両面制御機構の解明	福原淳範	内分泌・代謝内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
病的ペリオスチン・バリアントの機能と細胞間輸送の解明	谷山義明	先端分子治療学共同研究講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍微小環境モデルの構築と治療抵抗性メカニズムの解析	三吉範克	消化器外科学2講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
好酸球モニタリングによる上部消化管がん抗腫瘍免疫応答機序の解明	牧野知紀	消化器外科学2講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
難治性がん患者由来腫瘍オルガノイドを用いたdrugrepositioningの促進	長谷川慎一郎	消化器外科学1講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
AI技術を用いた大動脈瘤破裂リスクモデルの構築に関する総合的研究	島村和男	心臓血管外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
デザイナー細胞による重症心不全に対する次世代型細胞治療の開発	福田士郎	最先端再生医療学共同研究講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
機械学習アルゴリズムを用いた敗血症性凝固線溶障害の早期予測モデルの開発	梅村穰	救急医学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
機械学習アルゴリズムを用いた敗血症性凝固線溶障害の早期予測モデルの開発	織田順	救急医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
頭部外傷患者に対する新規抗酸化物質を用いた神経機能回復に関する研究	伊藤弘	救急医学講座	1,365,000	補	独立行政法人日本学術振興会

頭部外傷患者に対する新規抗酸化物質を用いた神経機能回復に関する研究	織田順	救急医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
頭部外傷患者に対する新規抗酸化物質を用いた神経機能回復に関する研究	渡部直史	救急医学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ミトコンドリア移植による外傷性脳損傷後の神経機能回復に関する研究	竹川良介	医病高度救命救急センター	6,500	補	独立行政法人日本学術振興会
ミトコンドリア移植による外傷性脳損傷後の神経機能回復に関する研究	織田順	救急医学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ミトコンドリア移植による外傷性脳損傷後の神経機能回復に関する研究	伊藤弘	救急医学講座	6,500	補	独立行政法人日本学術振興会
脳梗塞後炎症免疫機構および神経再生におけるFAPの機能解明と治療応用への検討	中神啓徳	遺伝子幹細胞再生治療学寄附講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
機能的てんかんネットワークにおける構造的変化の同定	貴島晴彦	脳神経外科学講座	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
機能的てんかんネットワークにおける構造的変化の同定	谷直樹	脳神経外科学講座	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
機能的てんかんネットワークにおける構造的変化の同定	押野悟	脳神経外科学講座	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
機能的てんかんネットワークにおける構造的変化の同定	細見晃一	脳神経外科学講座	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
機能的てんかんネットワークにおける構造的変化の同定	藤永貴大	医病脳神経外科	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
NETs除去によるくも膜下出血後脳微小循環障害に対する新規治療法の開発	中村元	脳神経外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膠芽腫におけるシングルセルラマン分光法の確立による腫瘍細胞特性の解明	川本有輝	脳神経外科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会

振戦の外科治療後に生じる上肢筋の機能変化と補助療法の開発	押野悟	脳神経外科学講座	2,015,000	補	独立行政法人日本学術振興会
振戦の外科治療後に生じる上肢筋の機能変化と補助療法の開発	谷直樹	脳神経外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
振戦の外科治療後に生じる上肢筋の機能変化と補助療法の開発	根岸克行	医病脳神経外科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
振戦の外科治療後に生じる上肢筋の機能変化と補助療法の開発	細見晃一	脳神経外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
振戦の外科治療後に生じる上肢筋の機能変化と補助療法の開発	末松拓也	医病脳神経外科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
振戦の外科治療後に生じる上肢筋の機能変化と補助療法の開発	藤永貴大	医病脳神経外科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
前立腺癌における腸内細菌叢が制御する免疫療法関連RNA修飾の解明と治療標的の探索	河嶋厚成	泌尿器科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
時空間的トランスクリプトーム解析による上部尿路上皮癌の進展・薬剤耐性機序の解明	石津谷祐	泌尿器科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
時空間的トランスクリプトーム解析による上部尿路上皮癌の進展・薬剤耐性機序の解明	河嶋厚成	泌尿器科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
精巣上体での精子成熟機構のメカニズムの解明とそれに基づく治療基盤の創出	辻村剛	医病泌尿器科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
精巣上体での精子成熟機構のメカニズムの解明とそれに基づく治療基盤の創出	上田倫央	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
精巣上体での精子成熟機構のメカニズムの解明とそれに基づく治療基盤の創出	竹澤健太郎	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
夜間多尿の病態における腎交感神経および脳交感神経中枢の役割解明	竹澤健太郎	泌尿器科学講座	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会

夜間多尿の病態における腎交感神経および脳交感神経中枢の役割解明	辻村剛	医病泌尿器科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
夜間多尿の病態における腎交感神経および脳交感神経中枢の役割解明	上田倫央	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
胚の体外培養環境の酸素濃度がトロホプラスト細胞の分化と機能に影響	遠藤誠之	遠藤誠之	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
胚の体外培養環境の酸素濃度がトロホプラスト細胞の分化と機能に影響	味村和哉	医病産科婦人科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
AuroraKinaseを標的とした、卵巣癌の免疫療法抵抗性解除の可能性の探索	中塚えりか	産科学婦人科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
AuroraKinaseを標的とした、卵巣癌の免疫療法抵抗性解除の可能性の探索	澤田健二郎	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
AuroraKinaseを標的とした、卵巣癌の免疫療法抵抗性解除の可能性の探索	小玉美智子	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
子宮体がんの各種登録データベースの評価とそれを活用した臨床・疫学的分析	上田豊	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規内因性NF- κ B直接阻害因子による着床制御機構の解明	瀧内剛	先端ゲノム医療学共同研究講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規内因性NF- κ B直接阻害因子による着床制御機構の解明	伴田美佳	先端ゲノム医療学共同研究講座	325,000	補	独立行政法人日本学術振興会
極少の特殊体液「内耳内リンパ液」のタンパク質の同定とその機能・病態連関の解明	大菌芳之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
極少の特殊体液「内耳内リンパ液」のタンパク質の同定とその機能・病態連関の解明	佐藤崇	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
極少の特殊体液「内耳内リンパ液」のタンパク質の同定とその機能・病態連関の解明	真貝佳代子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会

HPV関連中咽頭癌の前癌病変の同定と自然史の解明に基づくバイオマーカーの探索	鈴木基之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
HPV関連中咽頭癌の前癌病変の同定と自然史の解明に基づくバイオマーカーの探索	鈴木雅美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
HPV関連中咽頭癌の前癌病変の同定と自然史の解明に基づくバイオマーカーの探索	森将史	医病耳鼻咽喉科・頭頸部外科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
HPV関連・非関連中咽頭癌におけるp16発現の意義とその関連遺伝子の機能解析	林計企	医病耳鼻咽喉科・頭頸部外科	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
病的鼻腔上皮細胞をターゲットとした好酸球性副鼻腔炎根治治療の開発	津田武	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
視神経乳頭アストロサイトのPreconditioning制御機構の解明と治療開発	松下賢治	眼科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
視神経乳頭アストロサイトのPreconditioning制御機構の解明と治療開発	臼井審一	眼科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂肪移植におけるオートファジーの意義の解明と生着率向上への試み	大谷直矢	形成外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
注視点分布計測装置を用いた自閉スペクトラム症の支援ニーズ重症度の評価指標の開発	間宮由真	精神医学講座	468,000	補	独立行政法人日本学術振興会
透析患者の身体活動に関する前向きコホート研究	坂口悠介	腎臓内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ヒトiPS細胞から作製した水晶体囊の眼科用生体適合性キャリアとしての検討	小林礼子	眼科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
癌転移に関与するRNA修飾メカニズムの解明と新規治療法の開発	河嶋厚成	泌尿器科学講座	5,330,000	補	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病性腎臓病治療薬開発に資する老化尿管誘導因子の探索とその病態解明	猪阪善隆	腎臓内科学講座	10,010,000	補	独立行政法人日本学術振興会

糖尿病性腎臓病治療薬開発に資する老化尿細管誘導因子の探索とその病態解明	山本毅士	腎臓内科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病性腎臓病治療薬開発に資する老化尿細管誘導因子の探索とその病態解明	酒井晋介	医病腎臓内科	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
Adiposeshrinkageの慢性炎症制御機構の解明	森井英一	病態病理学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
自閉スペクトラム症における異常伸長リポート翻訳の病的意義	森康治	精神医学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ヒト肺由来気道上皮肺オルガノイドを用いた難治性呼吸器疾患の病態解明	新谷康	呼吸器外科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ヒト肺由来気道上皮肺オルガノイドを用いた難治性呼吸器疾患の病態解明	大瀬尚子	呼吸器外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ヒト肺由来気道上皮肺オルガノイドを用いた難治性呼吸器疾患の病態解明	狩野孝	呼吸器外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ヒト肺由来気道上皮肺オルガノイドを用いた難治性呼吸器疾患の病態解明	福井絵里子	呼吸器外科学講座	325,000	補	独立行政法人日本学術振興会
スポーツ運動器疾患への臍帯由来間葉系幹細胞活用の検討	中田研	(医医)スポーツ医学講座	1,625,000	補	独立行政法人日本学術振興会
スポーツ運動器疾患への臍帯由来間葉系幹細胞活用の検討	金本隆司	(医医)スポーツ医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
α シヌクレインアミロイド線維がもたらす生理活性と病態の二面性	角田溪太	神経内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
α シヌクレインアミロイド線維がもたらす生理活性と病態の二面性	池中建介	神経内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
細胞種特異的スプライシング変化を介したALS発症機序の解明	長野清一	神経難病認知症探索治療学寄附講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会

免疫監視能強化CAR-NK細胞を用いたがんの再発予防法の開発	保仙直毅	血液・腫瘍内科学講座	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
エクソソーム内の「RNAパターン」による膵がん治療応答予測制御法の開発	石井秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
エクソソーム内の「RNAパターン」による膵がん治療応答予測制御法の開発	江口英利	疾患データサイエンス学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
空間的遺伝子発現解析を用いた先天性嚢胞性肺疾患の発生機構の解明と診断治療への応用	出口幸一	小児成育外科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
自閉症児のかんしゃくを予防するストレス検知システムの開発	橘雅弥	小児発達神経学領域	1,235,000	補	独立行政法人日本学術振興会
希少心筋症における心筋細胞自律的線維化亢進機序の解明とゲノム医療体制構築	坂田泰史	循環器内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
希少心筋症における心筋細胞自律的線維化亢進機序の解明とゲノム医療体制構築	肥後修一郎	循環器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膵がん間質標的mRNA-CAR-T「デザイナー細胞」の安全性と有効性の最適化	石井秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膵がん間質標的mRNA-CAR-T「デザイナー細胞」の安全性と有効性の最適化	江口英利	疾患データサイエンス学共同研究講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害剤の免疫関連副作用回避を目指した新規自己抗原同定法の開発	加藤大悟	泌尿器科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脳血管から回収した血栓を用いてがん関連脳梗塞の病態を解明する	北野貴也	神経内科学講座	256,208	補	独立行政法人日本学術振興会
軟骨無形成症における特異的肥満の耐糖能機序の解明	藤原誠	小児科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
老化に伴うコラーゲン架橋形成に着目した半月板の老化メカニズム解明	辻井聡	運動器スポーツバイオメカニクス学共同研究講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会

ヒト骨髄線維症において造血幹細胞移植により骨髄の造血支持能が回復する機序の解明	倉重真沙子	病態病理学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
髄液中の凝集抑制因子による新規パーキンソン病治療開発	角田溪太	神経内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
HLAクラスII分子によるαシヌクレインの細胞外輸送	大菌達彦	神経内科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
HMGB1ペプチドによる胆道閉鎖症の新規内科的治療薬に基づいた再生医療の開発	福岡智哉	小児科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
骨形成不全症特異的破骨細胞機能亢進を標的とした新規治療法の開発	大幡泰久	小児科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
心房細動患者に対する抗凝固療法の最適化:複数のレジストリデータの大規模統合解析	外海洋平	循環器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膵β細胞内脂肪酸代謝を切り口としたDOHaD学説の検証と糖尿病再生医療への応用	佐々木周伍	内分泌・代謝内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
クローン病特有の変化を伴う腸管膜内の自然免疫細胞内の細菌群に着目した病態解明研究	関戸悠紀	消化器外科学2講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
悪性骨軟部腫瘍におけるEZH2阻害剤の抗腫瘍メカニズムの解明	伊村慶紀	整形外科科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
CIC-DUX4陽性肉腫における抗がん剤耐性機序の解明	中井翔	整形外科科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
右優位萎縮型意味性認知症の背景病理の内訳と病理ごとの臨床特徴の解明	佐藤俊介	精神医学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
COVID-19時代の「かぜ診療ブラッシュアップコース」アップデートと有効性検証	山本舜悟	変革的感染制御システム(日本財団)寄附講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
食道癌症例での間質性肺異常陰影(ILA):意義・病態解明と自動診断用AI開発	秦明典	放射線医学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会

免疫チェックポイント阻害剤徐放性DDSの新規開発	木村廉	高精度画像下穿刺治療学寄附講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
疾患iPS細胞由来分化心筋細胞を用いたホスホランバン心筋症の病態解明	田端智香	循環器内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
エクソソームのプロテオミクスによる悪性胸膜中皮腫における新規バイオマーカーの開発	白山敬之	呼吸器・免疫内科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
横断的オミクス解析による間質性肺疾患における線維化病態の解明	白井雄也	呼吸器・免疫内科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ハイブリッドポリマーを用いた耐久性・抗血栓性に優れた次世代型人工弁の開発	前田孝一	心臓血管外科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
Microglia-HealingPeptides1 (MHP1)による新規変形性関節症治療法の開発	野口貴明	整形外科科学講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規NuclearfactorkappaB (NF- κ B)阻害ペプチドによる新規骨粗鬆症治療法の開発	恵谷悠紀	整形外科科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
半月板損傷に対する新たな縫合法の有効性および新規生物学的製剤の治癒促進効果の検証	大堀智毅	整形外科科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
味覚に着目した新たな糖尿病治療法の開発と有効性評価	馬殿恵	ライフスタイル医学寄附講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
効果的かつ副作用の少ない老化細胞除去療法を光で実現する	三宅浩太郎	呼吸器・免疫内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
黄斑様構造(Visualstreak)を持つマウスの視機能解析	後藤聡	眼科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
GH奇異反応及び下垂体転写因子の発現によるSomatotroph腫瘍の形質の解明	向井康祐	内分泌・代謝内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
難治性BRAF変異大腸癌:がん細胞の“食事”を制御する新戦略	竹田充伸	消化器外科学2講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会

フレイルの簡易評価と周術期合併症・長期予後予測のためのツール開発	藤本拓	老年・総合内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
視神経脊髄炎の層別化PRS解析と臨床応用	小河浩太郎	神経内科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
造影CTを用いたヨード洗い出し率による膵癌及び線維化の評価:細胞外容積分画との比較	福井秀行	放射線医学講座	3,380,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ヒト肝細胞キメラマウスを用いたC型肝炎ウイルス排除後肝病態の解明	白井久美子	消化器内科学講座	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会
慢性肝疾患の病態進展におけるDfna5の意義についての検討	齋藤義修	消化器内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肝細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害剤治療時における抗腫瘍免疫機序の解明	西尾啓	消化器内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肺非結核性抗酸菌症の感染成立、病状進行に関わる免疫学的プロファイルの解明	内藤真依子	呼吸器・免疫内科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
局所急性炎症反応における制御性B細胞の時空間的動態の解析	松村裕	皮膚科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
全身性強皮症における表皮・真皮Regnase-1の役割解明	森坂広行	皮膚科学講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規骨髄単球系幹細胞因子による急性骨髄性白血病の病態解明と特異的治療の開発	笠原秀範	血液・腫瘍内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
可溶性T-カドヘリンの生成・分泌制御および生理作用メカニズムの解明	福田士郎	内分泌・代謝内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
内分泌因子としてのエクソソームによる代謝恒常性維持と新規アディポネクチン作用機構	長尾博文	代謝血管学寄附講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂肪細胞由来ケトン体による代謝制御機構の解明	西谷重紀	内分泌・代謝内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会

自発呼吸関連横隔膜障害	岩田博文	麻酔・集中治療医学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
AR(拡張現実)技術による高難易度整形外科手術の標準化・低侵襲化を目指して	宮村聡	運動器バイオマテリアル学寄附講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
細胞間接触を介した破骨細胞・骨芽細胞連関による骨代謝制御の解明	古家雅之	整形外科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腰椎骨密度の新たな計測体系の構築	上村圭亮	運動器医工学治療学寄附講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
極早期緑内障における網膜内層シナプスリモデリングの病態解明	河嶋瑠美	眼科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
病理組織とAIを用いた口腔がんの予後予測と新規病理学的因子の解明	清川博貴	変革的ヒト検体解析学(日本財団)寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
実社会でのスポーツ中のウェアラブルデバイスを用いた熱中症の早期発見および予測	横山光樹	(医医)スポーツ医学講座	3,510,000	補	独立行政法人日本学術振興会
筋萎縮性側索硬化症アストロサイトのマイトファジーによる病原性制御に関する研究	門脇淳	神経内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
各組織由来エクソソームによる代謝制御機構と新規アディポネクチンシグナルの解明	長尾博文	代謝血管学寄附講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
アトピー性皮膚炎予防法開発のための、黄色ブドウ球菌脂質関連遺伝子の役割の解明	中川誠太郎	皮膚免疫微生物学共同研究講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
化学療法による卵巣機能不全におけるマクロファージの役割の検討	河野まひる	産科学婦人科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腸内微生物と宿主免疫をつなぐGPCR代謝物リガンドによる腸管恒常性維持機構の解明	猪頭英里	免疫制御学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
Cancerinsituvaccineによる細胞治療への相乗効果に関する研究	木村賢二	呼吸器外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会

脂肪細胞、前駆脂肪細胞における線維化シグナルの役割の解明	小野寺俊晴	肥満脂肪病態学寄附講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
空間的トランスクリプトミクスを用いた低分化漿液性腺癌における発癌機序の解明	清水亜麻	産科学婦人科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
アジアの神経発達症～表現型・背景因子・重症度と予後に関する共同レジストリ研究	橘雅弥	小児発達神経学領域	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
国際連携強化による「膵がん幹細胞」由来エクソソームRNA診断の最高精度化	石井秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
パーキンソン病霊長類モデルを用いた一過性血液脳関門開放による非侵襲的治療法の開発	馬場孝輔	神経内科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
パーキンソン病霊長類モデルを用いた一過性血液脳関門開放による非侵襲的治療法の開発	角田溪太	神経内科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
血管内皮幹細胞を用いた肺の新規再生療法の構築	野田成美	呼吸器・免疫内科学講座	800,000	補	独立行政法人日本学術振興会
重症心不全に対する次世代mRNA医薬品の開発	伴田一真	心臓血管外科学講座	1,000,000	補	独立行政法人日本学術振興会
コホート・生体試料支援プラットフォーム	村山繁雄	(小児科・子ども)環境関連	8,195,200	補	独立行政法人日本学術振興会
生命科学連携推進協議会	村山繁雄	(小児科・子ども)環境関連	234,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規AUG非依存性RAN翻訳の分子機構とその神経変性病態における役割	森康治	精神医学講座	5,980,000	補	独立行政法人日本学術振興会
EphA2標的抗体を用いた、がんラジオセラノスティクス薬の開発研究	渡部直史	放射線医学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
リアルワールドデータを用いた子宮頸癌診療における低侵襲手術のインパクトの検証	上田豊	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

精子を介して受精卵(胚)発生能に関わる精漿内細菌叢の探索	瀧内剛	先端ゲノム医療学共同研究講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
血液/尿中キラルアミノ酸の網羅的定量を基盤とする腎不全の早期低侵襲診断鑑別法開発	猪阪善隆	腎臓内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
I型CRISPRを利用した新規エピゲノム型トリスミックレスキュー誘導法の開発	北島康司	小児科学講座	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
IoT機器を活用した在宅腎臓リハビリテーションの遠隔支援システムの構築	猪阪善隆	腎臓内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
劇症1型糖尿病の総合的解析—プロインスリンに注目した検討	小澤純二	糖尿病病態医療学寄附講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
感性インタラクション時の音声・触覚モダリティ融合による多様な認知症の早期検出	池田学	精神医学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
在外教育施設におけるデジタルコンテンツによるメンタルヘルス支援	橘雅弥	小児発達神経学領域	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
悪性黒色腫の標的 α 線治療を指向するAt-211標識薬剤開発	渡部直史	放射線医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
異分野連携による α 線核医学治療の効果予測に向けた線量評価システムの開発	渡部直史	放射線医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
フレイル予防のための歩容見守りエッジAIの開発による「緩視」システムの実現	武田理宏	医療情報学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後の在宅呼吸機能モニタリング・解析と予測モデル開発:多施設共同研究	新谷康	呼吸器外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
干渉波脳刺激法による脳卒中からの回復促進	馬場孝輔	神経内科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
小児てんかんQOL評価尺度QOLCE-J超短縮版の開発とICTへの適応	下野九理子	高次脳機能損傷学領域	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会

移植腎長期生着に向けた新規空間的遺伝子発現解析による腎線維化メカニズムの解明	中澤成晃	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂肪細胞由来幹細胞exosomeを用いた新規cell-free心筋再生療法の開発	宮川繁	心臓血管外科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
日常生活の持続的視覚支援のための眼を見守るスマートグラスの開発	森本壮	視覚機能形成学寄附講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
末梢血・門脈血中microRNA解析による臓器別転移機序の解明と個別化治療の開発	富丸慶人	消化器外科学2講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
末梢血・門脈血中microRNA解析による臓器別転移機序の解明と個別化治療の開発	山田大作	消化器外科学2講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
末梢血・門脈血中microRNA解析による臓器別転移機序の解明と個別化治療の開発	秋田裕史	消化器外科学2講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ヒトの社会性が異なる集団における社会的認知特性の環境要因の解明	木村亮	生命情報学研究領域	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
社会的動機づけ理論は自閉スペクトラム症児者の社会的認知特性を説明可能か？	木村亮	生命情報学研究領域	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
長期安定性と情報解読性能を両立する次世代脳活動センサの研究開発	平田雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
自治体3歳児健診における統一発達スクリーニングの開発及び社会実装	毛利育子	小児発達神経学領域	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
PNHクローンの起源と変遷	保仙直毅	血液・腫瘍内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
PNHクローンの起源と変遷	植田康敬	血液・腫瘍内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
栄養療法による小児がん患者の健康保持増進と晩期合併症予防効果の検討	橘真紀子	小児科学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会

保健師を中心に地域に広げる子宮頸がん予防対策の普及プログラム	上田豊	産科学婦人科学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍微小環境における多因子間相互作用ネットワーク定量的検出への挑戦	波多野浩士	泌尿器科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
中性脂肪蓄積心筋血管症診療の鍵となる、血液による簡便なスクリーニング検査法の開発	平野賢一	中性脂肪学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
放射線治療効果向上を目指した新規細胞標的～インフルエンサー・セルの探索～	清水伸一	重粒子線治療学寄附講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腎移植後腎機能低下に影響を及ぼす腎細細管間質線維化を抑制する革新的手法の確立	中澤成晃	泌尿器科学講座	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
変異KITの細胞内局在異常の阻害による新しいGIST治療法の基盤の開発	高橋剛	消化器外科学2講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
移植腎長期生着に向けた新規空間的遺伝子発現解析による腎線維化メカニズムの解明	角田洋一	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腎移植後mTOR阻害薬の至適モニタリングを目指した前臨床実験でのバイオマーカー探索	角田洋一	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
皮膚慢性炎症性疾患の根底にある病因性residentmemoryT細胞の構築維持機構の解明	松村裕	皮膚科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
BMI、脳刺激法、AIを融合したテラーメイド型嚥下機能再建法とその神経基盤解明	平田雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	845,000	補	独立行政法人日本学術振興会
認知症高齢者の「食べる喜び」を重視したエンドオブライフ・ケアガイドの開発	池田学	精神医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ブータンに暮らす高齢者の健康を守るための創造型地域研究	坂本陽子	循環器内科学講座	732,160	補	独立行政法人日本学術振興会
多発転移性腎癌におけるニボルマブと放射線治療の相乗効果を検証する無作為比較試験	平田岳郎	放射線治療学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

遺伝性網膜・視神経ジストロフィの症例收拾および疾患別頻度の検討	松下賢治	眼科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
水素による皮膚・軟部組織内酸化ストレスの制御:難治性潰瘍に対する新規治療法の開発	大谷直矢	形成外科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
Adaptiveplatformtrialを用いた臨床研究基盤構築によるARDSの人工呼吸戦略の検討	吉田健史	麻酔・集中治療医学講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
特異的スプライシングバリエントを標的とした新たな変形性関節症治療への挑戦	谷山義明	先端分子治療学共同研究講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
統合シーケンス解析による免疫アレルギー疾患ダイナミクスの解明	奥野龍禎	神経内科学講座	325,000	補	独立行政法人日本学術振興会
統合シーケンス解析による免疫アレルギー疾患ダイナミクスの解明	藤本学	皮膚科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脳機能攪乱検出法・診断法の開発を起点としたシグナル毒性評価プラットフォームの創設	池中建介	神経内科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
PETによる免疫チェックポイント阻害剤治療の効果判定と予測:多施設前向き臨床試験	渡部直史	放射線医学講座	6,500	補	独立行政法人日本学術振興会
PETによる免疫チェックポイント阻害剤治療の効果判定と予測:多施設前向き臨床試験	武田吉人	呼吸器・免疫内科学講座	6,500	補	独立行政法人日本学術振興会
創傷治癒過程におけるエクソソームの基礎研究	久保盾貴	形成外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
非定型な経験、信念、認知の研究:哲学を中心とした学際的アプローチ	西尾慶之	行動神経学・神経精神医学寄附講座(連小)	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
損傷脳からみた日本語の神経基盤に関する統合的研究-個体差から個別化医療へ-	鈴木麻希	行動神経学・神経精神医学寄附講座(連小)	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
子宮内細菌叢形成の探求とそれに基づいたプレコンセプションケアの開発	藤井智美	変革的医療情報システム(日本財団)寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

変異集中領域に着目した自閉スペクトラム症のリバーストランスレーショナルリサーチ	橘雅弥	小児発達神経学領域	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
放射線抵抗性腫瘍への重粒子線照射と免疫療法併用による局所・アブスコパル効果の検討	玉利慶介	放射線治療学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
集束超音波による培養細胞の超解像化と局所力学刺激の付与およびその応答の系統的研究	池中建介	神経内科学講座	9,750,000	補	独立行政法人日本学術振興会
材料工学に基づく骨配向化原理の解明と新規骨基質誘導型骨代替インプラントの創製	岡田誠司	整形外科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
患者体内リアルタイム陽子線照射線量分布可視化システムの基盤創成	清水伸一	重粒子線治療学寄附講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
多分子標的型核酸と高性能化DDSによって転移性癌をリセットするムーンショット計画	江口英利	消化器外科学2講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
看護師を中心としたmultimorbidityに対する最適な介入方法の探索	武田理宏	医療情報学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
睥がんメチロームの総体解明と制御法開発	石井秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
心筋一葉系幹細胞複合型組織の構築及び虚血性心筋症への再生治療	宮川繁	心臓血管外科学講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
変形性関節症に対する間葉系間質細胞由来セクレトーム治療における作用機序の解明	辻井聡	運動器スポーツバイオメカニクス学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
生活習慣病共通増悪因子として機能するマスターレギュレーター物質の探索	片上直人	内分泌・代謝内科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
術中の動画及び音声情報を用いた手術チームパフォーマンスの統合的解明	吉岡大輔	心臓血管外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
術中の動画及び音声情報を用いた手術チームパフォーマンスの統合的解明	田中晃司	消化器外科学2講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会

軽度認知機能障害者に対する睡眠データを活用したハイブリッド型看護外来の構築	釜江和恵	行動神経学・神経精神医学寄附講座(連小)	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
がん間質FAPIPETイメージングにおける集積の生物学的背景と臨床的意義の解明	渡部直史	放射線医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
がん間質FAPIPETイメージングにおける集積の生物学的背景と臨床的意義の解明	新谷康	呼吸器外科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
日本人高齢者におけるepigeneticagingclockとフレイル、術後合併症の関連の検討	山本浩一	老年・総合内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
日本人高齢者におけるepigeneticagingclockとフレイル、術後合併症の関連の検討	郡山弘	老年・総合内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
癌細胞特異的染色法を用いた血中循環腫瘍細胞の検出方法	多根井智紀	乳腺・内分泌外科学講座	52,000	補	独立行政法人日本学術振興会
胸膜播種モデルマウスに対するFAPCAR-T細胞を用いた新規治療法の検討	保仙直毅	血液・腫瘍内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
胸膜播種モデルマウスに対するFAPCAR-T細胞を用いた新規治療法の検討	新谷康	呼吸器外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
胸膜播種モデルマウスに対するFAPCAR-T細胞を用いた新規治療法の検討	木村亨	呼吸器外科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後慢性拒絶反応における補体反応の機能解明と新規免疫学的治療の開発	福井絵里子	呼吸器外科学講座	28,600	補	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後慢性拒絶反応における補体反応の機能解明と新規免疫学的治療の開発	木村亨	呼吸器外科学講座	28,600	補	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後慢性拒絶反応における補体反応の機能解明と新規免疫学的治療の開発	狩野孝	呼吸器外科学講座	71,500	補	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後慢性拒絶反応における補体反応の機能解明と新規免疫学的治療の開発	大瀬尚子	呼吸器外科学講座	14,300	補	独立行政法人日本学術振興会

肺移植後慢性拒絶反応における補体反応の機能解明と新規免疫学的治療の開発	新谷康	呼吸器外科学講座	28,600	補	独立行政法人日本学術振興会
人工知能を用いた救急・集中治療患者の客観的な痛みモニタリングシステムの確立	織田順	救急医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍横断的な骨転移バイオマーカーGDPPの臨床実装とセラノスティクス創薬基盤の構築	加藤大悟	泌尿器科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍横断的な骨転移バイオマーカーGDPPの臨床実装とセラノスティクス創薬基盤の構築	渡部直史	放射線医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規リボスクレアーゼ Regnase-1を標的とした泌尿器がん新規免疫療法の開発	加藤大悟	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
遺伝子改変マウスを用いたY染色体上の無精子症因子(AZFa)の機能解明	上田倫央	泌尿器科学講座	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
遺伝子改変マウスを用いたY染色体上の無精子症因子(AZFa)の機能解明	竹澤健太郎	泌尿器科学講座	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
移植腎廃絶につながる移植後BKウイルス腎症の革新的な早期診断・治療法の開発	野々村祝夫	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
移植腎廃絶につながる移植後BKウイルス腎症の革新的な早期診断・治療法の開発	角田洋一	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
移植腎廃絶につながる移植後BKウイルス腎症の革新的な早期診断・治療法の開発	中澤成晃	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
機能的スクリーニングに基づく前立腺癌の放射線感受性メカニズムの解明	波多野浩士	泌尿器科学講座	975,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規遺伝子改変ブタの作成を目指した異種腎移植におけるヒト好中球制御の検討	角田洋一	泌尿器科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規遺伝子改変ブタの作成を目指した異種腎移植におけるヒト好中球制御の検討	中澤成晃	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会

マイクロ流体デバイスを用いた新規非侵襲的着床前診断法の構築	瀧内剛	先端ゲノム医療学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
マイクロ流体デバイスを用いた新規非侵襲的着床前診断法の構築	伴田美佳	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ケロイドの治療法開発:cofilinに注目した皮膚線維芽細胞の分化と細胞死の解析	久保盾貴	形成外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
口腔から全身へ、一次感覚ニューロンを標的としたALS新規治療戦略の開発	長野清一	神経難病認知症探索治療学寄附講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂肪細胞による全身性炎症反応制御:オートファジーとアディポカイン産生	福田士郎	内分泌・代謝内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腎細胞癌局所内免疫状態を構築する血液内細菌叢の同定	野々村祝夫	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腎細胞癌局所内免疫状態を構築する血液内細菌叢の同定	河嶋厚成	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腎移植後拒絶反応の診断および治療効果予測のための革新的新規バイオマーカーの創出	野々村祝夫	泌尿器科学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
腎移植後拒絶反応の診断および治療効果予測のための革新的新規バイオマーカーの創出	中澤成晃	泌尿器科学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
尿路上皮癌患者におけるD-アミノ酸発現意義の解明	野々村祝夫	泌尿器科学講座	52,000	補	独立行政法人日本学術振興会
尿路上皮癌患者におけるD-アミノ酸発現意義の解明	河嶋厚成	泌尿器科学講座	52,000	補	独立行政法人日本学術振興会
LSRが促進する卵巣癌の脂質代謝経路の探索と抗LSR抗体の抗腫瘍効果の証明	上田豊	産科学婦人科学講座	1,235,000	補	独立行政法人日本学術振興会
リアルワールドデータ品質評価指標の構築と信頼性向上のための対策	武田理宏	医療情報学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会

最新イメージング技術による肝の鉄代謝および線維化の解析とその臨床応用に関する検討	堀雅敏	人工知能画像診断学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
最新イメージング技術による肝の鉄代謝および線維化の解析とその臨床応用に関する検討	中本篤	次世代画像診断学共同研究講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
最新イメージング技術による肝の鉄代謝および線維化の解析とその臨床応用に関する検討	太田崇詞	放射線医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
最新イメージング技術による肝の鉄代謝および線維化の解析とその臨床応用に関する検討	福井秀行	放射線医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
胸腺上皮性腫瘍の腫瘍間質をターゲットとした治療戦略の探索	保仙直毅	血液・腫瘍内科学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
胸腺上皮性腫瘍の腫瘍間質をターゲットとした治療戦略の探索	新谷康	呼吸器外科学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
胸腺上皮性腫瘍の腫瘍間質をターゲットとした治療戦略の探索	木村亨	呼吸器外科学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
胸腺上皮性腫瘍の腫瘍間質をターゲットとした治療戦略の探索	渡部直史	放射線医学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後炎症における肺胞マクロファージの役割と制御経路の検討	狩野孝	呼吸器外科学講座	32,500	補	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後炎症における肺胞マクロファージの役割と制御経路の検討	福井絵里子	呼吸器外科学講座	32,500	補	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後炎症における肺胞マクロファージの役割と制御経路の検討	木村亨	呼吸器外科学講座	32,500	補	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後炎症における肺胞マクロファージの役割と制御経路の検討	大瀬尚子	呼吸器外科学講座	32,500	補	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後炎症における肺胞マクロファージの役割と制御経路の検討	新谷康	呼吸器外科学講座	32,500	補	独立行政法人日本学術振興会

泌尿器癌におけるPublicNeoantigenの同定とその特異的T細胞誘導による新規治療開発	野々村祝夫	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
泌尿器癌におけるPublicNeoantigenの同定とその特異的T細胞誘導による新規治療開発	加藤大悟	泌尿器科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
頸部郭清術計画の最適化と患者QOLの改善を目指した超高精度リンパ節転移診断の実現	渡部直史	放射線医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
人工知能により創出された新たな知に基づく病理画像解析システムの開発	松井功	腎臓内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
人工知能により創出された新たな知に基づく病理画像解析システムの開発	井上和則	腎臓内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
人工知能により創出された新たな知に基づく病理画像解析システムの開発	猪阪善隆	腎臓内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膵がん間質特異的コンジュゲート兵糧攻めと治療抵抗性リプログラミングによる根絶化	江口英利	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膵がん間質特異的コンジュゲート兵糧攻めと治療抵抗性リプログラミングによる根絶化	石井秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
口腔顔面痛と睡眠障害の悪循環を断ち切る視床下部Orexin経路に対する性差の影響	毛利育子	小児発達神経学領域	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膝前十字靭帯の3次元変形解析による関節制動機構の力学的解明	辻井聡	運動器スポーツバイオメカニクス学共同研究講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膝前十字靭帯の3次元変形解析による関節制動機構の力学的解明	大堀智毅	整形外科科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
術中の動画及び音声情報を用いた手術チームパフォーマンスの統合的解明	新谷康	呼吸器外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ケロイドの治療法開発:cofilinに注目した皮膚線維芽細胞の分化と細胞死の解析	黒田一也	形成外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会

紫外光反応によるアスタチン核医学薬剤の新規合成法開発	渡部直史	放射線医学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
軽度認知機能障害者に対する睡眠データを活用したハイブリッド型看護外来の構築	池田学	精神医学講座	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
体細胞モザイクである線維性骨異形成症のシングルセル解析による病態解明と創薬展開	松井崇浩	病態病理学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
術前データと脳波から心臓外科領域のせん妄発生を予測する機械学習モデルの開発	池田学	精神医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
術前データと脳波から心臓外科領域のせん妄発生を予測する機械学習モデルの開発	畑真弘	精神医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂肪細胞による全身性炎症反応制御:オートファジーとアディポカイン産生	清水健太郎	救急医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
PDX同所移植モデルを用いた脳腫瘍に対する新規核酸治療剤の開発	木嶋教行	脳神経外科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
PDXモデルマウスとオミックス解析を用いた希少がん保存バンクの設立	澤田健二郎	産科学婦人科学講座	2,893,800	補	独立行政法人日本学術振興会
PDXモデルマウスとオミックス解析を用いた希少がん保存バンクの設立	小玉美智子	産科学婦人科学講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
血中循環腫瘍DNAとがん間質FAPIPETを用いた頭頸部癌層別化システムの構築	猪原秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	下村伊一郎	内分泌・代謝内科学	300,000	委	国際医療研究センター(J-DREAMS)
大阪府内におけるギャンブル等依存症の実態調査研究	池田学	情報統合医学講座 精神医学	7,500,000	委	大阪府(健康医療部保健医療室地域保健課)
外科系診療分野に関する学術研究動向	岡田誠司	整形外科学	1,560,000	委	(独)日本学術振興会

先端技術を活用したコンディショニング基盤実証研究	中田研	スポーツ医学	59,000,000	委	スポーツ庁
新規セラノスティクス標的開発のための国際拠点ネットワークの充実化	渡部直史	放射線医学	15,147,000	委	独立行政法人日本学術振興会
腸管免疫に着目したパーキンソン病における臓器間ネットワークの解明	木下允	神経内科学	9,100,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
侵襲型BMIによるCA制御の研究開発	平田雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	30,000,100	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
肺傷害のリスクを可視化するLung stress mapping法の確立と臨床応用への挑戦	吉田健史	麻酔・集中治療医学	6,272,500	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
ヒトへの長期留置を目指した極低侵襲BMIシステムの開発	中村元	脳神経外科学	52,000,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
状態遷移を制御する血管正常化療法の開発	福嶋葉子	眼科学	10,400,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
動的異常翻訳のメカニズムとその病的意義	森康治	情報統合医学講座 精神医学	10,140,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
大脳基底核深部電極を使用したBrain Machine Interface開発	谷直樹	脳神経外科学講座	12,337,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
網膜血管内皮階層性に基づく細胞供給メカニズム	崎元晋	幹細胞応用医学寄附講座	4,030,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(研推→医学)	島津研三	乳腺・内分泌外科学講座	1,300,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(研推→医学)	西田幸二	眼科学講座	1,300,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(研推→医学)	貴島晴彦	脳神経外科学講座	1,950,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構

フォトニクスによる次世代医療・ヘルスケア技術に関する大阪大学による研究開発(研推→医学)	藤本学	皮膚科学	14,924,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
持続尿中酸素分圧測定による革新的腎臓リアルタイムモニタリング方法の開発	井口直也	麻酔・集中治療医学	7,176,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
AR/MR(拡張現実/複合現実)技術を用いた整形外科手術ナビゲーションシステムの開発～高難易度手術の標準化・低侵襲化を目指して～	宮村聡	整形外科	6,500,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
新規ゲノム編集技術とナノDDS探索によるダウン症候群の知的発達障害に対する遺伝子治療法の開発	北島康司	小児科学	11,700,000	委	日本医療研究開発機構
「乳児急性リンパ性白血病の新規治療戦略確立をめざす国際共同第III相臨床試験」開発研究	宮村能子	小児学講座	13,130,000	委	日本医療研究開発機構
治療抵抗性転移再発HER2陰性乳癌に対する新規治療法の開発	島津研三	乳腺内分泌外科学	6,500,000	委	日本医療研究開発機構
進行食道胃接合部腺癌に対する標準的な周術期治療の開発研究	黒川幸典	消化器外科学	15,275,000	委	日本医療研究開発機構
C3腎症の診断・治療アルゴリズム策定に資するエビデンス構築	猪阪善隆	腎臓内科学	5,850,000	委	日本医療研究開発機構
膵液漏出抑制能力を有する自己集合性ペプチドゲル膵液瘻予防材の開発	江口英利	消化器外科	29,247,920	委	日本医療研究開発機構
経口セマグルチドのパーキンソン病に対する有効性検証および用量探索試験	木村康義	神経内科学	69,940,000	委	日本医療研究開発機構
同種造血幹細胞移植後急性骨髄性白血病患者に対する臍帯血由来新規CAR-NK細胞の開発	保仙直毅	血液・腫瘍内科学	72,800,000	委	日本医療研究開発機構
同種造血幹細胞移植後急性骨髄性白血病患者に対する臍帯血由来新規CAR-NK細胞の開発	山岸義晃	医学部附属病院	650,000	委	日本医療研究開発機構

SCRUM-Japan MONSTAR-SCREENプロジェクト基盤を活用した血液循環腫瘍DNAゲノムスクリーニングに基づく相同組換え遺伝子変異を有する固形がんに対する医師主導治験	加藤大悟	泌尿器科学	44,343,650	委	日本医療研究開発機構
リン脂質と α シヌクレインの相互作用に作用するパーキンソン病の先制治療薬開発	池中建介	神経内科学	19,500,000	委	日本医療研究開発機構
【J220705060研究成果実用化】分子機能による層別化を目的とした心筋症疾患 iPS 細胞ライブラリーの構築	坂田泰史	循環器内科学	5,200,000	委	日本医療研究開発機構
神経変性拡散加速分子を標的とする抗体医薬品の前頭側頭葉変性症に対する医師主導治験	池田学	精神医学	102,700,000	委	日本医療研究開発機構
機能喪失型変異により発症する拡張型心筋症に対する高効率心臓遺伝子補充療法の開発	坂田泰史	循環器内科学	62,400,000	委	日本医療研究開発機構
ゲノム情報に基づく気管支喘息エンドタイプの病態解明と個別化医療の実装	白井雄也	遺伝統計学	8,190,000	委	日本医療研究開発機構
ゲノム情報に基づく気管支喘息エンドタイプの病態解明と個別化医療の実装	西出真之	呼吸器・免疫	650,000	委	日本医療研究開発機構
肝硬変における類洞内圧亢進が肝病態進展に与える影響とその機序を解明する研究	疋田隼人	消化器内科学	138,710,000	委	日本医療研究開発機構
NAFLD/NASHおよび非ウイルス性肝がんの病態解明と治療法開発	小玉尚宏	消化器内科学	91,000,000	委	日本医療研究開発機構
NAFLD/NASHおよび非ウイルス性肝がんの病態解明と治療法開発	江口英利	消化器外科学	13,000,000	委	日本医療研究開発機構
【調整費】革新的な腫瘍不均一性モデル動物と多施設共同臨床研究による肝癌複合免疫療法効果予測バイオマーカー探索	小玉尚宏	消化器内科学	25,350,000	委	日本医療研究開発機構
海馬と皮質間ネットワークによる安静時機能的結合ダイナミクスの解明に関する研究開発	貴島晴彦	脳神経外科学講座	7,800,000	委	日本医療研究開発機構
【調整費】同種造血幹細胞移植後再発急性骨髄性白血病患者に対する新規CAR-T細胞の開発	保仙直毅	血液・腫瘍内科学	144,950,000	委	日本医療研究開発機構

膠芽腫に対する集束超音波を用いた新規免疫療法の研究開発	木嶋教行	脳神経外科学	9,100,000	委	日本医療研究開発機構
循環器疾患における分散連合学習可能なデータ流通基盤による予測モデル構築及びオミクス解析に基づく新規治療法開発	宮川繁	心臓血管外科	18,200,000	委	日本医療研究開発機構
硝子体再建能力を有する自己集合性ペプチドゲル硝子体再建材の開発	西田幸二	眼科学	85,800,000	委	日本医療研究開発機構
胃癌食道癌術後患者に対するアナモレリンの臨床効果に関するランダム化比較試験	土岐祐一郎	消化器外科	7,800,000	委	日本医療研究開発機構
同種造血幹細胞移植後再発急性骨髄性白血病患者に対する新規CAR-T細胞の開発	保仙直毅	血液・腫瘍内科学	93,795,000	委	日本医療研究開発機構
同種造血幹細胞移植後再発急性骨髄性白血病患者に対する新規CAR-T細胞の開発	山岸義晃	医学部附属病院	650,000	委	日本医療研究開発機構
HPVワクチンの長期的効果およびキャッチアップ接種の有効性の評価のための大規模疫学研究	上田豊	産科学婦人科学	23,377,900	委	日本医療研究開発機構
核膜病としての遺伝性心筋症および筋ジストロフィーのオミクス情報に基づく原因分子病態の解明と分子機能評価系確立による革新的治療標的の同	朝野仁裕	循環器内科	9,100,000	委	日本医療研究開発機構
NAFLD/NASHおよび非ウイルス性肝がんの病態解明と治療法開発	小玉尚宏	消化器内科学	15,600,000	委	日本医療研究開発機構
NAFLD/NASHおよび非ウイルス性肝がんの病態解明と治療法開発	西尾啓	消化器内科(一括計上)	3,900,000	委	日本医療研究開発機構
NAFLD/NASHおよび非ウイルス性肝がんの病態解明と治療法開発	江口英利	消化器外科	3,900,000	委	日本医療研究開発機構
C型肝炎ウイルス排除後の長期経過とPost-SVR hepatopathyの病態解明	田畑優貴	消化器内科(一括計上)	3,250,000	委	日本医療研究開発機構
C型肝炎ウイルス排除後の長期経過とPost-SVR hepatopathyの病態解明	疋田隼人	消化器内科(一括計上)	3,250,000	委	日本医療研究開発機構

肝硬変における類洞内圧亢進が肝病態進展に与える影響とその機序を解明する研究	疋田隼人	消化器内科学	9,100,000	委	日本医療研究開発機構
肝硬変における類洞内圧亢進が肝病態進展に与える影響とその機序を解明する研究	田畑優貴	消化器内科(一括計上)	3,900,000	委	日本医療研究開発機構
要介護高齢者のケアを最適化する因子を解明する研究開発	山本浩一	老年・総合内科学	22,745,766	委	日本医療研究開発機構
要介護高齢者のケアを最適化する因子を解明する研究開発	神出計	保健学	2,080,000	委	日本医療研究開発機構
CD98hc蛋白質の糖鎖修飾変化に関連したがん特異的エピトープを標的とした非小細胞肺癌に対するCAR-T細胞療法の開発	保仙直毅	血液・腫瘍内科学	23,400,000	委	日本医療研究開発機構
拡張型心筋症に対するヒト(同種)iPS細胞由来心筋細胞シートを用いた臨床試験	宮川繁	心臓血管外科学	56,940,000	委	日本医療研究開発機構
同種iPS細胞由来板状軟骨組織による広範囲関節軟骨損傷の再生治療法開発	大堀智毅	整形外科	1,300,000	委	日本医療研究開発機構
心不全アップストリーム治療開発に向けた微細構造特異的タンパク質恒常性維持機構の解明	木岡秀隆	循環器内科学	9,750,000	委	日本医療研究開発機構
TRPC3/6を標的とした難治性かつ進行性腎疾患に対する新規治療薬開発	山本毅士	腎臓内科学	0	委	日本医療研究開発機構
遺伝子治療実現に向けたヒト黄斑オルガノイドの開発	西田幸二	眼科学	57,200,000	委	日本医療研究開発機構
ヒト由来試料を活用した早期認知症のmolecular subtypingによる層別化を基盤とした病態解明と新規創薬ターゲットの創出	武田朱公	臨床遺伝子治療学寄附講座	16,000,000	委	日本医療研究開発機構
経口セマグルチドのパーキンソン病に対する有効性検証および用量探索試験	木村康義	神経内科学	59,735,000	委	日本医療研究開発機構
インターフェロンフリー治療がC型肝炎患者の予後を含めたアウトカムに与える影響を明らかにする研究	疋田隼人	消化器内科学	1,040,000	委	日本医療研究開発機構

B型肝炎ウイルス(HBV)感染・増殖に関わるウイルス宿主相互作用連関の解明による抗HBV戦略の展開	村井一裕	医病	13,000,000	委	日本医療研究開発機構
B型肝炎ウイルス持続感染モデルを活用した病態解明および新規治療法の開発	江口英利	消化器外科1	5,200,000	委	日本医療研究開発機構
HLAノックアウトiPS細胞由来角膜上皮細胞シート移植の治験に向けた非臨床試験	西田幸二	眼科学	77,350,000	委	日本医療研究開発機構
フックス角膜内皮ジストロフィーの診療エビデンス創出のための研究	大家義則	眼科学	21,964,540	委	日本医療研究開発機構
新興ダニ媒介性ウイルス重症熱に対する総合的な対策スキームの構築	忽那賢志	感染制御学	3,250,000	委	日本医療研究開発機構
分子機能による層別化を目的とした心筋症疾患iPS細胞ライブラリーの構築	坂田泰史	循環器内科学	50,700,000	委	日本医療研究開発機構
分子機能による層別化を目的とした心筋症疾患iPS細胞ライブラリーの構築	宮川繁	心臓血管外科学	1,300,000	委	日本医療研究開発機構
硝子体再建能力を有する自己集合性ペプチドゲル硝子体再建材の開発	西田幸二	眼科学	27,352,000	委	日本医療研究開発機構
前立腺特異的膜抗原(PSMA)を標的とした革新的α線治療薬の実用化に向けた医師主導治験の実施	渡部直史	核医学	74,230,000	委	日本医療研究開発機構
前立腺特異的膜抗原(PSMA)を標的とした革新的α線治療薬の実用化に向けた医師主導治験の実施	渡部直史	核医学	74,230,000	委	日本医療研究開発機構
慢性腎臓病の発症・進展に関するヘルスケアサービスやデジタル技術介入の提言に資するエビデンスの構築	猪阪善隆	腎臓内科学	20,800,000	委	日本医療研究開発機構
革新的な腫瘍不均一性モデル動物と多施設共同臨床研究による肝臓複合免疫療法効果予測バイオマーカー探索	小玉尚宏	消化器内科学	13,000,000	委	日本医療研究開発機構
革新的BMI技術と視覚認知ネットワークの理解と制御に基づく次世代人工視覚装置の研究開発	森本壮	視覚機能形成学寄附講座	22,230,000	委	日本医療研究開発機構

革新的 BMI 技術と視覚認知ネットワークの理解と制御に基づく次世代人工視覚装置の研究開発	辻川元一	保健学科	5,200,000	委	日本医療研究開発機構
蛍光生体イメージングによる強皮症の定量的診断・疾患評価機器の開発	藤本学	皮膚科学	11,700,000	委	日本医療研究開発機構
神経・免疫連関を介したヒト自然免疫記憶制御に関する研究開発	奥野龍禎	神経内科	13,000,000	委	日本医療研究開発機構
生細胞染色 CTS (Click-to-sense) 法を用いた乳がんの乳房温存手術の切除断端に対する術中迅速診断の確立	多根井智紀	乳腺・内分泌外科学	19,370,000	委	日本医療研究開発機構
自律神経系遺伝子変異不均衡がもたらす epigenetic 変化に着目した突然死予防への挑戦	山田知美	データセンター	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
製剤業務の教育体制標準化に向けたデジタル教材の導入と評価	原伸輔	薬剤部	611,000	補	独立行政法人日本学術振興会
オキサリプラチン誘発末梢神経障害マウスを用いたプロトンポンプ阻害薬の保護効果解明	小林暉英	薬剤部	611,000	補	独立行政法人日本学術振興会
VirtualReality(VR)を使用した嚥下機能評価	橋田直	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	572,000	補	独立行政法人日本学術振興会
超高磁場MRI:多素子並列RF励起技術の安全性確立と局所超高分解能撮像への展開	山田幸子	放射線部	151,247	補	独立行政法人日本学術振興会
高齢者施設の種類と特徴に応じた救急・災害医が関与した災害計画と訓練手法の開発	射場治郎	高度救命救急センター	979,188	補	独立行政法人日本学術振興会
地域包括ケアシステムにおけるPeer-to-peerネットワーク構築の有効性検討	北村温美	中央クオリティマネジメント部	624,950	補	独立行政法人日本学術振興会
Dual-energy仮想非造影CTによる革新的な放射線治療計画法の開発と実用化	山田幸子	放射線部	786,184	補	独立行政法人日本学術振興会
人工知能を活用したドーパミン機能画像によるシヌクレノパチー早期診断システムの確立	高橋洋人	放射線部	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会

119番通報に人工知能を応用した新たな消防通信指令支援システムの開発に関する研究	入澤太郎	高度救命救急センター	711,443	補	独立行政法人日本学術振興会
シングル細胞シーケンスを用いた敗血症における免疫抑制病態の解明と新規治療法開発	伊藤弘	高度救命救急センター	316,826	補	独立行政法人日本学術振興会
シングル細胞シーケンスを用いた敗血症における免疫抑制病態の解明と新規治療法開発	松本寿健	高度救命救急センター	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
トランスクリプトームを用いた心停止の分子ネットワーク病態の解明と神経予後予測	中尾俊一郎	高度救命救急センター	574,070	補	独立行政法人日本学術振興会
コロナ時代の救急・災害現場における非接触型健康情報共有ツールの有用性に関する研究	酒井智彦	高度救命救急センター	1,613,432	補	独立行政法人日本学術振興会
地域を網羅した大規模救急患者レジストリ分析による救急搬送患者の実態解明	片山祐介	高度救命救急センター	698,598	補	独立行政法人日本学術振興会
ナノポア技術と機械学習を用いた新たな微生物迅速診断検査系の確立	廣瀬智也	高度救命救急センター	238,972	補	独立行政法人日本学術振興会
機械学習に基づく完全自動化された骨関節三次元動態解析システムの開発	佐原亘	リハビリテーション部	530,297	補	独立行政法人日本学術振興会
適応性に機能する急変対応システムの有用性と実装に向けた研究	中島和江	中央クオリティマネジメント部	60,000	補	独立行政法人日本学術振興会
臓器間ネットワークからみた脳梗塞病態におけるCRTCSIGNALの意義について	神吉秀明	神経内科・脳卒中科	341,458	補	独立行政法人日本学術振興会
心不全における腎うっ血の有効な評価法と長期的腎保護療法の確立	岡樹史	腎臓内科	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会
神経障害性疼痛モデルマウスにおけるGaboxadolの全身投与の鎮痛効果と副作用	博多紗綾	麻酔科	2,887,648	補	独立行政法人日本学術振興会
認知症の物盗られ妄想に関連する生活環境因子の同定	石丸大貴	神経科・精神科	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会

ポストコロナ時代を見据えた大学生のネット依存傾向の早期検知と介入システムの構築	石丸大貴	神経科・精神科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
Breg細胞を用いた自己免疫性甲状腺疾患における新規検査法の開発	井上直哉	臨床検査部	961,185	補	独立行政法人日本学術振興会
BNCTに用いるホウ素化合物BSHの標識合成法の開発と生体内における動態解明	仲定宏	放射線部	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規実験システムを用いた血小板インテグリンシグナル制御機構の解析とその応用	加藤恒	輸血部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
PPAR α をターゲットとしたリンパ球代謝リモデリングによる自己免疫疾患制御	増山慧	腎臓内科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
小腸移植後の慢性拒絶制御における間葉系幹細胞による再生細胞医療の研究	上野豪久	小児外科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肝癌微小環境における腫瘍関連マクロファージを中心とした細胞間相互作用の解明	野田剛広	消化器外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的生体分子情報に基づく重症熱傷病態の中心的分子解明と新規治療薬開発	松本寿健	高度救命救急センター	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
統合解析に基づくARDSの全身免疫と肺局所免疫の免疫分子病態解明	光山裕美	高度救命救急センター	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
脂肪細胞による全身性炎症反応制御:オートファジーとアディポカイン産生	蛭原健	高度救命救急センター	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的分子生体情報を用いた頭部外傷患者に対する新たな治療戦略の構築	松本寿健	高度救命救急センター	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的分子生体情報を用いた頭部外傷患者に対する新たな治療戦略の構築	蛭原健	高度救命救急センター	39,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ヒト子宮着床能前方視的評価メカニズム解明のための月経による内膜再生機構の基礎検討	味村和哉	産科婦人科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

LSRが促進する卵巣癌の脂質代謝経路の探索と抗LSR抗体の抗腫瘍効果の証明	平松宏祐	総合周産期母子医療センター	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
リアルワールドデータ品質評価指標の構築と信頼性向上のための対策	山田知美	データセンター	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
リアルワールドデータ品質評価指標の構築と信頼性向上のための対策	吉波哲大	乳腺・内分泌外科	297,581	補	独立行政法人日本学術振興会
ミネラルコルチコイド受容体活性評価系の確立と臨床応用	早川友朗	糖尿病・内分泌・代謝内科	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
血液脳関門を介さない皮膚から脳への新規薬剤輸送機構の解明	中村歩	薬剤部	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膵がん間質特異的コンジュゲート兵糧攻めと治療抵抗性リプログラミングによる根絶化	佐藤太郎	消化器外科	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
心房細動アブレーション術後におけるApplewatchを応用した新たな抗凝固療法	須永晃弘	循環器内科	14,842	補	独立行政法人日本学術振興会
腎炎モデルマウスを用いたmRNAワクチンによる抗原特異的免疫寛容誘導治療法の開発	郡山弘	老年・高血圧内科	688,706	補	独立行政法人日本学術振興会
多層的アプローチによる抗がん薬誘発性末梢神経障害に対する新規予防法の開発	奥田真弘	薬剤部	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
臨床MR画像に対するSNR評価の新機軸:すべての撮像法に適用可能な統一的解析法の樹立	山田幸子	放射線部	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
リソソーム-フェロトーシス軸に着目した肥満関連尿細管症の病態解明と治療への応用	松井翔	腎臓内科	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
傍細胞リン吸収メカニズムに着目した高リン血症治療法開発	松本あゆみ	腎臓内科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
糸球体障害進展による尿細管間質線維化発症機序の解明	松本あゆみ	腎臓内科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

糸球体障害進展による尿細管間質線維化発症機序の解明	奥嶋拓樹	腎臓内科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
人工知能アルゴリズムによる音響解析を用いたLVAD診断システムの構築	三隅祐輔	心臓血管外科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
動脈硬化進行メカニズムの解明およびバイオマーカーの確立	三宅啓介	心臓血管外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
胸腺上皮性腫瘍の腫瘍間質をターゲットとした治療戦略の探索	寛島隆史	呼吸器外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後炎症における肺胞マクロファージの役割と制御経路の検討	櫻井禎子	呼吸器外科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
免疫応答バランスからみた熱傷後の免疫不全メカニズムに関する統合的解析	松本寿健	高度救命救急センター	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
免疫応答バランスからみた熱傷後の免疫不全メカニズムに関する統合的解析	米田和弘	高度救命救急センター	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
敗血症性脳症の分子病態統合解析と新規生体指標による積極的治療介入方法の提案	松本寿健	高度救命救急センター	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
生体内骨密度分布および関節軟骨モデル化による新規関節画像評価システムの構築	塩出亮哉	整形外科	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
カリウムによる新規ナトリウム・クロライド共輸送体の制御機構に基づいた夜間多尿治療	辻村剛	泌尿器科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
泌尿器癌におけるPublicNeoantigenの同定とその特異的T細胞誘導による新規治療開発	奥田洋平	泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
全国がん登録を活用したがん患者のがん以外の死因調査研究	権泰史	神経内科・脳卒中科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
アプリケーションシステムによる認知症ケアの暗黙知のビッグデータ化とその臨床応用	石丸大貴	神経科・精神科	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会

人工知能により創出された新たな知に基づく病理画像解析システムの開発	松本あゆみ	腎臓内科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肝細胞癌に対する薬物療法の治療効果・生命予後を予測する新規バイオマーカーの開発	前阪和城	消化器内科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
重症下肢虚血の救肢達成を可能とするiPS-MSCを用いた新規再生治療法の開発	三宅啓介	心臓血管外科	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
外傷診療における精密医療化を目指した新規アプローチの開発	舘野丈太郎	高度救命救急センター	3,266,758	補	独立行政法人日本学術振興会
外来がん薬物療法を受ける高齢がん患者の聴覚可視化による有効なセルフケア支援の検討	佐藤太郎	消化器外科	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
オルガノスフェアとマイクロバイオーム解析による多次元腫瘍解析と次世代型治療効果予測システムの構築	豊田有紀	消化器外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
筋萎縮性側索硬化症アストロサイトのマイトファジーによる病原性制御に関する研究	門脇淳	神経内科・脳卒中科	1,073,070	補	独立行政法人日本学術振興会
尿路上皮癌の発癌機構に関わる代謝物を基質としたRNA修飾経路の解明	堀部祐輝	泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
AR標的薬とPARP阻害剤の併用に着目した前立腺癌の新規合成致死性メカニズムの解明	谷優	泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規リボヌクレアーゼ Regnase-1を標的とした新たな腎がん免疫療法の開発	吉村明洋	泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
子宮頸がんの格差モニタリングとその要因解明～公的統計・がん登録データの活用～	岡愛実子	産科婦人科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
異分野連携によるα線核医学治療の効果予測に向けた線量評価システムの開発	佐々木秀隆	放射線部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
蹴り出し推進型短下肢装具の開発-中足指節関節の伸曲両立性を担保できるソール素材-	山中雄翔	リハビリテーション部	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会

人体相同モデリングによる筋骨格形状データベースの構築	佐原亘	リハビリテーション部	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
重症病態の腸内細菌を介した新規腸管バリア・免疫能の解析と腸内細菌叢再構築法の確立	上田安希子	臨床検査部	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
救命後の生活の質や患者・家族の意思を尊重した院外心停止治療戦略の構築に関わる研究	入澤太郎	高度救命救急センター	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
侵襲時再生治療に関する新規制御因子の解明:ゲノム・エピゲノム統合解析	蛭原健	高度救命救急センター	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
侵襲時再生治療に関する新規制御因子の解明:ゲノム・エピゲノム統合解析	入澤太郎	高度救命救急センター	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
侵襲時再生治療に関する新規制御因子の解明:ゲノム・エピゲノム統合解析	松本寿健	高度救命救急センター	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
多次元データ・マルチモーダル機械学習による入院患者転倒転落リスク予測モデルの開発	中島和江	中央クオリティマネジメント部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
多次元データ・マルチモーダル機械学習による入院患者転倒転落リスク予測モデルの開発	北村温美	中央クオリティマネジメント部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
感染症に強い介護環境を提供する感染管理認定看護師によるプラットフォームの構築	太田悦子	看護部	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
合成ヘムモデル化合物による生理活性ガスの系統的機能	米田和弘	高度救命救急センター	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
癌関連線維芽細胞を標的とした革新的アルファ線治療薬の開発	仲定宏	放射線部	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
AKI脆弱性に着目した高齢者AKIを予防するためのシーズ探索	酒井晋介	腎臓内科	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
患者人工呼吸不同調に対する人工呼吸器最適調節システムの開発	橋本明佳	集中治療部	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会

Immunogenomicsを用いたネオアンチゲンの効率的同定による新規個別化免疫療法の開発	奥田洋平	泌尿器科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
日本人高齢者におけるepigeneticagingclockとフレイル、術後合併症の関連の検討	本行一博	老年・高血圧内科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
日本人高齢者におけるepigeneticagingclockとフレイル、術後合併症の関連の検討	郡山弘	老年・高血圧内科	52,780	補	独立行政法人日本学術振興会
革新的なAVM治療としての血管新生阻害剤徐放性ゲルの開発	是恒悠司	放射線診断科・IVR科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ヒアルロン酸ナノゲルを応用した次世代液体塞栓物質の開発	是恒悠司	放射線診断科・IVR科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ペプチド創薬の加速化を支援するPET薬剤合成技術の開発	仲定宏	放射線部	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
α 線核医学治療の普及を目指した新規LAT-1選択的コンパニオン診断薬の開発	栗本健太	薬剤部	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
心筋梗塞後の心室リモデリングの機序の解明	中村大輔	循環器内科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規抗血小板療法を目指すインテグリン α IIb β 3活性化キネティクス制御の網羅的解析	加藤恒	輸血部	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
癌細胞特異的染色法を用いた血中循環腫瘍細胞の検出方法	波多野高明	乳腺・内分泌外科	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
胸膜播種モデルマウスに対するFAPCAR-T細胞を用いた新規治療法の検討	杉浦裕典	呼吸器外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
肺移植後慢性拒絶反応における補体反応の機能解明と新規免疫学的治療の開発	池晃弘	呼吸器外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
人工知能を用いた救急・集中治療患者の客観的な痛みモニタリングシステムの確立	廣瀬智也	高度救命救急センター	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会

ミトコンドリア移植による外傷性脳損傷後の神経機能回復に関する研究	竹川良介	高度救命救急センター	6,500	補	独立行政法人日本学術振興会
慢性期外傷性脳損傷はなぜ起きるのか-爆傷による軽症頭部外傷の病態を明らかにする-	米田和弘	高度救命救急センター	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
敗血症におけるエピジェネティクス制御因子のメカニズム解明	横野良典	高度救命救急センター	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
機能的てんかんネットワークにおける構造的変化の同定	藤永貴大	脳神経外科	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
膠芽腫におけるシングルセルラマン分光法の確立による腫瘍細胞特性の解明	川本有輝	脳神経外科	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
振戦の外科治療後に生じる上肢筋の機能変化と補助療法の開発	根岸克行	脳神経外科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
振戦の外科治療後に生じる上肢筋の機能変化と補助療法の開発	末松拓也	脳神経外科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
振戦の外科治療後に生じる上肢筋の機能変化と補助療法の開発	藤永貴大	脳神経外科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規リボヌクレアーゼ Regnase-1を標的とした泌尿器がん新規免疫療法の開発	吉村明洋	泌尿器科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
遺伝子改変マウスを用いたY染色体上の無精子症因子(AZFa)の機能解明	北風宏明	泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
移植腎廃絶につながる移植後BKウイルス腎症の革新的な早期診断・治療法の開発	深江彰太	泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
精巣上体での精子成熟機構のメカニズムの解明とそれに基づく治療基盤の創出	辻村剛	泌尿器科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
機能的スクリーニングに基づく前立腺癌の放射線感受性メカニズムの解明	岡利樹	泌尿器科	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会

夜間多尿の病態における腎交感神経および脳交感神経中枢の役割解明	辻村剛	泌尿器科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規遺伝子改変ブタの作成を目指した異種腎移植におけるヒト好中球制御の検討	松村聡一	泌尿器科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
移植腎長期生着に向けた新規空間的遺伝子発現解析による腎線維化メカニズムの解明	松村聡一	泌尿器科	2,145,000	補	独立行政法人日本学術振興会
移植腎長期生着に向けた新規空間的遺伝子発現解析による腎線維化メカニズムの解明	深江彰太	泌尿器科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
胚の体外培養環境の酸素濃度がトロホブラスト細胞の分化と機能に影響	味村和哉	産科婦人科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
不育症や妊娠高血圧腎症におけるbeta2-glycoprotein1の役割および病態解明を目指して	味村和哉	産科婦人科	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
HPV関連中咽頭癌の前癌病変の同定と自然史の解明に基づくバイオマーカーの探索	森将史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
難治性好酸球性副鼻腔炎に対するS100A8をターゲットとした新規治療法開発	藤井宗一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
HPV関連・非関連中咽頭癌におけるp16発現の意義とその関連遺伝子の機能解析	林計企	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
ケロイドの治療法開発:cofilinに注目した皮膚線維芽細胞の分化と細胞死の解析	中村遼太	形成外科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
病院・大学・地域を包含した新たな看護ユニフィケーションモデルの構築	岩崎朋之	看護部	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
精神障害とインターネット依存—実生活への影響と根拠に基づくカットオフ値の調査	石丸大貴	神経科・精神科	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
がん微小環境のmiRNAを基盤とする薬剤性肺障害の病態解明と新規治療戦略の構築	新谷拓也	薬剤部	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会

胃癌原発巣と腹膜播種間の癌免疫関連因子のHeterogeneityに関する検討	萩隆臣	消化器外科	277,546	補	独立行政法人日本学術振興会
心肺停止患者におけるミトコンドリア動態評価	竹川良介	高度救命救急センター	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
個々の不同調に応じた個別化医療を目指して	橋本明佳	集中治療部	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
単純X線画像やX線透視画像のみで完結する3次元骨折治療AIシステムの構築	塩出亮哉	整形外科	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
新規骨強化マテリアルを用いた外科的骨粗鬆症治療法の開発	前裕和	整形外科	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病性腎臓病治療薬開発に資する老化尿細管誘導因子の探索とその病態解明	酒井晋介	腎臓内科	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
Development of novel methods for single cell analysis of antigen specific cells.	松本寿健	高度救命救急センター	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
血中循環腫瘍DNAとがん間質FAPIPETを用いた頭頸部癌層別化システムの構築	巽光朗	核医学診療科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
直腸癌局所再発におけるcirculating tumor DNA (ctDNA) 解析	草深弘志	消化器外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
魚油由来の ω 3脂肪酸による前立腺癌増殖抑制メカニズムの解明	金城友紘	泌尿器科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
患者由来オルガノイドを用いた胆管癌新規治療薬の同定	梅津匡宏	消化器外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
医療安全地域連携加算等による医療経済・医療安全上の影響の検証と効率的かつ効果的な体制構築に向けた研究	北村温美	中央クオリティマネジメント部	400,000	補	厚生労働省
リアルワールドデータの二次利用加速にむけた多施設データ処理方式の導入の試行研究	岡田佳築	医療情報部	4,680,000	補	厚生労働省

がん患者に発症する心血管疾患・脳卒中の早期発見・早期介入に資する研究	岡田佳築	医療情報部	300,000	補	厚生労働省
血液凝固異常症等に関する研究	加藤恒	輸血部	1,200,000	補	厚生労働省
前眼部難病の診療ガイドライン作成および普及・啓発の研究	山田知美	データセンター	500,000	補	厚生労働省
安全な地域医療の継続性確保に資する医療機関における情報セキュリティ人材の育成と配置に関する研究	武田理宏	医療情報部	7,000,500	補	厚生労働省
認定臨床研究審査委員会の審査の質の定期評価のための評価手法およびその実施方法に関するマニュアル策定に向けた研究	山本洋一	未来医療開発部	250,000	補	厚生労働省
医療技術実用化総合促進事業	野々村祝夫	医学部附属病院	198,000,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
橋渡し研究プログラム	野々村祝夫	医学部附属病院	110,933,100	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
橋渡し研究プログラム/異分野融合型研究開発の推進による未来医療創出	野々村祝夫	医学部附属病院	53,972,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
臨床研究総合促進事業	野々村祝夫	医学部附属病院	37,600,000	補	厚生労働省
次世代ヘルステック・スタートアップ育成支援事業(複合マテリアルを用いた骨粗鬆症治療機器の研究開発)	前裕和	整形外科	15,000,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
泉州地区の骨髄疾患を対象とする病理学的検討	森井英一	病理部	1,100,000	委	岸和田市
J-TRCオンサイト研究(認知症プレクリニカル期・プロドローナル期を対象とするトライアルレディコホート構築研究)	吉山顕次	神経科・精神科	546,392	委	国立大学法人東京大学
cT1-2NO-2胃癌におけるロボット支援下胃切除術の腹腔鏡下胃切除術に対する優越性を検証するランダム化比較試験	土岐祐一郎	消化器外科(二外)	30,000	委	静岡県立静岡がんセンター

肝生検病理診断基準均一化	森井英一	病理部	405,000	委	市立貝塚病院
医薬品等規制調和・評価研究事業(緊急的な状況における薬事行政と市民の相互理解に寄与するコミュニケーション法の検討)	北村温美	中央クオリティマネジメント部	4,810,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
高品質のIRB審査の基盤となるIRBクラブの設立及びIRB運用ハンドブックの作成と普及に関する研究	山本洋一	未来医療開発部	26,650,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム(グローバル市場・規制を見据えた細胞・遺伝子治療の早期事業化戦略支援)	名井陽	未来医療センター	51,980,214	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医療機関におけるトレーサビリティデータ収集方式の検討及び関連システムの設計と導入支援	武田理宏	医療情報部	1,100,000	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
医療機関・ベンダー・システムの垣根を超えた医療データ基盤構築による組織横断的な医療情報収集の実現	武田理宏	医療情報部	3,201,000	委	国立大学法人東京大学
(局所進行直腸癌に対する術前治療としての短期放射線療法とCAPOX及び短期放射線療法とCAPOXIRIの多施設共同ランダム化第III相試験(ENSEMBLE))	植村守	消化器外科(二外)	231,000	委	公立大学法人横浜市立大学
(国がん・野々村)進行固形悪性腫瘍患者に対するAIマルチオミクスを活用したバイオマーカー開発の多施設共同研究	野々村祝夫	泌尿器科	1,070,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
医薬品等規制調和・評価研究事業(医療機器の清浄性評価法の確立と医療現場の実態評価に関する研究)	高階雅紀	材料部	1,300,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
再生医療等臨床研究推進拠点病院の拡充	野々村祝夫	教育研究支援課	40,300,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
難治性疾患実用化研究事業「脊髄髄膜瘤胎児手術の先進医療による実用化促進」	遠藤誠之	胎児診断治療センター	27,430,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医療機器等研究成果展開事業(新規大動脈弁形成術用カテーテルに関する研究開発)	三隅祐輔	心臓血管外科(一外)	75,751,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
橋渡し研究支援プログラム【感染を有する足部創傷に対する新規治療法の開発】	三宅啓介	心臓血管外科(一外)	23,010,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

再生・細胞医療・遺伝子治療研究実用化支援課題	山本洋一	未来医療開発部	91,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
薬事承認を目指した医療機器開発のRBA実装と特定臨床研究における品質管理汎用性ツールの開発	樽井弥穂	未来医療開発部	260,000	委	国立大学法人筑波大学
京都大学大学院における臨床統計家育成推進のための大学院・卒後一貫したプログラム構築に関する研究開発	山田知美	データセンター	7,000,000	委	国立大学法人京都大学
BRCA遺伝子変異を有する切除不能な進行・再発の胆道癌、膵癌、その他の消化器・腹部悪性腫瘍患者に対するNiraparibの他施設共同 ii 相試験	佐藤太郎	消化器外科(二外)	130,000	委	国立大学法人北海道大学
大阪地域・臨床研究者、生物統計者の立場からの調査・検討・実施	山田知美	データセンター	2,340,000	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
治験エコシステム導入推進事業	山本洋一	未来医療開発部	1,875,584	委	独立行政法人医薬品医療機器総合機構
フローダイバーター留置術周術期抗血小板療法期間に関する多施設共同ランダム化比較試験	中村元	脳神経外科	33,000	委	国立大学法人東海国立大学機構
東京大学大学院における生物統計家育成のための卒後教育まで含めた一貫した教育プログラムの研究開発	山田知美	データセンター	1,000,000	委	国立大学法人東京大学
食欲不振を伴う慢性心不全患者における六君子湯の栄養状態改善効果に関する臨床研究 (APPETITIZE-HFtrial)	坂田泰史	循環器内科	220,000	委	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医
シンバイオティクスによる肝切除術後の感染症合併症発生率低減効果を検討する第II相試験	江口英利	消化器外科(二外)	330,000	委	公立大学法人横浜市立大学
バイオ医薬品の研究開発を加速するための包括的支援	佐藤文彦	未来医療開発部	13,000,000	委	国立大学法人東北大学
小児・AYA世代のGD2陽性難治性固形がんに対する機能強化型CAR-T第I相医師主導治験	山田知美	データセンター	650,000	委	国立大学法人三重大学

血中循環腫瘍DNAでHER2遺伝子増幅が検出された切除不能固形がん患者を対象とするDS-8201a療法の多施設共同臨床第II相試験に対するリモートSDV実施のための対応	武田理宏	医療情報部	450,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院
令和6年度大阪府若年性認知症支援コーディネーター設置事業	池田学	神経科・精神科	4,576,000	委	大阪府
令和6年度大阪府てんかん地域診療連携体制整備事業	貴島晴彦	脳神経外科	958,649	委	大阪府
令和6年度拠点医療機関と登録医療機関の連携強化業務	池田学	神経科・精神科	154,600	委	大阪府
令和6年度小児医療連携体制・受入体制構築業務	宮村能子	小児科	3,972,330	委	大阪府
令和6年度受入可能情報データベースへの情報入力業務	宮村能子	小児科	170,703	委	大阪府
肥大型心筋症患者における診療の実態調査および突然死／拡張相への移行に関する新規予測プログラムの開発とその検証	坂田泰史	循環器内科	240,000	委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
細胞診専門医による細胞診断	森井英一	病理部	790,020	委	独立行政法人国立病院機構大阪刀根山医療センター
心電図データ抽出に係る補助業務	岡田佳築	医療情報部	581,856	委	国立大学法人東京大学
DPCデータ抽出業務	岡田佳築	医療情報部	719,470	委	国立大学法人九州大学
固形がん患者に対するニラパリブとピミテスピブの第I相試験	武田理宏	医療情報部	192,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
胸部レントゲン抽出に係る補助業務	岡田佳築	医療情報部	742,500	委	国立大学法人東京大学

血中循環腫瘍DNAでHER2遺伝子増幅が検出された切除不能固形がん患者を対象とするDS-8201a療法の多施設共同臨床第II相試験	佐藤太郎	消化器外科	864,150	委	愛知県がんセンター
血中循環腫瘍DNA陽性の治癒切除後結腸・直腸がん患者を対象としたFTD/TPI療法とプラセボとを比較する無作為化二重盲検第III相試験	植村守	消化器外科	500,000	委	愛知県がんセンター
ネフローゼ型膜性腎症に対するリツキシマブ(遺伝子組換え)の有効性及び安全性を検証する多施設共同プラセボ対照無作為化二重盲検並行群間比較試験	猪阪善隆	腎臓内科	1,000,000	委	国立大学 法人東海 国立大学 機構
治癒切除不能進行・再発卵巣扁平上皮癌に対するペムブロジマブ療法の有効性及び安全性を評価する単群非盲検第II相試験	中川慧	婦人科	1,815,400	委	国立大学 法人新潟 大学
難治性てんかん患者を対象とする血管内脳は測定デバイスの有効性及び安全性を確認する多施設前向き単群試験	貴島晴彦	脳神経外科	1,000,000	委	国立大学 法人筑波 大学
シクロスポリン治療後の難治・再燃の後天性慢性赤芽球癆に対するシロリムス投与の二重盲検試験(SOARER-Astudy)	植田康敬	血液・腫瘍内科	300,000	委	国立大学 法人信州 大学

計 924件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Satoh T, BarthAclAcmy P, Nogova L, et al	消化器外科	Phase 2 study of futibatinib in patients with gastric or gastroesophageal junction cancer harboring FGFR2 amplifications.	Eur J Cancer. 2025 Mar 11 ; 218:115262.	Original Article
2	Yamaguchi M, Uchihashi T, Kawabata S	感染症内科	Hybrid sequence-based analysis reveals the distribution of bacterial species and genes in the oral microbiome at a high resolution.	Biochem Biophys Rep. 2024 Apr 26 ; 38:101717. (オンライン)	Original Article
3	Nakanishi T, Harada T, Nakai M, et al	感染症内科	First case report of cefmetazole-induced disulfiram-like reaction.	IDCases. 2024 Aug 8 ; 37:e02056. (オンライン)	Case Report
4	Ozaki T, Kawamura M, Iwahashi T, et al	心臓血管外科	A case of superior trunk brachial plexus injury after right mini-thoracotomy mitral valve repair.	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg. 2024 Dec 3 ; 39(6):ivae190.	Original Article
5	Nagata H, Funaki S, Kimura K, et al	呼吸器外科	ACTN4 is associated with the malignant potential of thymic epithelial tumors through the I2-catenin/Slug pathway.	Cancer Sci. 2024 Nov ; 115(11):3636-3647.	Original Article
6	Kanzaki R, Reid S, Bolivar P, et al	呼吸器外科	FHL2 expression by cancer-associated fibroblasts promotes metastasis and angiogenesis in lung adenocarcinoma.	Int J Cancer. 2025 Jan 15 ; 156(2):431-446.	Original Article
7	Nagata H, Kanou T, Fukui E, et al	呼吸器外科	Native lung surgery after single lung transplantation: clinical characteristics and outcomes.	Surg Today. 2024 Oct ; 54(10):1131-1137.	Original Article
8	Kimura T, Akazawa T, Mizote Y, et al	呼吸器外科	Progressive changes in the protein expression profile of alveolar septa in early-stage lung adenocarcinoma.	Int J Clin Oncol. 2024 Jun ; 29(6):771-779.	Original Article

9	Yudai M, Takashi K, Hiroto I, et al	呼吸器外科	The role of calcification in predicting invasion of thymoma to adjacent organs.	Surg Today. 2024 Oct ; 54(10):1154–1161.	Original Article
10	Miyashita Y, Fukui E, Ishida H, et al	呼吸器外科	Surgical resection of advanced intrathoracic tumors through a combination of the hemiclamshell and transmanubrial approaches.	Surg Today. 2024 Sep ; 54(9):1015–1021.	Original Article
11	Kobayashi M, Funaki S, Nagata H, et al	呼吸器外科	Salvage surgery following tyrosine kinase inhibitor treatment for advanced non-small cell lung cancer.	Surg Case Rep. 2024 Jun 20 ; 10(1):153. (オンライン)	Original Article
12	Omura A, Kimura T, Maniwa T, et al	呼吸器外科	Quantification of the immunohistochemical staining of fibroblast activation protein in intrathoracic solitary fibrous tumors using QuPath.	Surg Today. 2025 Mar 24.	Original Article
13	Hayashi D, Ose N, Nagata H, et al	呼吸器外科	A Case of Chronic Expanding Hematoma Following Extraperiosteal Paraffin Plombage After 50 Years.	Cureus. 2025 Mar 29 ; 17(3):e81444. (オンライン)	Case Report
14	Kimura T, Watabe T, Matsui T, et al	呼吸器外科	Expression of fibroblast activation protein in intrathoracic solitary fibrous tumor.	Pathol Res Pract. 2024 Jul ; 259:155380.	Original Article
15	Sakurai T, Kanou T, Funaki S, et al	呼吸器外科	Effect of mTOR inhibitors on the mortality and safety of patients with lymphangioleiomyomatosis on the lung transplantation waitlist: A retrospective cohort study.	Respir Investig. 2024 Jul ; 62(4):657–662.	Original Article
16	Matsuda R, Ose N, Nagata H, et al	呼吸器外科	A report on five cases of cholesterol granulomas in the thymus.	Gen Thorac Cardiovasc Surg Cases. 2024 Aug 21 ; 3(1):36. (オンライン)	Original Article
17	Shintani Y, Yamamoto H, Sato Y, et al	呼吸器外科	Effects of the COVID-19 pandemic on surgical treatment for thoracic malignant tumor cases in Japan: a national clinical database analysis.	Surg Today. 2025 Feb ; 55(2):265–272.	Original Article
18	Miyashita Y, Kanou T, Isono T, et al	呼吸器外科	Serial positron-emission tomography after induction therapy as a predictor of prognostic outcomes for patients with thymic carcinoma.	Surg Today. 2025 Apr ; 55(4):569–578.	Original Article

19	Okamoto K, Kanou T, Kawagishi S, et al	呼吸器外科	Thymic carcinoma recurring 11A?years post-extended surgery: a case report.	Gen Thorac Cardiovasc Surg Cases. 2025 Feb 26 ; 4(1):9. (オンライン)	Original Article
20	Yamamoto Y, Iwahori K, Shintani Y	呼吸器外科	Current immunotherapy for thymic epithelial tumors: a narrative review.	Mediastinum. 2024 Oct 11 ; 8:47. (オンライン)	Original Article
21	Miyashita Y, Ose N, Okami J, et al	呼吸器外科	Outcomes of Surgical Resection of Primary Lung Cancer After Pancreatic Cancer.	Cureus. 2024 Nov 14 ; 16(11):e73689. (オンライン)	Original Article
22	Miyoshi N	消化器外科	Use of AI in Diagnostic Imaging and Future Prospects.	JMA J. 2025 Jan 15 ; 8(1):198-203.	Original Article
23	Sekido Y, Ogino T, Takeda M, et al	消化器外科	Surgery for Colorectal Cancer Associated with Crohn's Disease- Toward a Medical Treatment Strategy Based on the Differences Between Japan and Western Countries.	Cancers (Basel). 2025 Mar 3 ; 17(5):860. (オンライン)	Original Article
24	Hashida N, Hirose R, Shiozaki D, et al	眼科	Efficacy of Epinastine Eyelid Cream in Pediatric Vernal Keratoconjunctivitis: A Case Report.	Cureus. 2024 Nov 22 ; 16(11):e74268. (オンライン)	Case Report
25	Eguchi H, Takenaka Y, Tanaka H, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Survival of Metastatic Human Papillomavirus (HPV)-Related Head and Neck Cancer Receiving Platinum-Based Triplet Induction Chemotherapy and Relevance of Circulating Tumor HPV DNA.	Cureus. 2024 May 18 ; 16(5):e60547. (オンライン)	Original Article
26	Miyake T, Miyamura S, Miki R, et al	整形外科	Cubitus varus deformity following paediatric supracondylar humeral fracture remodelling predominantly in the sagittal direction: A three-dimensional analysis of eighty-six cases.	Int Orthop. 2024 Aug ; 48(8):2091-2099.	Original Article
27	Furuichi T, Hirai H, Kitahara T, et al	整形外科	Nanoclay gels attenuate BMP2-associated inflammation and promote chondrogenesis to enhance BMP2-spinal fusion.	Bioact Mater. 2024 Nov 5 ; 44:474-487. (オンライン)	Original Article
28	Shikano Y, Tashima H, Kuroda K, et al	形成外科	Fat-augmented Temporal Fascia Flap for Defect Coverage following External Auditory Canal Cancer Resection.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2024 May 20 ; 12(5):e5839. (オンライン)	Case Report

29	Yamamoto A, Kijima N, Utsugi R, et al	脳神経外科	Awake surgery for a deaf patient using sign language: A case report.	Surg Neurol Int. 2024 May 24 ; 15:167. (オンライン)	Case Report
30	Taki K, Ninomiya K, Yamamoto A, et al	脳神経外科	Communicating hydrocephalus after resection of a meningioma ventral to the foramen magnum.	Surg Neurol Int. 2024 Jul 5 ; 15:231. (オンライン)	Case Report
31	Oka E, Okada M, Ikuno Y, et al	産科・婦人科	Area Socioeconomic Status, Vaccination Access, and Female Human Papillomavirus Vaccination.	JAMA Netw Open. 2025 Mar 3 ; 8(3):e250747. (オンライン)	Original Article
32	Ono A, Ishimori S, Wada Y, et al	小児科	The role of secondary imaging in children aged under 24 months with proven skull fracture on initial computed tomography scan.	Neurosurg Rev. 2024 Sep 2 ; 47(1):519. (オンライン)	Original Article
33	Uemura M, Kikukawa H, Hashimoto Y, et al	泌尿器科	Darolutamide in Japanese patients with metastatic hormone-sensitive prostate cancer: Phase 3 ARASENS subgroup analysis.	Cancer Med. 2024 Nov ; 13(21):e70029.	Original Article
34	Hata A, Aoyagi K, Hino T, et al	放射線診断・IVR科	Automated Interstitial Lung Abnormality Probability Prediction at CT: A Stepwise Machine Learning Approach in the Boston Lung Cancer Study.	Radiology. 2024 Sep ; 312(3):e233435.	Original Article
35	Yamagata K, Yanagawa M, Hata A, et al	放射線診断・IVR科	Three-dimensional iodine mapping quantified by dual-energy CT for predicting programmed death-ligand 1 expression in invasive pulmonary adenocarcinoma.	Sci Rep. 2024 Aug 7 ; 14(1):18310. (オンライン)	Original Article
36	Ota T, Onishi H, Fukui H, et al	放射線診断・IVR科	Prediction models for differentiating benign from malignant liver lesions based on multiparametric dual-energy non-contrast CT.	Eur Radiol. 2025 Mar ; 35(3):1361-1377.	Original Article
37	Koretsune Y, Sugawara S, Sone M, et al	放射線診断・IVR科	Inversion of Central Venous Ports in Children Under Six Years Old: A Retrospective Analysis of 154 Oncology Patients.	Cureus. 2024 Jun 25 ; 16(6):e63106. (オンライン)	Original Article
38	Hata A, Yanagawa M, Miyata T, et al	放射線診断・IVR科	Association between interstitial lung abnormality and mortality in patients with esophageal cancer.	Jpn J Radiol. 2024 Aug ; 42(8):841-851.	Original Article

39	Ota T, Onishi H, Itoh T, et al	放射線診断・IVR科	Investigation of abdominal artery delineation by photon-counting detector CT.	Radiol Med. 2024 Sep ; 129(9):1265-1274.	Original Article
40	Satomura H, Kimura Y, Nakamura M, et al	放射線診断・IVR科	Efficacy of modified technique for 1A?cm core needle biopsy using a 2A?cm cutting length with coaxial introducer needle.	Abdom Radiol (NY). 2025 Mar 29.	Original Article
41	Ota T, Nakamoto A, Hori M, et al	放射線診断・IVR科	Quantification of abdominal aortic calcification using photon-counting CT angiography: an imaging biomarker for high-risk cardiovascular patients.	Radiol Med. 2025 Mar 28.	Original Article
42	Ota T, Onishi H, Nakamoto A, et al	放射線診断・IVR科	Reply to Letter to the Editor: "Prediction models for differentiating benign from malignant liver lesions based on multiparametric dual-energy non-contrast CT".	Eur Radiol. 2025 Mar ; 35(3):1380-1381.	Letter
43	Yano H, Higashihara H, Kimura Y, et al	放射線診断・IVR科	Unenhanced CT as an Alternative to Contrast-Enhanced CT in Evaluating Renal Cryoablation Zones.	Cureus. 2024 Oct 12 ; 16(10):e71295. (オンライン)	Original Article
44	Yoshida Y, Yanagawa M, Sato Y, et al	放射線診断・IVR科	Differential diagnosis between low-risk and high-risk thymoma: Comparison of diagnostic performance of radiologists with and without deep learning model.	Acta Radiol Open. 2024 Oct 4 ; 13(10):20584601241288509. (オンライン)	Original Article
45	Koretsune Y, Higashihara H, Toyoda S, et al	放射線診断・IVR科	Clinical Outcomes and Risk Factors for Viabahn Stent Graft Occlusion in the Treatment of Visceral Arterial Injuries in Cancer Patients.	Interv Radiol (Higashimatsuyama). 2024 Aug 7 ; 9(3):172-179. (オンライン)	Original Article
46	Satomura H, Higashihara H, Kimura Y, et al	放射線診断・IVR科	Normal saline injection and rapid rollover; preventive effect on incidence of pneumothorax after CT-guided lung biopsy: a retrospective cohort study.	BMC Pulm Med. 2024 Oct 10 ; 24(1):505. (オンライン)	Original Article
47	Fukui H, Onishi H, Ota T, et al	放射線診断・IVR科	Pancreatic fibrosis assessment and association with pancreatic cancer: comparison with the extracellular volume fraction.	Clin Radiol. 2024 Nov ; 79(11):e1356-e1365.	Original Article
48	Satomura H, Kimura Y, Kennoki N, et al	放射線診断・IVR科	Ethiodized Oil Emulsion for Sustained Release of Anti-PD-L1 Antibodies.	J Vasc Interv Radiol. 2025 May ; 36(5):861-868.e2.	Original Article

49	Hata A, Yanagawa M, Ninomiya K, et al	放射線診断・IVR科	Photon-Counting Detector CT Radiological-Histological Correlation in Cadaveric Human Lung Nodules and Airways.	Invest Radiol. 2025 Feb 1 ; 60(2):151-160.	Original Article
50	Hata A, Muraguchi Y, Nakatsugawa M, et al	放射線診断・IVR科	Automated chest CT three-dimensional quantification of body composition: adipose tissue and paravertebral muscle.	Sci Rep. 2024 Dec 30 ; 14(1):32117. (オンライン)	Original Article
51	Miyagawa K, Arikawa C, Hayashi K, et al	歯科	Bone microstructural characteristics or positional changes of condyle head affect short-term condyle head resorption after orthognathic surgery.	Sci Rep. 2024 Jun 20 ; 14(1):14269. (オンライン)	Original Article
52	Watabe T, Kaneda-Nakashima K, Kadonaga Y, et al	放射線部	Preclinical Evaluation of Biodistribution and Toxicity of [(211)At]PSMA-5 in Mice and Primates for the Targeted Alpha Therapy against Prostate Cancer.	Int J Mol Sci. 2024 May 23 ; 25(11):5667. (オンライン)	Original Article
53	Onishi H, Tsuboyama T, Nakamoto A, et al	放射線部	Photon-counting CT: technical features and clinical impact on abdominal imaging.	Abdom Radiol (NY). 2024 Dec ; 49(12):4383-4399.	Original Article
54	Yamada A, Taiji R, Nishimoto Y, et al	放射線部	Pictorial Review of Pleural Disease: Multimodality Imaging and Differential Diagnosis.	Radiographics. 2024 Apr ; 44(4):e230079.	Original Article
55	Yanagawa M, Hata A	放射線部	Transforming Lung Cancer Screening with AI: Comprehensive Evaluation and Personalized Medicine Prospects.	Radiology. 2024 Sep ; 312(3):e242118.	Original Article
56	Watabe T, Iwasawa T, Kimura H, et al	放射線部	Theranostics using (89)Zr/(177)Lu-labeled antibody targeting erythropoietin-producing hepatocellular A2 (EphA2).	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2025 Feb 12.	Original Article
57	Wataya T, Miura A, Sakisuka T, et al	放射線部	Comparison of active learning algorithms in classifying head computed tomography reports using bidirectional encoder representations from transformers.	Int J Comput Assist Radiol Surg. 2025 Apr ; 20(4):687-701.	Original Article
58	Watabe T, Hatano K, Naka S, et al	放射線部	First-in-human SPECT/CT imaging of [(211)At]PSMA-5: targeted alpha therapy in a patient with refractory prostate cancer.	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2024 Dec 17.	Original Article

59	Sato J, Yanagawa M, Nishigaki D, et al	放射線部	Radiologists Versus AI-Based Software: Predicting Lymph Node Metastasis and Prognosis in Lung Adenocarcinoma From CT Under Various Image Display Conditions.	Clin Lung Cancer. 2025 Jan ; 26(1):58-71.	Original Article
60	Kato N, Hashida G, Kobayashi M, et al	リハビリテーション部	Characteristics and factors associated with independence in the activities of daily living of patients with amyotrophic lateral sclerosis at diagnosis.	J Phys Ther Sci. 2024 Nov ; 36(11):692-698.	Original Article
61	Sumiyoshi S	感染制御部	Concerns about the interpretation of treatment effects.	Antimicrob Agents Chemother. 2024 Aug 7 ; 68(8):e0069524.	Letter
62	Sumiyoshi S, Hamaguchi S, Kimura K, et al	感染制御部	Ruthenibacterium lactatiformans isolated from a human blood culture: a first report.	BMC Infect Dis. 2024 Jul 15 ; 24(1):699. (オンライン)	Case Report
63	Yamamoto S, Shiroshita A, Kataoka Y, et al	感染制御部	Effectiveness of Ampicillin-Sulbactam Versus Ceftriaxone for the Initial Treatment of Community-Acquired Pneumonia in Older Adults: A Target Trial Emulation Study.	Open Forum Infect Dis. 2025 Mar 5 ; 12(3):ofaf133. (オンライン)	Original Article
64	Yamamoto H, Kuroda H, Hiroi T, et al	感染制御部	Pott's Puffy Tumor Initially Presenting as Eyelid Swelling without Typical Forehead Swelling: A Case Report.	Intern Med. 2024 Nov 21.	Original Article
65	Taniguchi M, Oka T, Nakano T, et al	臨床工学部	Misdiagnosis of pseudo-ineffective biventricular pacing using the automatic effective cardiac resynchronization therapy algorithm.	HeartRhythm Case Rep. 2024 Sep 7 ; 10(12):890-895. (オンライン)	Case Report
66	Kawamori D	卒後教育開発センター	Advances in glucagon research at the 100th anniversary: invitation to the new 'glucagonology'.	Diabetol Int. 2024 May 31 ; 15(3):346-347. (オンライン)	Original Article
67	Sakura K, Kuroyama M, Shintani Y, et al	呼吸器センター	Dose-escalation, tolerability, and efficacy of intratumoral and subcutaneous injection of hemagglutinating virus of Japan envelope (HVJ-E) against chemotherapy-resistant malignant	Cancer Immunol Immunother. 2024 Oct 3 ; 73(12):243. (オンライン)	Original Article
68	Nishida N, Sakai D, Satoh T	がんゲノム医療センター	Treatment strategy for HER2-negative advanced gastric cancer: salvage-line strategy for advanced gastric cancer.	Int J Clin Oncol. 2024 Sep ; 29(9):1237-1243.	Original Article

69	Hashida N, Hosokawa K, Kawamura A, et al	摂食嚥下センター	Temporal recovery and prognostic factors for dysphagia following cardiovascular surgery: Retrospective analysis and development of predictive score.	Nutrition. 2024 Nov ; 127:112534.	Original Article
70	Hashida N, Suzuki M, Hosokawa K, et al	摂食嚥下センター	Changes in swallowing response on patients undergoing chemoradiotherapy for head and neck cancer.	Support Care Cancer. 2025 Jan 14 ; 33(2):97. (オンライン)	Original Article
71	Shintani T, Shun YT, Toyoizumi Y, et al	薬剤部	MicroRNA-130a-3p regulates osimertinib resistance by targeting runt-related transcription factor 3 in lung adenocarcinoma.	Sci Rep. 2024 Oct 18 ; 14(1):24429. (オンライン)	Original Article
72	Mori R, Yamamoto R, Shinzawa M, et al	看護部	Breakfast Frequency and Smoking Initiation in University Students: A Retrospective Cohort Study.	Nutrients. 2024 Jul 21 ; 16(14):2361. (オンライン)	Original Article
73	Kamiya T, Naka S, Watabe T, et al	医療技術部	Abnormal localized [(18)F]FDG accumulation in a Hoffman 3D brain phantom caused by Pseudomonas aeruginosa and Stenotrophomonas maltophilia.	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2024 Nov ; 51(13):4183-4184.	Original Article
74	Tsuzura K, Wagatsuma K, Kamitaka Y, et al	医療技術部	Phantom test procedures for a new neuro-oncological amino acid PET tracer: [(18)F]fluciclovine.	Ann Nucl Med. 2025 Jan ; 39(1):21-30.	Original Article
75	Ishimaru D, Suzuki M, Katsuki K, et al	医療技術部	Characteristics of the Japanese version of the Alzheimer's Disease Cooperative Study Scale for Activities of Daily Living in Mild Cognitive Impairment (ADCS-MCI-ADL-J): preliminary data.	Psychogeriatrics. 2025 Jan ; 25(1):e13234.	Original Article
76	Tsutsui A, Murakami Y, Okamura S, et al	未来医療開発部	Travel burdens to access care among children with cancer between 2016 and 2019: Analysis of a national population-based cancer registry in Japan.	PLoS One. 2024 Apr 16 ; 19(4):e0300840. (オンライン)	Original Article
77	Amano K, Okamura S, Miura T, et al	未来医療開発部	Clinical Implications of the C-Reactive Protein-Albumin Ratio as a Prognostic Marker in Terminally Ill Patients with Cancer.	J Palliat Med. 2025 May ; 28(5):592-600.	Original Article
78	Okamura S, Amano K, Koshimoto S, et al	未来医療開発部	Factors Associated with Multimodal Care Practices for Cancer Cachexia among Pharmacists.	Curr Oncol. 2024 Oct 12 ; 31(10):6133-6143. (オンライン)	Original Article

79	Revankar GS, Ozono T, Suzuki M, et al	未来医療開発部	Perceptual constancy of pareidolias across paper and digital testing formats in neurodegenerative diseases.	Heliyon. 2024 Nov 8 ; 10(22):e40254. (オンライン)	Original Article
80	Morii D, Matsui T, Mori T, et al	病理診断科	Retinal gliosis with osseous metaplasia in an infant.	Pathol Int. 2024 May ; 74(5):298-300.	Case Report
81	Matsui T, Taniguchi S, Ishii M	病理診断科	Function of alveolar macrophages in lung cancer microenvironment.	Inflamm Regen. 2024 May 8 ; 44(1):23. (オンライン)	Original Article
82	Takashima T, Zeng C, Murakami E, et al	病理診断科	Involvement of lncRNA MIR205HG in idiopathic pulmonary fibrosis and IL-33 regulation via Alu elements.	JCI Insight. 2025 Mar 10 ; 10(5):e187172. (オンライン)	Original Article
83	Ukon K, Nojima S, Motooka D, et al	病理診断科	Spatial transcriptome analysis of lung squamous cell carcinoma arising from interstitial pneumonia provides insights into tumor heterogeneity.	Pathol Res Pract. 2025 Feb ; 266:155805.	Original Article
84	Matsui T	病理診断科	Optical histopathology based on the nonlabeling analysis with multiphoton excitation imaging.	Pathol Int. 2025 Jan ; 75(1):1-10.	Original Article
85	Hamamoto Y, Kido K, Kawamura M, et al	病理診断科	Subclinical amyloid deposition in inflammatory bowel diseases: A two hospital study.	Pathol Res Pract. 2024 Dec ; 264:155682.	Original Article
86	Tahara S, Sato K, Kido K, et al	病理診断科	Relation of squamous differentiation in endometrioid carcinoma with MELF pattern to a high ratio of lymph node metastasis.	Pathol Res Pract. 2025 Feb ; 266:155804.	Original Article
87	Tahara S, Nojima S, Takashima T, et al	病理診断科	Mesothelin promotes the migration of endometrioid carcinoma and is associated with the MELF pattern.	Pathol Res Pract. 2024 Oct ; 262:155562.	Original Article
88	Umeda D, Harada A, Motooka D, et al	病理診断科	Hypoxia drives the formation of lung micropapillary adenocarcinoma-like structure through hypoxia-inducible factor-1 α .	Sci Rep. 2024 Dec 30 ; 14(1):31642. (オンライン)	Original Article

89	Yasui H, Sakata Y, Kawasaki R, et al	ハートセンター	Current Situation and Consideration of Prefectural Plans for Promotion of Measures Against Cerebrovascular and Cardiovascular Disease in Japan Perspectives on Cardiovascular	Circ J. 2025 Apr 25 ; 89(5):543-549.	Original Article
90	Nishihara S, Koseki M, Tanaka K, et al	ハートセンター	Twin Study: The Factors Affecting the Serum LDL-C and HDL-C Levels and an RNA-Seq Analysis in Mononuclear Cells in Monozygotic Twins.	J Atheroscler Thromb. 2024 Nov 1 ; 31(11):1539-1555.	Original Article
91	Miura H, Koseki M, Ide S, et al	ハートセンター	Stronger positive correlation of the left ventricular mass index and extracellular volume fraction with diastolic function in diabetic patients without myocardial infarction.	Int J Cardiol. 2024 Aug 1 ; 408:132099.	Original Article
92	Kosugi S, Mizote I, Nakamura D, et al	ハートセンター	Anomalous Left Atrial Band With Atrial Septal Defect.	Circ J. 2024 Jul 25 ; 88(8):1343.	Case Report
93	Sakamoto Y, Matsuura R, Yoshioka D, et al	ハートセンター	Advance care planning in the treatment of implantable left ventricular assist device: a republication of the review published in Japanese Journal of Artificial Organs.	J Artif Organs. 2024 Sep ; 27(3):188-192.	Original Article
94	Shiraki T, Mizuno H, Kishi T, et al	ハートセンター	Cardiac sympathetic nerve activity trends after renal denervation in heart failure with preserved ejection fraction.	ESC Heart Fail. 2024 Aug ; 11(4):2426-2431.	Case Report
95	Mizote I, Nakamura D, Maeda K, et al	ハートセンター	Five-Year Transcatheter Aortic Valve Replacement Outcomes in Chronic Hemodialysis vs. Non-Hemodialysis Patients Using Balloon-Expandable Devices.	Circ J. 2024 Nov 25 ; 88(12):1937-1945.	Original Article
96	Oka T, Ozu K, Sekihara T, et al	ハートセンター	Recurrent Pericardial Effusion Resulting From Right Ventricular Free Wall Injury Caused by Leadless Pacemaker Tines.	JACC Case Rep. 2024 May 21 ; 29(13):102378. (オンライン)	Case Report
97	Masuda D, Okada T, Sairyu M, et al	ハートセンター	Proteomic Analysis of Human Chylomicron Remnants Isolated by Apolipoprotein B-48 Immunoprecipitation.	J Atheroscler Thromb. 2025 Feb 1 ; 32(2):226-238.	Original Article
98	Yanagawa K, Kuma A, Hamasaki M, et al	ハートセンター	The Rubicon-WIPI axis regulates exosome biogenesis during ageing.	Nat Cell Biol. 2024 Sep ; 26(9):1558-1570.	Original Article

99	Sugihara R, Kioka H, Sakata Y	ハートセンター	Direct Oral Anticoagulant Treatment for Atherosclerosis-Induced Aortic Mural Thrombus in an Elderly Male With Aspirin Resistance.	Cureus. 2024 Jun 19 ; 16(6):e62691. (オンライン)	Case Report
100	Nishihara S, Koseki M, Tanaka K, et al	ハートセンター	Tofogliflozin attenuates renal lipid deposition and inflammation via PPARI± upregulation mediated by miR-21a impairment in diet-induced steatohepatic mice.	Endocr J. 2024 Nov 1 ; 71(11):1055-1067.	Original Article
101	Segawa T, Taniguchi T, Nabeta T, et al	ハートセンター	Corticosteroid therapy and long-term outcomes in patients with cardiac sarcoidosis stratified by left ventricular ejection fraction.	Eur Heart J Open. 2025 Jan 10 ; 5(1):oeae100. (オンライン)	Original Article
102	Matsuoka Y, Sotomi Y, Nakatani D, et al	ハートセンター	Phenotypic Trajectories From Acute to Stable Phase in Heart Failure With Preserved Ejection Fraction: Insights From the PURSUIT-HFpEF Study.	J Am Heart Assoc. 2025 Feb 4 ; 14(3):e037567.	Original Article
103	Higuchi R, Konishi S, Ohtani T, et al	ハートセンター	Electron microscopic findings predict clinical outcomes in patients with non-ischaemic cardiomyopathy.	ESC Heart Fail. 2025 Mar 2.	Original Article
104	Sunaga A, Matsuoka Y, Nakatani D, et al	ハートセンター	Extensive ablation for persistent atrial fibrillation patients with mitral regurgitation: Insights from the EARNEST-PVI prospective randomized trial.	Int J Cardiol. 2024 Sep 1 ; 410:132231.	Original Article
105	Dohi T, Ishihara T, Kida H, et al	ハートセンター	Comparison of drug-coated versus conventional balloons for the side branch of the bifurcation lesion - multicenter randomized controlled study - (OCVC-BIF): Design and rationale.	Cardiovasc Revasc Med. 2025 Mar 30:S1553-8389(25)00145-9.	Original Article
106	Kamba T, Yanagawa M, Shimamura K, et al	ハートセンター	First-in-Human Abdominal Aortic Aneurysms Trial with Tricaprin (F-HAAAT): Study Design and Protocol.	CJC Open. 2024 Nov 5 ; 7(2):221-230. (オンライン)	Original Article
107	Kato T, Asanoi H, Ohtani T, et al	ハートセンター	Machine-Learning-Based Prediction of Exercise Intolerance of Patients With Heart Failure Using Pragmatic Submaximal Exercise Parameters.	Circ Rep. 2025 Feb 27 ; 7(4):257-266. (オンライン)	Original Article
108	Yasumura K, Sera F, Akazawa Y, et al	ハートセンター	Fulminant Cardiac Sarcoidosis Successfully Treated With Aggressive Immunosuppressive Therapy.	Case Rep Cardiol. 2025 Mar 11 ; 2025:1350557. (オンライン)	Case Report

109	Oka T, Tanabiki K, Sekihara T, et al	ハートセンター	Simple electrocardiographic index for A4-wave amplitude of the VDD leadless pacemaker.	Heart Rhythm O2. 2025 Jan 17 ; 6(4):519-527. (オンライン)	Original Article
110	Matsuhiro Y, Mizote I, Nakamura D, et al	ハートセンター	Long-Term Bioprosthetic Valve Durability After Transcatheter Aortic Valve Replacement With Supra-Annular Self-Expanding Versus Intra-Annular Balloon-Expandable Valves in Patients With a Small Aortic Annulus.	Catheter Cardiovasc Interv. 2025 Apr ; 105(5):990-997.	Original Article
111	Sumitsuji S, Sadamatsu K	ハートセンター	Catastrophic Left Main Coronary Artery Perforation During Complex Percutaneous Coronary Intervention: Successful Multidisciplinary Management.	JACC Case Rep. 2025 Mar 19 ; 30(6 Pt 1):103196.	Case Report
112	Sakamoto Y, Ohtani T, Nakamoto K, et al	ハートセンター	Energy intake insufficiency due to underestimated energy requirement by common predictive formulas can be identified by urinary amino acid levels in advanced heart failure.	Front Nutr. 2025 Jan 23 ; 11:1504031. (オンライン)	Original Article
113	Nakamura D, Mizote I, Ishihara T, et al	ハートセンター	Comparison of Vessel Responses Following Combined Sirolimus-Eluting and Endothelial Progenitor Cell Stent and Ultra-Thin Sirolimus-Eluting Stent Implantation by Serial Optical Coherence Tomography and Coronary Angioscopy: A Multicenter Observational Stud	Am J Cardiol. 2025 Apr 15 ; 241:26-36.	Original Article
114	Sunaga A, Tanaka N, Egami Y, et al	ハートセンター	Novel anticoagulation therapy using apple watch after catheter ablation for atrial fibrillation-Up to AF trial: Design and rationale.	J Arrhythm. 2024 Dec 5 ; 41(1):e13194. (オンライン)	Original Article
115	Oka T, Sekihara T, Ozu K, et al	ハートセンター	Successful atrial lead implantation using a guiding catheter-based system in challenging anatomical and electrophysiological cases: A case series.	HeartRhythm Case Rep. 2024 Jul 20 ; 10(10):752-756. (オンライン)	Case Report
116	Nishimura S, Kioka H, Ding S, et al	ハートセンター	HSC70 coordinates COP9 signalosome and SCF ubiquitin ligase activity to enable a prompt stress response.	EMBO Rep. 2025 Mar ; 26(5):1344-1366.	Original Article
117	Murakawa T, Otsu K	ハートセンター	Phosphorylation of BCL2L13 by PRKAA2/AMPKI±2 activates mitophagy in pressure-overloaded heart.	Autophagy. 2025 Jun ; 21(6):1382-1383.	Original Article

118	Matsuoka Y, Sotomi Y, Hikoso S, et al	ハートセンター	Extensive ablation for elderly patients with persistent atrial fibrillation: insights from the EARNEST-PVI prospective randomized trial.	J Cardiol. 2025 Apr ; 85(4):301-308.	Original Article
119	Matsuoka Y, Sotomi Y, Sakata Y	ハートセンター	Balancing ActaEPrasugrel's Efficacy and Safety in Japanese Patients Undergoing Percutaneous Coronary Intervention.	Circ J. 2024 Oct 25 ; 88(11):1754-1757.	Original Article
120	Murakawa T, Ito J, Rusu MC, et al	ハートセンター	AMPK regulates Bcl2-L-13-mediated mitophagy induction for cardioprotection.	Cell Rep. 2024 Dec 24 ; 43(12):115001.	Original Article
121	Sekihara T, Oka T, Ozu K, et al	ハートセンター	Pacing cycle length-dependent electrophysiologic changes in left atrium: Poor validity of using low-voltage area and slow conduction area under specific pacing cycle length as absolute substrates of atrial fibrillation.	Heart Rhythm. 2024 Sep 19:S1547-5271(24)03335-6.	Original Article
122	Chimura M, Ohtani T, Sera F, et al	ハートセンター	Ratio of pulmonary artery diameter to ascending aortic diameter and its association with right ventricular failure after left ventricular assist device implantation.	Int J Cardiol. 2025 Jan 1 ; 418:132596.	Original Article
123	Oka T, Sekihara T, Ozu K, et al	ハートセンター	The disease progression of end-stage atrial cardiomyopathy over three decades: a case report.	Eur Heart J Case Rep. 2024 Oct 10 ; 8(10):ytae530. (オンライン)	Case Report
124	Sakamoto D, Sotomi Y, Matsuoka Y, et al	ハートセンター	Prognostic Utility and Cutoff Differences in NT-proBNP Levels Across Subgroups in Heart Failure With Preserved Ejection Fraction: Insights From the PURSUIT-HFpEF Registry.	J Card Fail. 2025 May ; 31(5):771-780.	Original Article
125	Mima H, Oka T, Sera F, et al	ハートセンター	A case report of pre-implantation feasibility test for combining leadless pacemaker and subcutaneous implantable cardioverter-defibrillator in adult congenital heart disease.	J Cardiol Cases. 2024 Sep 12 ; 30(6):189-192. (オンライン)	Case Report
126	Sakamoto D, Matsuoka Y, Nakatani D, et al	ハートセンター	Role and prognostic value of growth differentiation factor 15 in patient of heart failure with preserved ejection fraction: insights from the PURSUIT-HFpEF registry.	Open Heart. 2025 Jan 19 ; 12(1):e003008. (オンライン)	Original Article
127	Obata Y, Takemoto M, Sakaue TA, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Immune checkpoint inhibitor-related type 1 diabetes mellitus which develops long after treatment discontinuation: a case report and review of literature.	Diabetol Int. 2024 Apr 18 ; 15(3):605-610. (オンライン)	Case Report

128	Motoda S, Kanai M, Sakimoto S, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Preoperative hemoglobin A1c is associated with postoperative bleeding after vitrectomy for vitreous hemorrhage in patients with diabetic retinopathy.	Endocr J. 2024 Oct 1 ; 71(10):965–971.	Original Article
129	Mitsui Y, Mukai K, Otsuki M, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Growth hormone increase by luteinizing hormone–releasing hormone reflects gonadotroph–related characteristics in acromegaly.	Pituitary. 2024 Oct ; 27(5):527–536.	Original Article
130	Nammo T, Funahashi N, Udagawa H, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Single–housing–induced islet epigenomic changes are related to polymorphisms in diabetic KK mice.	Life Sci Alliance. 2024 Jun 14 ; 7(8):e202302099. (オンライン)	Original Article
131	Okuno Y, Fukuhara A, Shimomura I	糖尿病・内分泌・代謝内科	The role of oxidative stress, glucocorticoid receptor and ARMC5 in lipid metabolism.	Endocr J. 2024 Dec 2 ; 71(12):1097–1101.	Original Article
132	Ishibashi C, Yoneda S, Fujita Y, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Decreased islet amyloid polypeptide staining in the islets of insulinoma patients.	Islets. 2024 Dec 31 ; 16(1):2379650.	Original Article
133	Mitsushio K, Baden MY, Kagisaki T, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Interrelationships Among Accumulations of Intra– and Periorgan Fats, Visceral Fat, and Subcutaneous Fat.	Diabetes. 2024 Jul 1 ; 73(7):1122–1126.	Original Article
134	Ueda H, Fujita Y, Mukai K, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Slowly Progressive Secondary Adrenal Insufficiency Due to Pembrolizumab Administration in a Patient With a History of Pituitary Neuroendocrine Tumor.	Cureus. 2025 Mar 31 ; 17(3):e81495. (オンライン)	Case Report
135	Okita T, Kita S, Fukuda S, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Soluble T–cadherin secretion from endothelial cells is regulated via insulin/PI3K/Akt signalling.	Biochem Biophys Res Commun. 2024 Nov 5 ; 732:150403.	Original Article
136	Sakaue TA, Obata Y, Sakai K, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Immune checkpoint inhibitor–related type 1 diabetes mellitus with closely monitored dynamics of glutamic acid decarboxylase antibody levels before and after disease onset.	Diabetol Int. 2025 Feb 10 ; 16(2):427–431. (オンライン)	Case Report
137	Imada T, Sasaki S, Yamaguchi H, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Imeglimin, unlike metformin, does not perturb differentiation of human induced pluripotent stem cells towards pancreatic I2–like cells and rather enhances gain in I2 cell identity gene sets.	J Diabetes Investig. 2025 Apr ; 16(4):584–597.	Original Article

138	Uota A, Okuno Y, Fukuhara A, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	ARMC5 selectively degrades SCAP-free SREBF1 and is essential for fatty acid desaturation in adipocytes.	J Biol Chem. 2024 Dec ; 300(12):107953.	Original Article
139	Hara T, Fujishima Y, Nishizawa H, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Associations between muscle quality and whole-body vibration exercise-induced changes in plasma hypoxanthine following an oral glucose load in healthy male subjects.	Endocr J. 2025 Feb 3 ; 72(2):171-181.	Original Article
140	Kawachi Y, Fujishima Y, Nishizawa H, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Effect of the Xanthine Oxidase Inhibitor Febuxostat on the Cardio-Ankle Vascular Index in Asymptomatic Patients with Hyperuricemia and Liver Dysfunction: A Sub-Analysis of the PRIZE Study.	J Atheroscler Thromb. 2025 Apr 1 ; 32(4):474-490.	Original Article
141	Kawata S, Obata Y, Akai-Samoto A, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Atypical Imaging Findings in a Cortisol-producing Adrenal Adenoma Predominantly Composed of Lipid-poor Compact Cells.	JCEM Case Rep. 2024 Oct 18 ; 2(11):luae189. (オンライン)	Case Report
142	Budzen K, Mukai K, Mitsui Y, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Mutual associations among responsiveness to differential diagnostic tests for Cushing's disease, tumor size, and somatostatin receptor 5 expression in corticotroph tumors.	Endocr J. 2025 Jan 6 ; 72(1):93-102.	Original Article
143	Okuno Y, Mukai K, Tamura Y, et al	糖尿病・内分泌・代謝内科	Frequent Seronegative Primary Hypothyroidism in Myxedema Coma in Japan: Three Case Reports With a Systematic Review.	Case Rep Endocrinol. 2024 Oct 14 ; 2024:2524019. (オンライン)	Case Report
144	Nagai N, Fujishima Y, Tokuzawa C, et al	栄養マネジメント部	Food Preference Assessed by the Newly Developed Nutrition-Based Japan Food Preference Questionnaire and Its Association with Dietary Intake in Abdominal-Obese Subjects.	Nutrients. 2024 Dec 9 ; 16(23):4252. (オンライン)	Original Article
145	Tone M, Iwahori K, Hirata M, et al	呼吸器センター	Tetracyclines enhance antitumor T-cell immunity via the Zap70 signaling pathway.	J Immunother Cancer. 2024 Apr 15 ; 12(4):e008334. (オンライン)	Original Article
146	Kaneko T, Okita Y, Kato Y, et al	呼吸器センター	Hypoglossal nerve palsy in IgG4-related disease.	QJM. 2024 Aug 1 ; 117(8):591-592.	Case Report
147	Nishide M, Shimagami H, Kumanogoh A	呼吸器センター	Single-cell analysis in rheumatic and allergic diseases: insights for clinical practice.	Nat Rev Immunol. 2024 Nov ; 24(11):781-797.	Original Article

148	Nakanishi Y, Izumi M, Matsushita H, et al	呼吸器センター	Semaphorin 6D tunes amygdalar circuits for emotional, metabolic, and inflammatory outputs.	Neuron. 2024 Sep 4 ; 112(17):2955–2972.e9.	Original Article
149	Minoda SS, Sada RM, Akebo H, et al	呼吸器センター	New perspective on the clinical and laboratory characteristics of rheumatoid pleural effusion: A 29–case series.	Mod Rheumatol. 2025 Feb 21 ; 35(2):249–255.	Original Article
150	Yaga M, Hasegawa K, Ikeda S, et al	呼吸器センター	CD98 heavy chain protein is overexpressed in non–small cell lung cancer and is a potential target for CAR T–cell therapy.	Sci Rep. 2024 Aug 2 ; 14(1):17917. (オンライン)	Original Article
151	Hara R, Takeda Y, Enomoto T, et al	呼吸器センター	Potential asthma biomarkers identified by nontargeted proteomics of extracellular vesicles in exhaled breath condensate.	J Allergy Clin Immunol Glob. 2025 Jan 30 ; 4(2):100432. (オンライン)	Original Article
152	Yagita–Sakamaki M, Ito T, Sakaguchi T, et al	呼吸器センター	Intestinal Foxl1+ cell–derived CXCL12 maintains epithelial homeostasis by modulating cellular metabolism.	Int Immunol. 2025 Mar 6 ; 37(4):235–250.	Original Article
153	Miyamoto AT, Shimagami H, Kumanogoh A, et al	呼吸器センター	Spatial transcriptomics in autoimmune rheumatic disease: potential clinical applications and perspectives.	Inflamm Regen. 2025 Feb 20 ; 45(1):6. (オンライン)	Original Article
154	Suzuki T, Kawasaki T, Beck G, et al	呼吸器センター	Peripheral Neuropathy in Systemic Sclerosis with Proximal Nerve Involvement: Diagnostic Challenges and Response to Corticosteroid Therapy.	Mod Rheumatol Case Rep. 2025 Jan 30:rxaf005.	Original Article
155	Tone M, Isono T, Yamamoto Y, et al	呼吸器センター	Peripheral CD4(+) T Cells Predict T Cell Immunity in Lung Tissues of Non–small Cell Lung Cancer Patients.	Anticancer Res. 2025 Mar ; 45(3):909–920.	Original Article
156	Matsumoto K, Yamamoto Y, Shiroyama T, et al	呼吸器センター	Risk Stratification According to Baseline and Early Change in Neutrophil–to–Lymphocyte Ratio in Advanced Non–Small Cell Lung Cancer Treated with Chemoimmunotherapy: A Multicenter Real–World Study.	Target Oncol. 2024 Sep ; 19(5):757–767.	Original Article
157	Takata S	呼吸器センター	Genomic insights into molecular profiling of thymic carcinoma: a narrative review.	Mediastinum. 2024 Jun 5 ; 8:39. (オンライン)	Original Article

158	Miyamoto S, Tsukaguchi A, Kuhara H, et al	呼吸器センター	Real-World Efficacy and Safety of Lenvatinib in Advanced or Recurrent Thymic Carcinoma: A Multicenter Retrospective Study in Japan.	Thorac Cancer. 2025 Mar ; 16(6):e70047.	Original Article
159	Tsujimoto K, Ebina K, Okamura S, et al	呼吸器センター	Sustained efficacy of second-line JAK inhibitors in patients with rheumatoid arthritis: insights from the ANSWER Cohort.	Rheumatology (Oxford). 2025 Mar 20:keaf157.	Original Article
160	Yanagisawa A, Shiroyama T, Miyake K, et al	呼吸器センター	Diabetic Ketoacidosis During Lorlatinib Treatment: Case Report.	J Thorac Oncol. 2025 May ; 20(5):676-679.	Case Report
161	Naito M, Takeda Y, Edahiro R, et al	呼吸器センター	NHERF2 as a Novel Biomarker for Distinguishing MAC Pulmonary Disease from Tuberculosis Based on Proteome Analysis of Serum Extracellular Vesicles.	Int J Mol Sci. 2025 Jan 29 ; 26(3):1155. (オンライン)	Original Article
162	Akira T, Tsujimoto K, Kitamura M, et al	呼吸器センター	Case Report: IgG4-Related Disease Gingiva Lesion With Extensive Cerebral Edema.	Int J Rheum Dis. 2024 Dec ; 27(12):e15432.	Letter
163	Oguro-Igashira E, Murakami M, Mori R, et al	呼吸器センター	The pyruvate-GPR31 axis promotes transepithelial dendrite formation in human intestinal dendritic cells.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2024 Oct 29 ; 121(44):e2318767121 .	Original Article
164	Wibowo T, Kogue Y, Ikeda S, et al	呼吸器センター	CAR-NK cells derived from cord blood originate mainly from CD56(-)CD7(+)/CD34(-)HLA-DR(-)Lin(-) NK progenitor cells.	Mol Ther Methods Clin Dev. 2024 Nov 12 ; 32(4):101374. (オンライン)	Original Article
165	Ikuta S, Saito Y, Takata S, et al	呼吸器センター	Variability in non-tumor areas of colorectal cancer patients as revealed by endoscopic intestinal step biopsies.	Mol Cancer. 2024 Nov 7 ; 23(1):249. (オンライン)	Original Article
166	Hashimoto K, Abe Y, Fukushima K, et al	呼吸器センター	Epidemiology of bronchiectasis at a single center in Japan: a retrospective cohort study.	BMC Pulm Med. 2024 Oct 24 ; 24(1):531. (オンライン)	Original Article
167	Fukushima K, Matsumoto Y, Abe Y, et al	呼吸器センター	Variability of macrolide-resistant profile in Mycobacterium avium complex pulmonary disease.	Antimicrob Agents Chemother. 2024 Nov 6 ; 68(11):e0121324.	Original Article

168	Yamamoto Y, Shirai Y, Eda Hiro R, et al	呼吸器センター	Large-scale cross-trait genetic analysis highlights shared genetic backgrounds of autoimmune diseases.	Immunol Med. 2025 Mar ; 48(1):1-10.	Original Article
169	Izumi M, Nakanishi Y, Kang S, et al	呼吸器センター	Peripheral and central regulation of neuro-immune crosstalk.	Inflamm Regen. 2024 Sep 26 ; 44(1):41. (オンライン)	Original Article
170	Kioi Y, Itotagawa E, Kawachi Y, et al	呼吸器センター	Case report: Avacopan-induced severe liver injury with prolonged jaundice and lipoprotein X-induced dyslipidemia.	Int J Rheum Dis. 2024 Nov ; 27(11):e15400.	Letter
171	Yanagisawa A, Konaka H, Tanaka M, et al	呼吸器センター	Pulmonary Alveolar Proteinosis During Intensive Immunosuppressive Treatment for Acute Exacerbation of Interstitial Pneumonia: A Case Report and Literature Review.	Cureus. 2024 Nov 28 ; 16(11):e74669. (オンライン)	Case Report
172	Hosono Y, Tomiyasu N, Kasai H, et al	呼吸器センター	Identification of I \pm -galactosylceramide as an endogenous mammalian antigen for iNKT cells.	J Exp Med. 2025 Feb 3 ; 222(2):e20240728.	Original Article
173	Kawasaki T, Takeda Y, Kumanogoh A	呼吸器センター	Proteomics of blood extracellular vesicles in inflammatory respiratory diseases for biomarker discovery and new insights into pathophysiology.	Inflamm Regen. 2024 Sep 18 ; 44(1):38. (オンライン)	Original Article
174	Adachi Y, Miyake K, Ohira K, et al	呼吸器センター	Enhancing the efficacy of near-infrared photoimmunotherapy through intratumoural delivery of CD44-targeting antibody-photoabsorber conjugates.	EBioMedicine. 2025 Feb ; 112:105566.	Original Article
175	Nakai R, Varnum S, Field RL, et al	オンコロジーセンター	Mitochondria transfer-based therapies reduce the morbidity and mortality of Leigh syndrome.	Nat Metab. 2024 Oct ; 6(10):1886-1896.	Original Article
176	Ueda Y, Chou WC, Goh YT, et al	オンコロジーセンター	Prevention and Management of Thromboembolism in Patients with Paroxysmal Nocturnal Hemoglobinuria in Asia: A Narrative Review.	Int J Mol Sci. 2025 Mar 11 ; 26(6):2504. (オンライン)	Original Article
177	Hosen N	オンコロジーセンター	Designer immune cells.	Inflamm Regen. 2024 Nov 25 ; 44(1):48. (オンライン)	Original Article

178	Mizutani Y, Ueda T, Fujita J, et al	オンコロジーセン ター	Ibrutinib as a Secondary Treatment for Steroid-Refractory or Steroid- Dependent Chronic Graft-Versus- Host Disease: A Case Series of 11 Patients During the COVID-19 Era.	Cureus. 2024 Oct 14 ; 16(10):e71474. (オン ライン)	Original Article
179	Kashiwagi H, Miura I, Terasawa N, et al	オンコロジーセン ター	Treatment trends and risks of corticosteroid use in adult primary immune thrombocytopenia: a claims database study in Japan.	Int J Hematol. 2025 Mar ; 121(3):363- 377.	Original Article
180	Kumazaki S, Hikita H, Tahata Y, et al	消化器内科	Letter: Association of serum growth differentiation factor 15 and liver-related outcomes in patients with MASLD-Authors' reply.	Aliment Pharmacol Ther. 2024 Sep ; 60(6):827-828.	Letter
181	Furuta K	消化器内科	What we know and need to know about Fontan-associated liver disease.	Hepatol Res. 2024 Oct ; 54(10):871-873.	Original Article
182	Sakane S, Hikita H, Shirai K, et al	消化器内科	Proteomic analysis of serum extracellular vesicles reveals Fibulin-3 as a new marker predicting liver-related events in MASLD.	Hepatol Commun. 2024 Jun 3 ; 8(6):e0448. (オンライ ン)	Original Article
183	Kato M, Hayashi Y, Uema R, et al	消化器内科	A machine learning model for predicting the lymph node metastasis of early gastric cancer not meeting the endoscopic curability criteria.	Gastric Cancer. 2024 Sep ; 27(5):1069- 1077.	Original Article
184	Hayashi Y, Hatta W, Tsuji Y, et al	消化器内科	Endoscopic Features of Synchronous Multiple Early Gastric Cancers: Findings from a Nationwide Cohort.	Digestion. 2024 ; 105(4):266-279.	Original Article
185	Tajiri A, Tsujii Y, Nishida T, et al	消化器内科	High incidence of lung cancer death after curative endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal squamous cell carcinoma.	Cancer Med. 2024 May ; 13(9):e7242.	Original Article
186	Sato K, Hikita H, Shigekawa M, et al	消化器内科	The serum tenascin C level is a marker of metabolic disorder- related inflammation affecting pancreatic cancer prognosis.	Sci Rep. 2024 May 26 ; 14(1):12028. (オン ライン)	Original Article
187	Uema R, Hayashi Y, Kizu T, et al	消化器内科	A novel artificial intelligence-based endoscopic ultrasonography diagnostic system for diagnosing the invasion depth of early gastric cancer.	J Gastroenterol. 2024 Jul ; 59(7):543- 555.	Original Article

188	Kumazaki S, Hikita H, Tahata Y, et al	消化器内科	Serum growth differentiation factor 15 is a novel biomarker with high predictive capability for liver cancer occurrence in patients with MASLD regardless of liver fibrosis.	Aliment Pharmacol Ther. 2024 Aug ; 60(3):327-339.	Original Article
189	Shiode Y, Kodama T, Sato Y, et al	消化器内科	Folate receptor 1 is a stemness trait-associated diagnostic and prognostic marker for hepatocellular carcinoma.	Biomark Res. 2025 Mar 4 ; 13(1):37. (オンライン)	Original Article
190	Chang LS, Nishida T, Nakamatsu D, et al	消化器内科	Therapeutic success of A β factor XIII substitution for IgA vasculitis with gastrointestinal manifestation.	Clin J Gastroenterol. 2025 Jun ; 18(3):417-422.	Case Report
191	Sakane S, Hikita H	消化器内科	Revisiting the relationship between thyroid function and metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease in the era of resmetirom.	J Gastroenterol. 2025 Mar ; 60(3):389-391.	Original Article
192	Nakagawa K, Hayashi Y, Adachi Y, et al	消化器内科	Low skeletal muscle mass contributes to the prognosis of patients with superficial esophageal cancer treated with definitive chemoradiotherapy.	Esophagus. 2025 Apr ; 22(2):198-206.	Original Article
193	Sometani E, Hikita H, Murai K, et al	消化器内科	High serum growth differentiation factor 15 is a risk factor for the occurrence of hepatocellular carcinoma in chronic hepatitis A/B patients treated with nucleos(t)ide analogs.	Hepatol Res. 2024 Sep 18.	Original Article
194	Tashiro T, Shinzaki S, Yoshihara T, et al	消化器内科	Leucine-rich Alpha-2 glycoprotein could be clinically useful in active and postoperative Crohn's disease.	Sci Rep. 2025 Mar 16 ; 15(1):9031. (オンライン)	Original Article
195	Amano T, Yoshihara T, Shinzaki S, et al	消化器内科	Selection of anti-cytokine biologics by pretreatment levels of serum leucine-rich alpha-2 glycoprotein in patients with inflammatory bowel disease.	Sci Rep. 2024 Nov 29 ; 14(1):29755. (オンライン)	Original Article
196	Kitagawa A, Nishio A, Hikita H, et al	消化器内科	A rare case of a malignant hepatic perivascular epithelioid cell tumor (PEComa) with aggressive progression following the relapse of renal pecoma despite everolimus therapy.	Clin J Gastroenterol. 2025 Apr ; 18(2):343-351.	Case Report
197	Tahata Y, Hikita H, Mochida S, et al	消化器内科	Factors involved in gastroesophageal varix-related events in patients with hepatitis A/C virus-related compensated and decompensated cirrhosis after direct-acting antiviral therapy.	Hepatol Res. 2024 Oct 29.	Original Article

198	Kodama T	消化器内科	Geographical and molecular disparity of HBV integration: Implications for hepatocarcinogenesis and clinical outcomes in HCC.	Hepatology. 2025 Jun 1 ; 81(6):1641–1642.	Original Article
199	Shigeno S, Kodama T, Murai K, et al	消化器内科	Intrahepatic Exhausted Antiviral Immunity in an Immunocompetent Mouse Model of Chronic Hepatitis B.	Cell Mol Gastroenterol Hepatol. 2025 ; 19(1):101412.	Original Article
200	Yoshihara T, Amano T, Shinzaki S, et al	消化器内科	Effectiveness of tacrolimus therapy in refractory ulcerative colitis compared to infliximab with propensity score matching.	Sci Rep. 2025 Jan 2 ; 15(1):68. (オンライン)	Original Article
201	Tsujii Y, Hayashi Y, Uema R, et al	消化器内科	Feasibility and safety of endoscopic submucosal dissection for superficial cancer of the remnant esophagus after esophagectomy.	Esophagus. 2025 Apr ; 22(2):148–156.	Original Article
202	Sato K, Shigekawa M, Yamamoto S, et al	消化器内科	Utility and clinical significance of endoscopic ultrasound-guided tissue acquisition for diagnosing lymphadenopathies in biliary tract cancer.	Sci Rep. 2025 Jan 27 ; 15(1):3363. (オンライン)	Original Article
203	Kudo S, Hikita H, Saito Y, et al	消化器内科	Collaborative orchestration of BH3-only proteins governs Bak/Bax-dependent hepatocyte apoptosis under antiapoptotic protein-deficiency in mice.	Cell Death Differ. 2025 Feb 24.	Original Article
204	Tokuchi M, Yonishi H, Namba-Hamano T	血液浄化部	Successful treatment of a renal allograft abscess with antimicrobial agents alone and appropriate follow-up imaging.	Transpl Infect Dis. 2024 Jun ; 26(3):e14278.	Case Report
205	Katsuma Y, Matsui I, Matsumoto A, et al	血液浄化部	Endogenous activation of peroxisome proliferator-activated receptor- α in proximal tubule cells in counteracting phosphate toxicity.	Am J Physiol Renal Physiol. 2024 Aug 1 ; 327(2):F208–F223.	Original Article
206	Sakaguchi Y, Asahina Y, Isaka Y	血液浄化部	Potassium nitrate for contrast-induced nephropathy and cardiovascular outcomes: further valid evidence is indispensable.	Eur Heart J. 2024 Sep 7 ; 45(34):3184.	Original Article
207	Maeda S, Sakai S, Takabatake Y, et al	血液浄化部	MondoA and AKI and AKI-to-CKD Transition.	J Am Soc Nephrol. 2024 May 31 ; 35(9):1164–82.	Original Article

208	Namba-Hamano T, Hamano T, Doi Y, et al	血液浄化部	Clinical Impacts of Allograft Biopsy in Renal Transplant Recipients 10A?Years or Longer After Transplantation.	Transpl Int. 2024 Jul 18 ; 37:13022. (オンライン)	Original Article
209	Masuyama S, Mizui M, Morita M, et al	血液浄化部	Enhanced fatty acid oxidation by selective activation of PPARI± alleviates autoimmunity through metabolic transformation in T-cells.	Clin Immunol. 2024 Nov ; 268:110357.	Original Article
210	Yamamoto T, Isaka Y	血液浄化部	Pathological mechanisms of kidney disease in ageing.	Nat Rev Nephrol. 2024 Sep ; 20(9):603-615.	Original Article
211	Nakamura J, Yamamoto T, Takabatake Y, et al	血液浄化部	Age-related TFEB downregulation in proximal tubules causes systemic metabolic disorders and occasional apolipoprotein A4-related amyloidosis.	JCI Insight. 2024 Dec 19 ; 10(3):e184451. (オンライン)	Original Article
212	Abe M, Niioka H, Matsumoto A, et al	血液浄化部	Self-Supervised Learning for Feature Extraction from Glomerular Images and Disease Classification with Minimal Annotations.	J Am Soc Nephrol. 2025 Mar 1 ; 36(3):471-486.	Original Article
213	Hattori K, Sakaguchi Y, Oka T, et al	血液浄化部	Estimated Effect of Restarting Renin-Angiotensin System Inhibitors after Discontinuation on Kidney Outcomes and Mortality.	J Am Soc Nephrol. 2024 Oct 1 ; 35(10):1391-1401.	Original Article
214	Kaimori JY, Sakaguchi Y, Oka T, et al	血液浄化部	Plant-Dominant Low-Protein Diets: A Promising Dietary Strategy for Mitigating Disease Progression in People with Chronic Kidney Disease-A Comprehensive Review.	Nutrients. 2025 Feb 11 ; 17(4):643. (オンライン)	Original Article
215	Ma K, Fujino M, Yang Y, et al	血液浄化部	5-aminolaevulinic acid with sodium ferrous citrate alleviated kidney injury and fibrosis in a unilateral ureteral obstruction model.	Int Immunopharmacol. 2025 Mar 26 ; 150:114321.	Original Article
216	Yamamoto T	血液浄化部	Autophagic stagnation: a key mechanism in kidney disease progression linked to aging and obesity.	Clin Exp Nephrol. 2025 Mar 25.	Original Article
217	Kimura T, Sakai S, Isaka Y	血液浄化部	d-Alanine, a Circadian Metabolite that Regulates Glucose Metabolism and Viral Infection.	Chembiochem. 2025 Apr 1 ; 26(7):e202500018.	Original Article

218	Oka T, Inker LA, Chaudhari J, et al	血液浄化部	Glomerular Filtration of Creatinine: Validation of a Novel Index of Muscle Mass Among Older Adults.	Am J Kidney Dis. 2025 Mar ; 85(3):339-352.	Original Article
219	Kimura T, Sakai S, Horio M, et al	血液浄化部	Kinetic analysis of D-Alanine upon oral intake in humans.	Amino Acids. 2024 Oct 14 ; 56(1):61. (オンライン)	Original Article
220	Kawaoka T, Sakaguchi Y, Oka T, et al	血液浄化部	Seasonal variations in the association between proteinuria, CKD, and kidney failure.	Nephrol Dial Transplant. 2024 Nov 21:gfae278.	Original Article
221	Shinzawa M, Matsui I, Doi Y, et al	血液浄化部	A nationwide questionnaire study evaluated kidney injury associated with Beni-koji tablets in Japan.	Kidney Int. 2025 Mar ; 107(3):530-540.	Original Article
222	Matsumura Y, Yamamoto R, Shinzawa M, et al	血液浄化部	Association of Psychological and Physical Stress Response With Weight Gain in University Employees in Japan: A Retrospective Cohort Study.	J Occup Environ Med. 2024 Dec 1 ; 66(12):1039-1045.	Original Article
223	Matsui S, Yamamoto T, Takabatake Y, et al	血液浄化部	Empagliflozin protects the kidney by reducing toxic ALB (albumin) exposure and preventing autophagic stagnation in proximal tubules.	Autophagy. 2025 Mar ; 21(3):583-597.	Original Article
224	Oka T, Tighiouart H, McCallum W, et al	血液浄化部	Peak Tricuspid Regurgitation Jet Velocity and Kidney Outcomes in Patients With Heart Failure With Preserved Ejection Fraction.	Kidney Int Rep. 2024 Jul 17 ; 9(10):3035-3044. (オンライン)	Original Article
225	Yasumizu Y, Kinoshita M, Zhang MJ, et al	神経内科・脳卒中科	Spatial transcriptomics elucidates medulla niche supporting germinal center response in myasthenia gravis-associated thymoma.	Cell Rep. 2024 Sep 24 ; 43(9):114677.	Original Article
226	Mochizuki H	神経内科・脳卒中科	Pathological mechanisms and treatment of sporadic Parkinson's disease: past, present, and future.	J Neural Transm (Vienna). 2024 Jun ; 131(6):597-607.	Original Article
227	Kimura Y, Mochizuki H	神経内科・脳卒中科	Targeting Glucagon-Like Peptide 1 Signaling: A Potential Disease Modifying Therapy for Parkinson's Disease.	Mov Disord. 2024 Jul ; 39(7):1087.	Original Article

228	Mitani TT, Susaki EA, Matsumoto K, et al	神経内科・脳卒中科	Realization of cellomics to dive into the whole-body or whole-organ cell cloud.	Nat Methods. 2024 Jul ; 21(7):1138-1142.	Original Article
229	Jinno J, Abdelhamid RF, Morita J, et al	神経内科・脳卒中科	TDP-43 transports ferritin heavy chain mRNA to regulate oxidative stress in neuronal axons.	Neurochem Int. 2025 Mar ; 184:105934.	Original Article
230	Mitsuyoshi H, Kadowaki A, Ozono T, et al	神経内科・脳卒中科	Significant elevation of CSF IL-6 levels and motor dominant neuropathy in a severe case of Surfer's myelopathy due to an exercise unrelated to surfing.	J Neurol Sci. 2025 May 15 ; 472:123448.	Letter
231	Yata T, Sato G, Ogawa K, et al	神経内科・脳卒中科	Contribution of germline and somatic mutations to risk of neuromyelitis optica spectrum disorder.	Cell Genom. 2025 Mar 12 ; 5(3):100776.	Original Article
232	Ajiki T, Ozono T, Sera F, et al	神経内科・脳卒中科	Therapeutic effect of TTR siRNA on hereditary transthyretin amyloidosis (ATTRv) nephropathy.	Amyloid. 2025 Jun ; 32(2):171-178.	Original Article
233	Shimizu M, Okuno T	神経内科・脳卒中科	Disruption of neuronal actin barrier promotes the entry of disease-implicated proteins to exacerbate amyotrophic lateral sclerosis pathology.	Neural Regen Res. 2025 Sep 1 ; 20(9):2589-2590.	Original Article
234	Asai K, Kawahara S, Shirahata E, et al	神経内科・脳卒中科	Evaluation of motor fluctuations in Parkinson's disease: electronic vs. conventional paper diaries.	Front Neurol. 2024 Nov 22 ; 15:1476708. (オンライン)	Original Article
235	Beck G, Yamashita R, Kawai M, et al	神経内科・脳卒中科	Case report: Chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy with severe central nervous system demyelination: a clinicopathological study.	Front Immunol. 2024 Dec 5 ; 15:1477615. (オンライン)	Case Report
236	Okazaki S, Yamamoto H, Asakura K, et al	神経内科・脳卒中科	Optimal antithrombotic therapy in ischemic stroke patients with non-valvular atrial fibrillation and atherothrombosis: study protocol for a randomized controlled trial.	Front Neurol. 2024 Oct 23 ; 15:1468523. (オンライン)	Original Article
237	Taniguchi S, Kajiyama Y, Kochiyama T, et al	神経内科・脳卒中科	New Insights into Freezing of Gait in Parkinson's Disease from Spectral Dynamic Causal Modeling.	Mov Disord. 2024 Nov ; 39(11):1982-1992.	Original Article

238	Sasaki T, Hisada S, Kanki H, et al	神経内科・脳卒中科	Modulation of Ca(2+) oscillation following ischemia and nicotinic acetylcholine receptors in primary cortical neurons by high-throughput analysis.	Sci Rep. 2024 Nov 12 ; 14(1):27667. (オンライン)	Original Article
239	Moriyama T, Todo K, Yamagami H, et al	神経内科・脳卒中科	Relationship between initial B-type natriuretic peptide levels and detection of atrial fibrillation with an insertable cardiac monitor in cryptogenic stroke: CRYPTON-ICM registry.	Front Neurol. 2024 Sep 18 ; 15:1436062. (オンライン)	Original Article
240	Shimizu M, Beck G, Murayama S, et al	神経内科・脳卒中科	Case report: The histopathological analyses of two myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated diseases with a distinctive linear radiating gadolinium enhancement on MRI.	Front Immunol. 2024 Aug 29 ; 15:1426236. (オンライン)	Case Report
241	Yamamura R, Kinoshita M, Yasumizu Y, et al	神経内科・脳卒中科	Transcriptome signature in the blood of neuromyelitis optica spectrum disorder under steroid tapering.	Front Immunol. 2025 Feb 3 ; 16:1508977. (オンライン)	Original Article
242	Yamashita R, Beck G, Shigenobu K, et al	神経内科・脳卒中科	Motor involvement in frontotemporal lobar degeneration with TAR DNA-binding protein of 43a type C.	Neuropathology. 2025 Jan 14.	Original Article
243	Saeki C, Kajiyama Y, Kakuda K, et al	神経内科・脳卒中科	Focused Ultrasound Lesioning of the Subthalamic Nucleus for Asymmetric Parkinson's Disease in Japan.	Mov Disord Clin Pract. 2025 Apr ; 12(4):547-550.	Letter
244	Sakiyama H, Baba K, Kimura Y, et al	神経内科・脳卒中科	Accelerated senescence exacerbates I±-synucleinopathy in senescence-accelerated prone 8 mice via persistent neuroinflammation.	Neurochem Int. 2025 Jan ; 182:105906.	Original Article
245	Gon Y, Zha L, Morishima T, et al	神経内科・脳卒中科	Non-cancer-related Deaths in Cancer Survivors: A Nationwide Population-based Study in Japan.	J Epidemiol. 2025 Mar 5 ; 35(3):147-153.	Original Article
246	Ikeda M, Toya S, Manabe Y, et al	神経科・精神科	Post hoc analysis of the characteristics and treatment needs of patients with dementia with Lewy bodies (DLB) and their caregivers and their physicians' awareness of those treatment	Int J Geriatr Psychiatry. 2024 Aug ; 39(8):e6122.	Original Article
247	Ishii R, Kirimoto H, Yoshimura M, et al	神経科・精神科	Editorial: Translational research of occupational therapy and neurorehabilitation, volume II.	Front Hum Neurosci. 2024 May 29 ; 18:1426481. (オンライン)	Original Article

248	Hata M, Miyazaki Y, Mori K, et al	神経科・精神科	Utilizing portable electroencephalography to screen for pathology of Alzheimer's disease: a methodological advancement in diagnosis of neurodegenerative diseases.	Front Psychiatry. 2024 May 24 ; 15:1392158. (オンライン)	Original Article
249	Ishii R, Smith SA, Iwanaga R, et al	神経科・精神科	Editorial: Translational research of occupational therapy and neurorehabilitation.	Front Hum Neurosci. 2024 Jun 7 ; 18:1432073. (オンライン)	Original Article
250	Kanai K, Kitamura Y, Zha L, et al	神経科・精神科	Prevalence of and factors influencing Hikikomori in Osaka City, Japan: A population-based cross-sectional study.	Int J Soc Psychiatry. 2024 Aug ; 70(5):967-980.	Original Article
251	Matsunaga H, Riku K, Shimizu K, et al	神経科・精神科	Severe hypoglycemia with reduced liver volume as an indicator of end-stage malnutrition in patients with anorexia nervosa: a retrospective observational study.	J Eat Disord. 2024 May 3 ; 12(1):55. (オンライン)	Original Article
252	Omori H, Satake Y, Sato S, et al	神経科・精神科	Delusional jealousy and psychological factors in very late-onset schizophrenia-like psychosis with positive result of Lewy body disease biomarker: a case report.	Psychogeriatrics. 2025 Jan ; 25(1):e13220.	Letter
253	Hata M, Miyazaki Y, Mori K, et al	神経科・精神科	Screening of A12 and phosphorylated tau status in the cerebrospinal fluid through machine learning analysis of portable electroencephalography data.	Sci Rep. 2025 Jan 15 ; 15(1):2067. (オンライン)	Original Article
254	Ishii R, Shiraiwa K	神経科・精神科	Harnessing neuromodulation to tackle rumination: Trait-dependent effects of theta burst stimulation.	Clin Neurophysiol. 2024 Jun ; 162:222-223.	Original Article
255	Ishii R, Ueda M	神経科・精神科	Unraveling the neurophysiological intricacies of stuttering through sensorimotor oscillations.	Clin Neurophysiol. 2025 Jan ; 169:74-75.	Original Article
256	Miyazaki Y, Hata M, Omori H, et al	神経科・精神科	Performance of ChatGPT-4o on the Japanese Medical Licensing Examination: Evaluation of Accuracy in Text-Only and Image-Based Questions.	JMIR Med Educ. 2024 Dec 24 ; 10:e63129. (オンライン)	Original Article
257	Kanemoto H, Kashibayashi T, Takahashi R, et al	神経科・精神科	Neuroimaging of psychosis, agitation, and affective disturbance in Alzheimer's disease, dementia with Lewy bodies, and mild cognitive impairment.	Int Psychogeriatr. 2025 Mar 18:100059.	Original Article

258	Nakagawa Y, Satake Y, Hata M, et al	神経科・精神科	Anterograde amnesia recurrence in temporal lobe epilepsy with amygdala-enlargement.	BMJ Case Rep. 2024 Dec 27 ; 17(12):e262302. (オンライン)	Case Report
259	Hata M, Satake Y, Miyazaki Y, et al	神経科・精神科	Hidden cases of epilepsy in cognitive impairment clinics: Exploring the use of a portable device for simplified electroencephalography testing.	Epilepsy Behav Rep. 2024 Jul 28 ; 27:100701. (オンライン)	Original Article
260	Uozumi R, Mori K, Akamine S, et al	神経科・精神科	Protocols for identifying endogenous interactors of RNA-binding proteins in mammalian cells using the peroxidase APEX2 biotin-labeling method.	STAR Protoc. 2024 Dec 20 ; 5(4):103368.	Original Article
261	Taomoto D, Nishio Y, Hidaka Y, et al	神経科・精神科	Delirium-onset prodromal Lewy body disease: A series of 5 cases.	Clin Park Relat Disord. 2024 Nov 21 ; 11:100289. (オンライン)	Original Article
262	Hidaka Y, Hashimoto M, Suehiro T, et al	神経科・精神科	Association between choroid plexus volume and cognitive function in community-dwelling older adults without dementia: a population-based cross-sectional analysis.	Fluids Barriers CNS. 2024 Dec 18 ; 21(1):101. (オンライン)	Original Article
263	Ozono K, Kubota T, Michigami T	総合周産期母子医療センター	Promising horizons in achondroplasia along with the development of new drugs.	Endocr J. 2024 Jul 12 ; 71(7):643-650.	Original Article
264	Onuma S, Kawai M	総合周産期母子医療センター	Circadian Regulatory Networks of Glucose Homeostasis and Its Disruption as a Potential Cause of Undernutrition.	Endocrinology. 2024 Sep 26 ; 165(11):bqae126.	Original Article
265	Yamamoto K, Lee Y, Masuda T, et al	総合周産期母子医療センター	Functional landscape of genome-wide postzygotic somatic mutations between monozygotic twins.	DNA Res. 2024 Oct 1 ; 31(5):dsae028.	Original Article
266	Saitou H, Ohata Y, Takeyari S, et al	総合周産期母子医療センター	Characterization of a Novel Col1a1(G643S/+) Osteogenesis Imperfecta Mouse Model with Insights into Skeletal Phenotype, Fragility, and Therapeutic Evaluations.	Calcif Tissue Int. 2025 Jan 3 ; 116(1):13. (オンライン)	Original Article
267	Yamamoto K, Namba S, Sonehara K, et al	総合周産期母子医療センター	Genetic legacy of ancient hunter-gatherer Jomon in Japanese populations.	Nat Commun. 2024 Nov 12 ; 15(1):9780. (オンライン)	Original Article

268	Iwatani Y, Kagitani-Shimono K, Ono A, et al	総合周産期母子医療センター	Regular sleep habits in toddlers are associated with social development and brain coherence.	Sleep Med. 2024 Dec ; 124:531-539.	Original Article
269	Inoue E, Koguchi-Yoshioka H, Kume M, et al	皮膚科	Augmented Glycolytic Activity in Circulating T Cells of Systemic Sclerosis.	J Invest Dermatol. 2025 Feb ; 145(2):432-436.e10.	Original Article
270	Kurokami Y, Yamashita C, Yokoi K, et al	皮膚科	A rare case of metastatic extramammary Paget disease developing transfusion-related acute lung injury during chemotherapy.	J Dermatol. 2024 Sep ; 51(9):e312-e313.	Case Report
271	Ueda-Hayakawa I, Maekawa A, Tonomura K, et al	皮膚科	Association between periungual changes and myositis-specific autoantibodies in patients with idiopathic inflammatory myopathies: A retrospective cohort study.	J Am Acad Dermatol. 2024 Sep ; 91(3):531-533.	Letter
272	Lei J, Tominaga M	皮膚科	Unlocking the therapeutic potential of TRPV3: Insights into thermosensation, channel modulation, and skin homeostasis involving TRPV3.	Bioessays. 2024 Jul ; 46(7):e2400047.	Original Article
273	Jikihara N, Yokoi K, Matsumura Y, et al	皮膚科	Successful treatment of aggressive metastatic sebaceous carcinoma with pembrolizumab.	Eur J Dermatol. 2024 Jun 1 ; 34(3):308-310.	Case Report
274	Fujita Y, Nakagawa Y, Hatano Y, et al	皮膚科	Development of bullous pemphigoid with autoantibodies against full-length BP180 following COVID-19 infection.	J Dermatol. 2024 Dec ; 51(12):e433-e434.	Letter
275	Shirakawa M, Yokoe S, Nakagawa T, et al	皮膚科	Rapamycin and Starvation Mitigate Indomethacin-Induced Intestinal Damage through Preservation of Lysosomal Vacuolar ATPase Integrity.	J Pharmacol Exp Ther. 2024 Jun 21 ; 390(1):108-115. (オンライン)	Original Article
276	Tanemura A, Ma Y, Sakaki-Yumoto M, et al	皮膚科	Clinical patterns of vitiligo in Japan: A descriptive study using the JMDC claims database.	J Dermatol. 2025 May ; 52(5):831-840.	Original Article
277	Fujimoto M, Ueda-Hayakawa I	皮膚科	Advancing treatment for idiopathic inflammatory myopathies: insights into immune modulation by JAK inhibition.	Rheumatology (Oxford). 2025 Feb 24:keaf111.	Original Article

278	Matsumura Y, Kume M, Furuta J, et al	皮膚科	Possible Role of IL-23 Inhibition in Reduction of Circulating IL-17A(+) CD103(+) Memory CD8 T Cells in Psoriasis.	J Invest Dermatol. 2025 Feb 11:S0022-202X(25)00101-0.	Original Article
279	Yokoi K, Wang J, Yoshioka Y, et al	皮膚科	Novel Detection and Clinical Utility of Serum-Derived Extracellular Vesicle in Angiosarcoma.	Acta Derm Venereol. 2025 Feb 25 ; 105:adv40902. (オンライン)	Original Article
280	Kume M, Koguchi-Yoshioka H, Nakai S, et al	皮膚科	Downregulation of semaphorin 4A in keratinocytes reflects the features of non-lesional psoriasis.	Elife. 2024 Dec 31 ; 13:RP97654. (オンライン)	Original Article
281	Akome J, Ishitsuka Y, Tanemura A, et al	皮膚科	Non-protuberant Lesions and Diagnostic Delays in Dermatofibrosarcoma Protuberans: A Single Institutional Retrospective Analysis.	Acta Derm Venereol. 2024 Sep 24 ; 104:adv41234. (オンライン)	Original Article
282	Maekawa A, Ueda-Hayakawa I, Shimbo T, et al	皮膚科	Single-cell transcriptomic profiling of lung fibroblasts in a bleomycin-induced systemic sclerosis mouse model.	Biochem Biophys Res Commun. 2024 Dec 31 ; 741:151017.	Original Article
283	Yamazaki Y, Ito T, Nakagawa S, et al	皮膚科	Altered genomic methylation promotes Staphylococcus aureus persistence in hospital environment.	Nat Commun. 2024 Nov 7 ; 15(1):9619. (オンライン)	Original Article
284	Lei J, Tominaga M	皮膚科	TRPV3 in skin thermosensation and temperature responses.	J Physiol Sci. 2025 Mar ; 75(1):100005.	Original Article
285	Naka S, Ooe K, Shirakami Y, et al	放射線部	Production of [(211)At]NaAt solution under GMP compliance for investigator-initiated clinical trial.	EJNMMI Radiopharm Chem. 2024 Apr 15 ; 9(1):29. (オンライン)	Original Article
286	Isohashi F, Yoshida K, Murakami N, et al	放射線治療科	Reirradiation for recurrent gynecologic cancer using high-dose-rate brachytherapy in Japan: A multicenter survey on practice patterns and outcomes.	Radiother Oncol. 2024 Jun ; 195:110269.	Original Article
287	Yagi M, Shimizu S, Hamatani N, et al	放射線治療科	Development and characterization of a dedicated dose monitor for ultrahigh-dose-rate scanned carbon-ion beams.	Sci Rep. 2024 May 21 ; 14(1):11574. (オンライン)	Original Article

288	Yagi M, Beltran CJ, Shimizu S, et al	放射線治療科	Carbon ion therapy for laterally located tumors require multiple fixed ports or a rotating gantry.	Med Dosim. 2024 Winter ; 49(4):279–290.	Original Article
289	Hayashi K, Ishikawa H, Fujiwara K, et al	放射線治療科	Stereotactic Ablative Radiotherapy for Early-stage Lung Cancer in Patients With Left Ventricular Assist Device: A Case Series.	Anticancer Res. 2024 Sep ; 44(9):4113–4117.	Case Report
290	Yagi M, Wakisaka Y, Takeno J, et al	放射線治療科	Dosimetric impact of stopping power for human bone porosity with dual-energy computed tomography in scanned carbon-ion therapy treatment planning.	Sci Rep. 2024 Jul 29 ; 14(1):17440. (オンライン)	Original Article
291	Ju M, Minami K, Katsuki S, et al	放射線治療科	Synergistic Effects of Melatonin on Radiosensitization in Carbon-ion Radiotherapy.	Anticancer Res. 2024 Aug ; 44(8):3295–3306.	Original Article
292	Hayashi K, Suzuki O, Wakisaka Y, et al	放射線治療科	Prognostic analysis of radiation-induced liver damage following carbon-ion radiotherapy for hepatocellular carcinoma.	Radiat Oncol. 2024 Apr 22 ; 19(1):51. (オンライン)	Original Article
293	Yagi M, Furutani KM, Ogata T, et al	放射線治療科	Dosimetric study of synchrotron rapid beam off control and skip spot function for high beam intensity proton therapy.	Med Phys. 2025 Mar ; 52(3):1867–1877.	Original Article
294	Akino Y, Isohashi F, Arimura T, et al	放射線治療科	Independent verification system for intracavitary brachytherapy based on a reference plan and statistical model.	J Radiat Res. 2025 Mar 24 ; 66(2):176–184.	Original Article
295	Yagi M, Minami K, Fujita K, et al	放射線治療科	Sparing Effect on Cell Survival Under Normoxia Using Ultra-high Dose Rate Proton Beams from a Compact Superconducting AVF Cyclotron.	Anticancer Res. 2024 Oct ; 44(10):4251–4260.	Original Article
296	Miyake K, Kikuchi S, Uchida D, et al	ハートセンター	The impact of angiographic pedal circulation status on wound healing in chronic limb-threatening ischemia after bypass surgery.	J Vasc Surg. 2024 Dec ; 80(6):1836–1846.	Original Article
297	Handa K, Kawamura M, Yoshioka D, et al	ハートセンター	Impact of the Aortomitral Positional Anatomy on Atrioventricular Conduction Disorder Following Mitral Valve Surgery.	J Am Heart Assoc. 2024 Aug 20 ; 13(16):e035826.	Original Article

298	Saito S, Yoshioka D, Kawamura T, et al	ハートセンター	The foremost and greatest barrier to end-stage heart failure treatment: the impact of caregiver shortage.	J Artif Organs. 2025 Jun ; 28(2):192-197.	Original Article
299	Tanimoto K, Kido T, Taira M, et al	ハートセンター	A case of truncus arteriosus with severe heart failure and pulmonary stenosis: bridge to transplant candidacy with surgical correction and a ventricular-assist device.	J Artif Organs. 2025 Mar ; 28(1):90-94.	Case Report
300	Handa K, Misumi Y, Yoshioka D, et al	ハートセンター	In vivo mitral valve repair for the transplanted donor heart in orthotopic heart transplantation.	J Cardiothorac Surg. 2024 May 13 ; 19(1):287. (オンライン)	Case Report
301	Misumi Y, Kawamura M, Yoshioka D, et al	ハートセンター	Restrictive annuloplasty or replacement on reverse remodeling for nonischemic dilated cardiomyopathy.	J Cardiothorac Surg. 2024 Apr 12 ; 19(1):201. (オンライン)	Original Article
302	Imaoka S, Nishinaka T, Mizuno T, et al	ハートセンター	Feasibility of an animal model for long-term mechanical circulatory support with Impella 5.5 implanted through carotid artery access in sheep.	J Artif Organs. 2024 Dec ; 27(4):345-357.	Original Article
303	Zhang J, Li J, Qu X, et al	ハートセンター	Development of composite functional tissue sheets using hiPSC-CMs and hADSCs to improve the cardiac function after myocardial infarction.	Bioact Mater. 2024 Apr 25 ; 37:533-548. (オンライン)	Original Article
304	Saito S, Miyagawa S, Kawamura T, et al	ハートセンター	How should cardiac xenotransplantation be initiated in Japan?	Surg Today. 2024 Aug ; 54(8):829-838.	Original Article
305	Shimamura K, Miyagawa S	ハートセンター	Treatment Strategy for Severe Aortic Stenosis With Moderate/Severe Mitral Regurgitation.	Circ J. 2024 Nov 25 ; 88(12):2008-2009.	Original Article
306	Yamashita K, Maeda K, Pak K, et al	ハートセンター	A risk model of mortality rate in dialysis patients following transcatheter aortic valve replacement.	J Cardiol. 2025 Apr ; 85(4):329-333.	Original Article
307	Handa K, Maeda K, Pak K, et al	ハートセンター	Midterm Clinical Outcomes after Isolated Surgical and Transcatheter Aortic Valve Replacement in Low-Risk Patients with Aortic Stenosis.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2024 ; 30(1):24-00123.	Original Article

308	Yakhshimurodov UR, Yamashita K, Miki K, et al	ハートセンター	A generalized protocol for the induction of M2-like macrophages from mouse and rat bone marrow mononuclear cells.	Biol Methods Protoc. 2025 Mar 19 ; 10(1):bpaf020. (オンライン)	Original Article
309	Handa K, Kawamura M, Sasai M, et al	ハートセンター	Effective transcatheter intracoronary delivery of mRNA-lipid nanoparticles targeting the heart.	J Control Release. 2025 May 10 ; 381:113623.	Original Article
310	Hasegawa M, Taira M, Tominaga Y, et al	ハートセンター	Lack of Bridge to Recovery in Pediatric Dilated Cardiomyopathy With Left Ventricular Noncompaction.	Ann Thorac Surg Short Rep. 2024 Aug 22 ; 3(1):241-246. (オンライン)	Original Article
311	Handa K, Kawamura M, Yoshioka D, et al	ハートセンター	Impact of aortic root rotation angle on new-onset first-degree atrioventricular block following mitral valve surgery.	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg. 2025 Mar 5 ; 40(3):ivaf046.	Original Article
312	Kido T, Toba S, Yamasaki T, et al	ハートセンター	A case report of a rare cardiac anomaly associated with Ellis-van Creveld syndrome: common atrium, partial atrioventricular septal defect, and hypoplastic left ventricle.	Eur Heart J Case Rep. 2025 Jan 10 ; 9(1):ytaf005. (オンライン)	Case Report
313	Kugo Y, Kido T, Watanabe T, et al	ハートセンター	Usefulness of hepatic CT attenuation values in assessment of Fontan-associated liver disease progression: a comparative study with Model of End-stage Liver Disease Excluding International Normalized Ratio scores.	Cardiol Young. 2025 Apr ; 35(4):831-835.	Original Article
314	Shimamura K, Kawamura A, Yoshioka D, et al	ハートセンター	Transcatheter aortic valve replacement explantation experience in Japanese high-volume center.	Ann Cardiothorac Surg. 2025 Mar 31 ; 14(2):131-140.	Original Article
315	Saito S, Matsuura R, Kamon C, et al	ハートセンター	Evolving Paradigms in Home Left Ventricular Assist Device Therapy: Reducing Caregiver Burden in the Era of Advanced Technology.	Circ J. 2025 Mar 25 ; 89(4):479-484.	Original Article
316	Kugo Y, Kido T, Harada A, et al	ハートセンター	Histological Analysis of a Decellularized Pulmonary Homograft Explanted From a Pediatric Patient.	JACC Case Rep. 2025 Jan 15 ; 30(2):102806. (オンライン)	Case Report
317	Kawasumi R, Kawamura T, Yamashita K, et al	ハートセンター	Systemic administration of induced pluripotent stem cell-derived mesenchymal stem cells improves cardiac function through extracellular vesicle-mediated tissue repair in a rat model of ischemic cardiomyopathy.	Regen Ther. 2024 Dec 31 ; 28:253-261. (オンライン)	Original Article

318	Murakami T, Misumi Y, Yoshioka D, et al	ハートセンター	Association of Aortic Root and Valve Morphology With De Novo Aortic Valve Regurgitation After Implantation of Left Ventricular Assist Device.	Artif Organs. 2025 Mar 12.	Original Article
319	Kanaya T, Ueno T, Taira M	ハートセンター	Torn spiral patch repair of ventricular septation for single ventricle associated with D-malposition of the great arteries after 40 years.	Cardiol Young. 2025 Jan ; 35(1):199-201.	Case Report
320	Nagai T, Misumi Y, Yoshioka D, et al	ハートセンター	Salvage Right Ventricular Outflow Tract Reconstruction for Pulmonary Embolization with Pulmonary Artery Sarcoma.	Surg Case Rep. 2025 ; 11(1):24-0068.	Case Report
321	Yajima S, Lee SH, Yang J, et al	ハートセンター	Stromal cell-derived factor-encapsulated nanoparticles target ischemic myocardium and attenuate myocardial injury via proangiogenic effects.	Biomaterials. 2025 Jul ; 318:123167.	Original Article
322	Kawamura T, Yoshioka D, Kawamura A, et al	ハートセンター	Safety and therapeutic potential of allogeneic adipose-derived stem cell spray transplantation in ischemic cardiomyopathy: a phase I clinical trial.	J Transl Med. 2024 Dec 2 ; 22(1):1091. (オンライン)	Original Article
323	Kawamura A, Shimamura K, Yoshioka D, et al	ハートセンター	Differences between valve types in anatomic changes of the aortic root after surgical aortic valve replacement.	JTCVS Tech. 2024 Jul 31 ; 27:51-59. (オンライン)	Original Article
324	Senzai M, Tsutsumi Y, Monta O	ハートセンター	Combined Treatment for Unusual Behçet's Disease Influencing the Autograft in the Ross Procedure.	JACC Case Rep. 2024 Sep 4 ; 29(17):102481. (オンライン)	Case Report
325	Kudo T, Kuratani T, Sawa Y, et al	ハートセンター	Predictors of Type 1a Endoleak After Hybrid Thoracic Endovascular Aortic Repair for Aortic Arch Diseases.	Circ J. 2025 Apr 25 ; 89(5):584-591.	Original Article
326	Sakakibara S, Shimamura K, Shijo T, et al	ハートセンター	Midterm Morphological Change of Kommerell's Diverticulum after Hybrid Thoracic Endovascular Aortic Repair.	Ann Vasc Surg. 2025 Jan ; 110(Pt B):17-22.	Original Article
327	Imaoka S, Yoshioka D, Saito S, et al	ハートセンター	Clinical Outcomes of Left Ventricular Assist Device Bleeding Complication.	ASAIO J. 2025 Mar 1 ; 71(3):229-234.	Original Article

328	Kido T, Tanimoto K, Watanabe T, et al	ハートセンター	Myocardial calcification: case reports and a systematic review.	Eur Heart J Imaging Methods Pract. 2024 Jul 30 ; 2(3):qyae079. (オンライン)	Original Article
329	Goto T, Nakamura Y, Ito Y, et al	ハートセンター	Regenerative medicine in cardiovascular disease.	Regen Ther. 2024 Oct 5 ; 26:859-866. (オンライン)	Original Article
330	Tominaga Y, Iwai S, Taira M, et al	ハートセンター	Residual pulmonary stenosis and right ventricular contractility in repaired tetralogy of Fallot.	Eur J Cardiothorac Surg. 2024 Nov 4 ; 66(5):ezae403.	Original Article
331	Yanagino Y, Kainuma S, Toda K, et al	ハートセンター	Early structural valve deterioration following transcatheter aortic valve implantation in a patient with Scheie syndrome: a case report.	Gen Thorac Cardiovasc Surg Cases. 2024 Oct 21 ; 3(1):46. (オンライン)	Original Article
332	Maeda K, Shimamura K, Mizote I, et al	ハートセンター	Long-term outcomes of transapical-transcatheter aortic valve replacement.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Oct 23.	Original Article
333	Watanabe T, Kawamura T, Harada A, et al	ハートセンター	Human induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocyte patches ameliorate right ventricular function in a rat pressure-overloaded right ventricle model.	J Artif Organs. 2025 Jun ; 28(2):234-243.	Original Article
334	Imaoka S, Kashiwama N, Yoshioka D, et al	ハートセンター	Clinical outcomes of modified left ventricular assist device driveline management.	J Artif Organs. 2025 Jun ; 28(2):207-215.	Original Article
335	Izutani Y, Ogino T, Sekido Y, et al	消化器外科	Salvage surgery for pouch-related complication after ileal pouch-anal anastomosis: a report of two cases.	Surg Case Rep. 2024 May 3 ; 10(1):111. (オンライン)	Original Article
336	Hashimoto M, Kojima Y, Sakamoto T, et al	消化器外科	Spatial and single-cell colocalisation analysis reveals MDK-mediated immunosuppressive environment with regulatory T cells in colorectal carcinogenesis.	EBioMedicine. 2024 May ; 103:105102.	Original Article
337	Nose Y, Kato M, Aoyagi S, et al	消化器外科	Use of current automatic smoke evacuation system in flexible gastrointestinal endoscopy: Its feasibility and potential usefulness.	DEN Open. 2024 Apr 10 ; 4(1):e367. (オンライン)	Original Article

338	Toya K, Tomimaru Y, Kobayashi S, et al	消化器外科	Application of a laparoscopic device for cell-derived sheet transplantation on the liver in a porcine model.	Minim Invasive Ther Allied Technol. 2024 Aug ; 33(4):245-251.	Original Article
339	Ito Y, Yamada D, Kobayashi S, et al	消化器外科	The combination of gemcitabine plus an anti-FGFR inhibitor can have a synergistic antitumor effect on FGF-activating cholangiocarcinoma.	Cancer Lett. 2024 Jul 28 ; 595:216997.	Original Article
340	Makino T, Nakai S, Momose K, et al	消化器外科	Efficacy and survival of nivolumab treatment for recurrent/unresectable esophageal squamous-cell carcinoma: real-world clinical data from a large multi-institutional cohort.	Esophagus. 2024 Jul ; 21(3):319-327.	Original Article
341	Yamada D, Kobayashi S, Takahashi H, et al	消化器外科	ASO Author Reflections: Which was the Better Regimen (Gemcitabine Plus Nab-Paclitaxel Versus Gemcitabine Plus S-1) as Neoadjuvant Chemotherapy for Localized Pancreatic Ductal Adenocarcinoma (R/BR-PDAC)?	Ann Surg Oncol. 2024 Jul ; 31(7):4702-4703.	Original Article
342	Yokouchi T, Doki Y, Nakajima K	消化器外科	Clinical effectiveness of a new scope warmer/cleaner for laparoscopic and thoracoscopic surgery.	World J Surg. 2024 Jun ; 48(6):1292-1296.	Original Article
343	Teranishi R, Takahashi T, Kurokawa Y, et al	消化器外科	Pimutespib, a Novel Heat Shock Protein 90 Inhibitor, Is Effective in Treating Renal Cell Carcinoma by Anti-angiogenetic Signaling.	Anticancer Res. 2024 Aug ; 44(8):3343-3348.	Original Article
344	Miyahara S, Takahashi H, Tomimaru Y, et al	消化器外科	Organ-specific variations in tumor marker dynamics in postoperative pancreatic cancer recurrence: Trends in lung and liver recurrence highlighting biological heterogeneity.	Surg Oncol. 2024 Aug ; 55:102103.	Original Article
345	Makino T, Miyata H, Yasuda T, et al	消化器外科	A phase 3, randomized, double-blind, multicenter, placebo-controlled study of S-588410, a five-peptide cancer vaccine as an adjuvant therapy after curative resection in patients with esophageal squamous cell	Esophagus. 2024 Oct ; 21(4):447-455.	Original Article
346	Sato H, Meng S, Hara T, et al	消化器外科	Tissue-Resident Memory T Cells in Gastrointestinal Cancers: Prognostic Significance and Therapeutic Implications.	Biomedicines. 2024 Jun 17 ; 12(6):1342. (オンライン)	Original Article

347	Sakano Y, Matoba D, Noda T, et al	消化器外科	Clinical significance of ribosomal protein S15 expression in patients with colorectal cancer liver metastases.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2024 Sep ; 31(9):611–624.	Original Article
348	Hayashi Y, Ueyama A, Funaki S, et al	消化器外科	In situ analysis of CCR8(+) regulatory T cells in lung cancer: suppression of GzmB(+) CD8(+) T cells and prognostic marker implications.	BMC Cancer. 2024 May 23 ; 24(1):627. (オンライン)	Original Article
349	Hokkoku D, Sasaki K, Kobayashi S, et al	消化器外科	High-mobility group box 1 fragment ameliorates chronic pancreatitis induced by caerulein in mice.	J Gastroenterol. 2024 Aug ; 59(8):744–757.	Original Article
350	Hokkoku D, Sasaki K, Kobayashi S, et al	消化器外科	Case Report: A Rare Case of Pulmonary Nocardiosis Caused by Nocardia pseudobrasiliensis After Liver Transplantation.	Transplant Proc. 2024 Jun ; 56(5):1200–1204.	Case Report
351	Kado T, Tomimaru Y, Kobayashi S, et al	消化器外科	Skeletal Myoblast Cells Enhance the Function of Transplanted Islets in Diabetic Mice.	J Diabetes Res. 2024 May 17 ; 2024:5574968. (オンライン)	Original Article
352	Yamada D, Takeda Y, Takahashi H, et al	消化器外科	Preoperative nutritional status is a useful predictor of the feasibility of postoperative treatment in octogenarian-plus pancreatic ductal adenocarcinoma patients.	Eur J Surg Oncol. 2024 Dec ; 50(12):108650.	Original Article
353	Ueda H, Takahashi H, Akita H, et al	消化器外科	Prognostic impact of aberrant right hepatic artery involvement in patients with pancreatic cancer: A multicenter retrospective cohort study.	J Surg Oncol. 2024 Sep ; 130(3):504–515.	Original Article
354	Hasegawa M, Ogino T, Sekido Y, et al	消化器外科	Surgical approach for a refractory enterocutaneous fistula by combining laparoscopic surgery and a planned open conversion: a case report.	Surg Case Rep. 2024 Aug 14 ; 10(1):186. (オンライン)	Original Article
355	Itami T, Kurokawa Y, Yoshioka R, et al	消化器外科	Measuring serum and drainage fluid interleukin-6 and tumor necrosis factor- α levels for early detection of infectious complications after minimally invasive surgery for gastric cancer.	Eur J Surg Oncol. 2024 Oct ; 50(10):108564.	Original Article
356	Hamabe A, Takemasa I, Ishii M, et al	消化器外科	The potential of an artificial intelligence for diagnosing MRI images in rectal cancer: multicenter collaborative trial.	J Gastroenterol. 2024 Oct ; 59(10):896–904.	Original Article

357	Kawabata K, Takahashi T, Tanaka K, et al	消化器外科	Lipolysis-stimulated lipoprotein receptor promote lipid uptake and fatty acid oxidation in gastric cancer.	Gastric Cancer. 2024 Nov ; 27(6):1258-1272.	Original Article
358	Miyo M, Takemasa I, Okuya K, et al	消化器外科	Questionnaire to Survey Cosmetic Outcomes in Laparoscopic Surgery for Colorectal Cancer.	Ann Surg Open. 2024 Jul 8 ; 5(3):e443. (オンライン)	Original Article
359	Toyoda Y, Hayashi R, Miyoshi N, et al	消化器外科	A Case of Transanal Endoscopic Excision for Rectal Tumor Using Surgical Instruments With Multi-jointed Structures.	In Vivo. 2024 Sep-Oct ; 38(5):2565-2569.	Case Report
360	Kawabata K, Takahashi T, Funaki S, et al	消化器外科	Laparoscopically assisted diaphragmatic hernia repair with mesh and a myocutaneous flap after left ventricular assist device explantation: A case report.	Asian J Endosc Surg. 2024 Oct ; 17(4):e13372.	Case Report
361	Tanaka K, Fujita T, Nakajima Y, et al	消化器外科	Validation of the cutoff values for the number of metastatic lymph nodes for esophageal cancer staging: a multi-institutional analysis of 655 patients in Japan.	Esophagus. 2024 Oct ; 21(4):464-471.	Original Article
362	Matsuda H, Iwahori K, Takeoka T, et al	消化器外科	Helicobacter pylori Infection Affects the Tumor Immune Microenvironment of Esophageal Cancer Patients.	Anticancer Res. 2024 Sep ; 44(9):3799-3805.	Original Article
363	Noma T, Makino T, Ohshima K, et al	消化器外科	CD45RO-Positive Memory T-Cell Density in the Tumoral Core and Invasive Margin Predict Long-Term Survival in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Ann Surg Oncol. 2025 Mar ; 32(3):1953-1962.	Original Article
364	Tomimaru Y, Kobayashi S, Sasaki K, et al	消化器外科	Impact of a robotic approach on hypoattenuated area formation leading to postoperative pancreatic fistula in patients after pancreatoduodenectomy.	Surg Endosc. 2025 Apr ; 39(4):2561-2570.	Original Article
365	Takeda M, Yoshida S, Inoue T, et al	消化器外科	The Role of KRAS Mutations in Colorectal Cancer: Biological Insights, Clinical Implications, and Future Therapeutic Perspectives.	Cancers (Basel). 2025 Jan 27 ; 17(3):428. (オンライン)	Original Article
366	Yokouchi T, Masunaga T, Miyazaki K, et al	消化器外科	Novel device for blunt dissection in third space endoscopy: Preliminary animal study (with video).	Endosc Int Open. 2025 Feb 5 ; 13:a25145464. (オンライン)	Original Article

367	Itami T, Kurokawa Y, Hagi T, et al	消化器外科	Sympathetic innervation induced by nerve growth factor promotes malignant transformation in gastric cancer.	Sci Rep. 2025 Jan 30 ; 15(1):3824. (オンライン)	Original Article
368	Kurokawa Y, Saito T, Yamamoto K, et al	消化器外科	y-shaped side overlap esophagogastrostomy in proximal gastrectomy.	Ann Gastroenterol Surg. 2024 Sep 17 ; 9(1):205-210. (オンライン)	Original Article
369	Noma T, Makino T, Doki Y	消化器外科	ASO Author Reflections: CD45RO-Positive Memory T Cell Density in the Tumoral Core and Invasive Margin as an Immune-Related Prognostic Marker in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Ann Surg Oncol. 2025 Apr ; 32(4):2702-2703.	Original Article
370	Harino T, Tanaka K, Motooka D, et al	消化器外科	D-loop mutations in mitochondrial DNA are a risk factor for chemotherapy resistance in esophageal cancer.	Sci Rep. 2024 Dec 30 ; 14(1):31653. (オンライン)	Original Article
371	Yukawa Y, Yamashita K, Momose K, et al	消化器外科	A purely laparoscopic approach can reduce the incidence of postoperative pneumonia in esophageal cancer patients undergoing esophagectomy.	Esophagus. 2025 Apr ; 22(2):157-165.	Original Article
372	Takahashi H, Saso K, Ohue M, et al	消化器外科	Efficacy of lymph node dissection around the inferior mesenteric artery with preservation of the left colic artery for rectal cancer.	Ann Gastroenterol Surg. 2024 Oct 11 ; 9(2):298-308. (オンライン)	Original Article
373	Kawabata K, Takahashi T, Nishida T, et al	消化器外科	(18)F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography-computed tomography as a prognostic marker of imatinib-resistant gastrointestinal stromal tumors.	Surg Today. 2025 Mar 28.	Original Article
374	Imamura H, Tomimaru Y, Kobayashi S, et al	消化器外科	Adipose-derived stem cells using fibrin gel as a scaffold enhances post-hepatectomy liver regeneration.	Sci Rep. 2025 Feb 21 ; 15(1):6334. (オンライン)	Original Article
375	Fukada A, Ogino T, Fujimoto Y, et al	消化器外科	A proactive technique for reversal of Hartmann's procedure: lifting the rectal stump to the abdominal wall.	Tech Coloproctol. 2025 Mar 24 ; 29(1):85. (オンライン)	Case Report
376	Imamura H, Tomimaru Y, Kobayashi S, et al	消化器外科	The Charlson Comorbidity Index Predicts Clinically Relevant Postoperative Pancreatic Fistula in Patients Undergoing Distal Pancreatectomy Not Pancreaticoduodenectomy.	World J Surg. 2025 May ; 49(5):1298-1305.	Original Article

377	Takaichi S, Tomimaru Y, Kobayashi S, et al	消化器外科	Impact of Abdominal Aortic Calcification on Pancreas Graft Survival in Patients Undergoing Simultaneous pancreas-kidney Transplantation.	Pancreas. 2025 Mar 18.	Original Article
378	Mori R, Ogino T, Murakami M, et al	消化器外科	Group 1 innate lymphoid cells and inflammatory macrophages exacerbate fibrosis in creeping fat through IFN- γ secretion.	J Gastroenterol. 2025 Mar 29.	Original Article
379	Toya K, Tomimaru Y, Kobayashi S, et al	消化器外科	Possibility of incorrect evaluation of intraoperative blood loss during open and laparoscopic distal pancreatectomy.	Ann Gastroenterol Surg. 2025 Jan 6 ; 9(3):569-577. (オンライン)	Original Article
380	Takeda Y, Yamada D, Kobayashi S, et al	消化器外科	MicroRNA-26a-5p is a reliable biomarker in the adjuvant setting for pancreatic ductal adenocarcinoma.	PLoS One. 2024 Sep 17 ; 19(9):e0310328. (オンライン)	Original Article
381	Kusunoki C, Uemura M, Osaki M, et al	消化器外科	Postoperative venous thromboembolism after surgery for locally recurrent rectal cancer.	BMC Cancer. 2024 Aug 20 ; 24(1):1027. (オンライン)	Original Article
382	Kusunoki C, Uemura M, Osaki M, et al	消化器外科	Reduced port laparoscopic rectopexy for full-thickness rectal prolapse.	BMC Surg. 2024 Sep 3 ; 24(1):246. (オンライン)	Original Article
383	Teranishi R, Takahashi T, Kurokawa Y, et al	消化器外科	Pancreas-left gastric artery angle predicts difficulty of suprapancreatic lymph node dissection in gastrectomy for gastric cancer: a cross-sectional study.	Surg Today. 2025 Feb ; 55(2):180-187.	Original Article
384	Tokuyama S, Kato H, Takahashi H, et al	消化器外科	BRAF V600E-induced distinct DNA damage response defines the therapeutic potential of p53 activation for TP53 wild-type colorectal cancer.	Carcinogenesis. 2024 Nov 22 ; 45(11):857-867.	Original Article
385	Hamabe A, Takemasa I, Kotake M, et al	消化器外科	Feasibility of robotic-assisted surgery in advanced rectal cancer: a multicentre prospective phase II study (VITRUVIANO trial).	BJS Open. 2024 May 8 ; 8(3):zrae048.	Original Article
386	Mizumoto R, Miyoshi N, Inoue T, et al	消化器外科	Laparoscopic Colectomy for Cecal Cancer and Intestinal Malrotation: A Case Report.	Cancer Diagn Progn. 2024 May 3 ; 4(3):264-269. (オンライン)	Original Article

387	Sugimoto T, Iwagami Y, Kobayashi S, et al	消化器外科	ASO Author Reflections: A Novel Mechanism of Anticancer Effect of Skeletal Muscle-Derived Irisin in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma.	Ann Surg Oncol. 2024 Aug ; 31(8):5000-5001.	Original Article
388	Itami T, Yamamoto K, Kurokawa Y, et al	消化器外科	Assessing the Risk of Postoperative Delirium Through Comprehensive Geriatric Assessment and Eastern Cooperative Oncology Group Performance Status of Elderly Patients With Gastric Cancer.	Ann Surg Oncol. 2024 Dec ; 31(13):9039-9047.	Original Article
389	Haruna K, Minami S, Miyoshi N, et al	消化器外科	Examination of Sarcopenia with Obesity as a Prognostic Factor in Patients with Colorectal Cancer Using the Psoas Muscle Mass Index.	Cancers (Basel). 2024 Oct 9 ; 16(19):3429. (オンライン)	Original Article
390	Ogino T, Sekido Y, Mizushima T, et al	消化器外科	Temporary loop end ileostomy reduces the risk of stoma outlet obstruction: a comparative clinical study in patients undergoing restorative proctocolectomy and ileal pouch-anal anastomosis.	Surg Today. 2025 May ; 55(5):638-645.	Original Article
391	Nagano S, Fujii S, Momose K, et al	消化器外科	Role of dedicated port cleaning devices in laparoscopic surgery.	Surg Endosc. 2024 Dec ; 38(12):7613-7620.	Original Article
392	Okimura S, Nishida N, Takahashi H, et al	消化器外科	Lymphocyte Antigen 6 Family Member D (LY6D) Affects Stem Cell Phenotype and Progression of Pancreatic Adenocarcinoma.	Anticancer Res. 2024 Nov ; 44(11):4737-4749.	Original Article
393	Hayashi Y, Odagiri K, Ishii Y, et al	消化器外科	Three-dimensional semiquantitative evaluation of reactive emphysema in magnesium implant models.	Minim Invasive Ther Allied Technol. 2025 Apr ; 34(2):136-143.	Original Article
394	Ueda H, Takahashi H, Sakaniwa R, et al	消化器外科	Preoperative treatment response prediction for pancreatic cancer by multiple microRNAs in plasma exosomes: Optimization using machine learning and network analysis.	Pancreatology. 2024 Nov ; 24(7):1097-1106.	Original Article
395	Ueda H, Takahashi H, Kobayashi S, et al	消化器外科	miR-6855-5p Enhances Radioresistance and Promotes Migration of Pancreatic Cancer by Inducing Epithelial-Mesenchymal Transition via Suppressing FOXA1: Potential of Plasma Exosomal miR-6855-5p as an Indicator of Radiosensitivity in Patients with Pancreatic	Ann Surg Oncol. 2025 Feb ; 32(2):720-735.	Original Article

396	Yamamoto K	消化器外科	ASO Author Reflections: A Simpler Predictor of Postoperative Delirium in Elderly Gastric Cancer Patients.	Ann Surg Oncol. 2024 Dec ; 31(13):9056.	Original Article
397	Ueda H, Takahashi H, Kobayashi S, et al	消化器外科	ASO Author Reflections: Potential of Peripheral Plasma Exosomal miRNA: miR-6855-5p Could Predict Radiosensitivity in Patients with Pancreatic Cancer, and Enhances Radioresistance.	Ann Surg Oncol. 2025 Jan ; 32(1):529-530.	Original Article
398	Miyoshi N, Uemura M, Noura S, et al	消化器外科	Tolerability and Safety Assessment of Adjuvant Chemoradiotherapy with S-1 after Limited Surgery for T1 or T2 Lower Rectal Cancer.	Cancers (Basel). 2024 Sep 30 ; 16(19):3360. (オンライン)	Original Article
399	Kusunoki C, Uemura M, Takeda M, et al	消化器外科	Assessing risk factors for elevated creatine kinase levels as an indicator of compartment syndrome following laparoscopic or robot-assisted colorectal cancer surgery in the lithotomy-trendelenburg position.	Surg Endosc. 2024 Oct ; 38(10):6139-6145.	Original Article
400	Urabe S, Hata T, Kobayashi E, et al	消化器外科	Development of novel rectal/uterine clamping device.	Sci Rep. 2024 Oct 3 ; 14(1):22960. (オンライン)	Original Article
401	Makino T, Yamasaki M, Nakai S, et al	消化器外科	Surgical and long-term outcomes of combined organ resection for esophageal cancer invading adjacent organs: Experience of 90 consecutive cases.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2025 Jan 24:S0022-5223(25)00088-1.	Original Article
402	Miyazaki H, Ogino T, Sekido Y, et al	消化器外科	Case series of small bowel adenocarcinoma associated with Crohn's disease.	Clin J Gastroenterol. 2025 Apr ; 18(2):293-301.	Case Report
403	Nagano S, Kurokawa Y, Hagi T, et al	消化器外科	Extensive methylation analysis of circulating tumor DNA in plasma of patients with gastric cancer.	Sci Rep. 2024 Dec 28 ; 14(1):30739. (オンライン)	Original Article
404	Mizumoto R, Miyoshi N, Hayashi R, et al	消化器外科	Usefulness of a powered circular stapler compared with a manual circular stapler in patients undergoing colorectal cancer surgery: A retrospective cohort study and systematic review.	Oncol Lett. 2024 Aug 22 ; 28(5):507. (オンライン)	Original Article
405	Kanemoto Y, Sanada F, Shibata K, et al	乳腺・内分泌外科	Expression of Periostin Alternative Splicing Variants in Normal Tissue and Breast Cancer.	Biomolecules. 2024 Aug 31 ; 14(9):1093. (オンライン)	Original Article

406	Yoshinami T, Nozawa K, Yokoe T, et al	乳腺・内分泌外科	Comparison between a single dose of PEG G-CSF and multiple doses of non-PEG G-CSF: a systematic review and meta-analysis from Clinical Practice Guidelines for the use of G-CSF 2022.	Int J Clin Oncol. 2024 Jun ; 29(6):681-688.	Original Article
407	Shimoda M, Sato Y, Abe K, et al	乳腺・内分泌外科	Prognostic value of serum tartrate-resistant acid phosphatase (TRAP) for bone metastasis in patients with resectable breast cancer.	Oncol Lett. 2024 Apr 5 ; 27(6):250. (オンライン)	Original Article
408	Yoshinami T, Nagai SE, Hattori M, et al	乳腺・内分泌外科	Real-world progression-free survival and overall survival of palbociclib plus endocrine therapy (ET) in Japanese patients with hormone receptor-positive/human epidermal growth factor receptor 2-negative advanced breast cancer in the first-line or second-	Breast Cancer. 2024 Jul ; 31(4):621-632.	Original Article
409	Yoshinami T	乳腺・内分泌外科	Perspectives for the clinical application of ctDNA analysis to breast cancer drug therapy.	Breast Cancer. 2025 Jan ; 32(1):1-9.	Original Article
410	Usui T, Miyake T, Watabe T, et al	乳腺・内分泌外科	Preclinical evaluation of (64)Cu-labeled cetuximab in immuno-PET for detecting sentinel lymph node metastasis in epidermal growth factor receptor-positive breast cancer.	Breast Cancer Res. 2025 Mar 7 ; 27(1):33. (オンライン)	Original Article
411	Sota Y, Seno S, Naoi Y, et al	乳腺・内分泌外科	IRSN-23 gene diagnosis enhances breast cancer subtype classification and predicts response to neoadjuvant chemotherapy: new validation analyses.	Breast Cancer. 2025 May ; 32(3):566-581.	Original Article
412	Abe K, Watabe T, Kaneda-Nakashima K, et al	乳腺・内分泌外科	Evaluation of Targeted Alpha Therapy Using [(211)At]FAP11 in Triple-Negative Breast Cancer Xenograft Models.	Int J Mol Sci. 2024 Oct 28 ; 25(21):11567. (オンライン)	Original Article
413	Takase K, Ueno T, Matsumoto S, et al	小児外科	Impact of follow-up liver biopsy on long-term outcomes post-Kasai procedure in patients with biliary atresia.	Pediatr Surg Int. 2025 Feb 28 ; 41(1):88. (オンライン)	Original Article
414	Yoshinaga Y, Soma T, Oie Y, et al	AI医療センター	Continuous Corneal Endothelial Damage by Chlorhexidine Alcohol Used for Disinfection in Nonophthalmic Surgery.	Eye Contact Lens. 2024 Jun 1 ; 50(6):276-278.	Case Report
415	Kubota H, Fukushima Y, Kawasaki R, et al	AI医療センター	Continuous oxygen saturation and risk of retinopathy of prematurity in a Japanese cohort.	Br J Ophthalmol. 2024 Aug 22 ; 108(9):1275-1280. (オンライン)	Original Article

416	Goto S, Maeda N, Ohnuma K, et al	AI医療センター	Impact of segmented optical axial length on the performance of intraocular lens power calculation formulas.	J Cataract Refract Surg. 2024 May 1 ; 50(5):492-497.	Original Article
417	Tanikawa A, Maruyama K, Liu S, et al	AI医療センター	Unveiling Key Pathological Indicators for Disease Progression in Vogt Koyanagi Harada Disease and Sympathetic Ophthalmia Through Advanced Choroidal Volume Analysis.	Ocul Immunol Inflamm. 2024 Nov ; 32(9):2170-2178.	Original Article
418	Kai C, Oie Y, Nishida N, et al	AI医療センター	Associations Between Visual Functions and Severity Gradings, Corneal Scatter, or Higher-Order Aberrations in Fuchs Endothelial Corneal Dystrophy.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2024 Jun 3 ; 65(6):15.	Original Article
419	Kobayashi R, Hashida N	AI医療センター	Overview of Cytomegalovirus Ocular Diseases: Retinitis, Corneal Endotheliitis, and Iridocyclitis.	Viruses. 2024 Jul 11 ; 16(7):1110. (オンライン)	Original Article
420	Kubo K, Oie Y, Koto R, et al	AI医療センター	Analysis of Corneal Phenotypes in Japanese Patients With Myotonic Dystrophy Type 1.	Cornea. 2025 Apr 1 ; 44(4):412-417.	Original Article
421	Kinoshita M, Sakimoto S, Suzue M, et al	AI医療センター	Ultra-Widefield OCT Images of Proliferative Vitreoretinopathy under Silicone Oil.	Case Rep Ophthalmol. 2025 Jan 7 ; 16(1):57-61. (オンライン)	Case Report
422	Iwasaki R, Kitaguchi Y, Morimoto T, et al	AI医療センター	Safety and aesthetic outcomes of silicone buckles as an implant for anophthalmic sockets: a decade of experience in Japan.	Jpn J Ophthalmol. 2025 Mar ; 69(2):214-220.	Original Article
423	Huang W, Matsushita K, Kawashima R, et al	AI医療センター	Transient ocular hypertension remodels astrocytes through S100B.	PLoS One. 2025 Feb 5 ; 20(2):e0313556. (オンライン)	Original Article
424	Fujimoto S, Maruyama K, Shunto T, et al	AI医療センター	Serous retinal detachment secondary to bilateral choroidal osteoma successfully treated with subscleral sclerectomy: A case report.	Am J Ophthalmol Case Rep. 2025 Jan 7 ; 37:102249. (オンライン)	Case Report
425	Suwa T, Kitaguchi Y, Maeda Y, et al	AI医療センター	Combined Upper Fornix Transconjunctival and Endoscopic Transnasal Approach for Frontoethmoidal Osteoma with Orbital Extension - A Case Report.	Ann Maxillofac Surg. 2024 Jul-Dec ; 14(2):248-251.	Case Report

426	Kinoshita M, Koh S, Inoue R, et al	AI医療センター	Long-Term Changes in Corneal Power in Young Patients With Progressive and Nonprogressive Keratoconus.	Eye Contact Lens. 2025 Feb 13 ; 51(5):209-213. (オンライン)	Original Article
427	Koh S, AmbrA3sio R Jr, Inoue R, et al	AI医療センター	Predictive value of enhanced corneal biomechanical parameters for ectasia progression.	Jpn J Ophthalmol. 2025 Mar ; 69(2):174-181.	Original Article
428	Nakano S, Koh S, Tsukidate S, et al	AI医療センター	The keratoconic kaleidoscope.	Eye (Lond). 2025 Feb 6.	Original Article
429	Fukushima Y, Takahashi S, Nakamura M, et al	AI医療センター	An Association between HTRA1 and TGF- β 2 in the Vitreous Humor of Patients with Choriorretinal Vascular Diseases.	J Clin Med. 2024 Aug 27 ; 13(17):5073. (オンライン)	Original Article
430	Takayanagi H, Hayashi R	AI医療センター	Status and prospects for the development of regenerative therapies for corneal and ocular diseases.	Regen Ther. 2024 Sep 17 ; 26:819-825. (オンライン)	Original Article
431	Shiraki A, Shiraki N, Maruyama K, et al	AI医療センター	Negative impact of internal limiting membrane peeling in vitreous hemorrhage secondary to retinal vein occlusion with macular ischemia.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2025 Feb ; 263(2):369-377.	Original Article
432	Iwamoto Y, Koh S, Inoue R, et al	AI医療センター	What Happens 20 to 30 years After Radial Keratotomy? Case Series.	Eye Contact Lens. 2024 Jul 1 ; 50(7):329-331.	Original Article
433	Nishida K, Kawasaki R, Fukushima Y, et al	AI医療センター	Morphology, Fundus Autofluorescence, and Retinal Sensitivity of Photocoagulated Lesions in Proliferative Diabetic Retinopathy.	Transl Vis Sci Technol. 2024 Jul 1 ; 13(7):1.	Original Article
434	Shiraki A, Shiraki N, Sakimoto S, et al	AI医療センター	Intraoperative challenges and management of fibrovascular membrane with tractional retinoschisis in proliferative diabetic retinopathy.	BMC Ophthalmol. 2024 Jul 20 ; 24(1):299. (オンライン)	Case Report
435	Shiraki A, Hirayama A, Fuse N, et al	AI医療センター	Prevalence and Associations of Epiretinal Membrane by OCT in a Japanese Population-Based Cohort: Tohoku Medical Megabank Organization Eye Study.	Ophthalmol Sci. 2025 Feb 26 ; 5(4):100752. (オンライン)	Original Article

436	Iwasaki R, Kitaguchi Y, Morimoto T, et al	AI医療センター	Postoperative outcomes of biopsy versus debulking surgery for immunoglobulin G4-related ophthalmic disease: a retrospective comparative study.	Jpn J Ophthalmol. 2025 Mar ; 69(2):203-213.	Original Article
437	Kuji T, Komoto S, Maruyama K, et al	AI医療センター	A rare case of infiltrative optic neuropathy caused by vitreoretinal lymphoma with hyperreflective deposits in the intraretinal and subretinal pigment epithelial layers prior to the disease onset.	BMC Ophthalmol. 2024 Nov 18 ; 24(1):504. (オンライン)	Case Report
438	Koh S, Inoue R, AmbrA3sio R Jr, et al	AI医療センター	Corneal Layer Thickness Mapping With Optical Coherence Tomography in Different Stages Reveals Pathologic Processes of Keratoconus.	Cornea. 2024 Sep 19.	Original Article
439	Kanai M, Sakimoto S, Suzue M, et al	AI医療センター	Long-term risk factors for poor visual outcomes in patients with epiretinal membrane and open-angle glaucoma: a retrospective study.	Sci Rep. 2024 Nov 19 ; 14(1):28660. (オンライン)	Original Article
440	Maeno S, Lewis PN, Young RD, et al	AI医療センター	Imaging pathology in archived cornea with Fuchs' endothelial corneal dystrophy including tissue reprocessing for volume electron microscopy.	Sci Rep. 2024 Dec 30 ; 14(1):31786. (オンライン)	Original Article
441	Nishida K, Maeno T, Nishida K	AI医療センター	Comment on, Early versus Delayed Vitrectomy for Vitreous Haemorrhage Secondary to Proliferative Diabetic Retinopathy.	Am J Ophthalmol. 2025 Apr ; 272:180.	Letter
442	Asao K, Hashida N, Maruyama K, et al	AI医療センター	Cases of endophthalmitis caused by <i>Candida albicans</i> and <i>Candida dubliniensis</i> identified via internal transcribed spacer deep sequencing.	BMC Ophthalmol. 2024 Oct 9 ; 24(1):444. (オンライン)	Case Report
443	Iwama Y, Sugase-Miyamoto Y, Onoue K, et al	AI医療センター	Transplantation of human pluripotent stem cell-derived retinal sheet in a primate model of macular hole.	Stem Cell Reports. 2024 Nov 12 ; 19(11):1524-1533.	Original Article
444	Koh S, Nishida K	AI医療センター	Remarkable longevity: punctal plugs lasting 19 years.	Eye (Lond). 2025 Feb ; 39(Suppl 1):94-95.	Original Article
445	Soma T, Oie Y, Takayanagi H, et al	AI医療センター	Induced pluripotent stem-cell-derived corneal epithelium for transplant surgery: a single-arm, open-label, first-in-human interventional study in Japan.	Lancet. 2024 Nov 16 ; 404(10466):1929-1939.	Original Article

446	Ueda C, Sakimoto S, Yoshihara M, et al	AI医療センター	Endothelial activating transcription factor 3 promotes angiogenesis and vascular repair in the mouse retina.	iScience. 2024 Dec 2 ; 28(1):111516. (オンライン)	Original Article
447	Yamada K, Oie Y, Nishida N, et al	AI医療センター	Quality of Life Survey Using NEI VFQ-25 in Japanese Patients With Fuchs Endothelial Corneal Dystrophy.	Eye Contact Lens. 2025 Mar 1 ; 51(3):e135-e141.	Original Article
448	Hosokawa K, Nozawa M, Otami Y, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Sex Differences in Predicting Difficult Laryngeal Exposure: Validation and Modification of Predictive Models.	J Voice. 2024 Aug 24:S0892-1997(24)00253-4.	Original Article
449	Lee WH, Takenaka Y, Hosokawa K, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Changes in serum lactate dehydrogenase as a prognostic factor in patients with head and neck squamous cell carcinoma treated with immune checkpoint inhibitors.	Acta Otolaryngol. 2024 May-Jun ; 144(5-6):398-403.	Original Article
450	Tamura K, Takeda K, Tsuda T, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	A Rare Case of Fungal Granuloma Confined to the Nasal Septum.	Cureus. 2024 Jul 26 ; 16(7):e65414. (オンライン)	Case Report
451	Fukuda M, Okanishi H, Ino D, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Disturbance in the protein landscape of cochlear perilymph in an Alzheimer's disease mouse model.	PLoS One. 2024 May 10 ; 19(5):e0303375. (オンライン)	Original Article
452	Harada S, Koyama Y, Imai T, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	A mouse model of autoimmune inner ear disease without endolymphatic hydrops.	Biochim Biophys Acta Mol Basis Dis. 2024 Jun ; 1870(5):167198.	Original Article
453	Takenaka Y, Takemoto N, Otsuka T, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Validation and comparison of prognostic scoring systems in patients with head and neck squamous cell carcinoma treated with nivolumab.	Jpn J Clin Oncol. 2024 Jul 7 ; 54(7):761-769.	Original Article
454	Harada S, Koyama Y, Yoshioka Y, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Visualization of Reissner's membrane in the mouse inner ear using highly sensitive magnetic resonance imaging analysis.	Biochem Biophys Res Commun. 2024 Sep 3 ; 723:150153.	Original Article
455	Imai T, Higashi-Shingai K, Morimoto T, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Vertical infantile nystagmus: Explanation of why the direction of nystagmus is vertical.	Auris Nasus Larynx. 2024 Aug ; 51(4):728-732.	Case Report

456	Tamura K, Takenaka Y, Hosokawa K, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Effect of immortal time bias on the association between immune-related adverse events and oncological outcomes following immune checkpoint inhibitors therapy for head and neck	PLoS One. 2024 Nov 25 ; 19(11):e0314209. (オンライン)	Original Article
457	Kawabe T, Kawashima K, Nagai Y, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Evaluation of the preventive effect of sublingual immunotherapy for pediatric bronchial asthma.	Auris Nasus Larynx. 2024 Dec ; 51(6):1031-1036.	Original Article
458	Hosokawa K, Takenaka Y, Sato T, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Small-cell carcinoma in the head and neck region: A propensity score-matched analysis of the effect of surgery.	PLoS One. 2024 Oct 24 ; 19(10):e0312455. (オンライン)	Original Article
459	Tatsuki S, Tsuda T, Takeda K, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	A Case of Pott's Puffy Tumor in a Patient With Eosinophilic Chronic Rhinosinusitis.	Cureus. 2024 May 23 ; 16(5):e60893. (オンライン)	Case Report
460	Sasa N, Kishikawa T, Mori M, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Intratumor heterogeneity of HPV integration in HPV-associated head and neck cancer.	Nat Commun. 2025 Jan 26 ; 16(1):1052. (オンライン)	Original Article
461	Tsuda T, Kumai T, Imoto Y, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Empowering Communication in Medicine: A Workshop Approach to Improve Presentation Skills for Ear, Nose, and Throat Specialists.	Cureus. 2024 Dec 24 ; 16(12):e76342. (オンライン)	Original Article
462	Kitayama I, Hosokawa K, Iwaki S, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Robust fundamental frequency-detection algorithm unaffected by the presence of hoarseness in human voice.	J Acoust Soc Am. 2024 Dec 1 ; 156(6):4217-4228.	Original Article
463	Sasa N, Kojima S, Koide R, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Blood DNA virome associates with autoimmune diseases and COVID-19.	Nat Genet. 2025 Jan ; 57(1):65-79.	Original Article
464	Fukuda M, Okanishi H, Ino D, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Protein profile of mouse endolymph suggests a role in controlling cochlear homeostasis.	iScience. 2024 Oct 19 ; 27(11):111214. (オンライン)	Original Article
465	Tsuda T, Hosokawa K, Fujii S, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	A Case of Sinonasal Inverted Papilloma Suspected as Postoperative Recurrence of Eosinophilic Chronic Rhinosinusitis.	Cureus. 2024 Sep 23 ; 16(9):e69971. (オンライン)	Case Report

466	Hayashi K, Horisaka K, Harada Y, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Polyploidy mitigates the impact of DNA damage while simultaneously bearing its burden.	Cell Death Discov. 2024 Oct 13 ; 10(1):436. (オンライン)	Original Article
467	Hosomi K, Katayama Y, Sakoda H, et al	脳卒中センター	Usefulness of Mirogabalin in Central Neuropathic Pain After Stroke: Post Hoc Analysis of a Phase A?3 Study by Stroke Type and Location.	Pain Ther. 2024 Oct ; 13(5):1151-1171.	Original Article
468	Fukuma R, Majima K, Kawahara Y, et al	脳卒中センター	Fast, accurate, and interpretable decoding of electrocorticographic signals using dynamic mode decomposition.	Commun Biol. 2024 May 18 ; 7(1):595. (オンライン)	Original Article
469	Nakamura N, Ninomiya K, Ishihara M, et al	脳卒中センター	Psoriasis vulgaris of the skin caused a L3-L4 lumbar epidural spinal abscess.	Surg Neurol Int. 2024 Apr 12 ; 15:125. (オンライン)	Case Report
470	Iwata T, Yanagisawa T, Ikegaya Y, et al	脳卒中センター	Hippocampal sharp-wave ripples correlate with periods of naturally occurring self-generated thoughts in humans.	Nat Commun. 2024 May 22 ; 15(1):4078. (オンライン)	Original Article
471	Mori N, Hosomi K, Nishi A, et al	脳卒中センター	Repetitive transcranial magnetic stimulation focusing on patients with neuropathic pain in the upper limb: a randomized sham-controlled parallel trial.	Sci Rep. 2024 May 23 ; 14(1):11811. (オンライン)	Original Article
472	Yamada S, Umehara T, Sonehara K, et al	脳卒中センター	Genome-wide association study on meningioma risk in Japan: a multicenter prospective study.	J Neurooncol. 2024 Sep ; 169(2):281-286.	Original Article
473	Tani N, DibuAc M, Verner R, et al	脳卒中センター	One-year seizure freedom and quality of life in patients with drug-resistant epilepsy receiving adjunctive vagus nerve stimulation in Japan.	Epilepsia Open. 2024 Dec ; 9(6):2154-2163.	Original Article
474	Iwata T, Yanagisawa T, Fukuma R, et al	脳卒中センター	Abnormal Synchronization Between Cortical Delta Power and Ripples in Hippocampal Sclerosis.	Ann Clin Transl Neurol. 2025 May ; 12(5):986-997.	Original Article
475	Mano T	脳卒中センター	RETRACTED: Mano, T. Application of Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation over the Dorsolateral Prefrontal Cortex in Alzheimer's Disease: A Pilot Study. J. Clin. Med. 2022, 11, 798.	J Clin Med. 2025 Feb 5 ; 14(3):1002. (オンライン)	Original Article

476	Yamada S, Nakamura H, Takenaka T, et al	脳卒中センター	Serum Sodium Levels to Predict Endovascular Treatment-Needed Vasospasm Following Low-Grade Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage: A Retrospective Multicenter Study.	J Neuroendovasc Ther. 2025 ; 19(1):2024-0078.	Original Article
477	Kadono Y, Maeno K, Kuramoto M, et al	脳卒中センター	Successful endovascular treatment for pediatric ruptured cervical spinal perimedullary arteriovenous fistula: A case report.	Radiol Case Rep. 2025 Mar 21 ; 20(6):2927-2930. (オンライン)	Case Report
478	Iwata T, Oshino S, Saitoh Y, et al	脳卒中センター	Appearance of fluid content in Rathke's cleft cyst is associated with clinical features and postoperative recurrence rates.	Pituitary. 2024 Jun ; 27(3):287-293.	Original Article
479	Tachi T, Kijima N, Kuroda H, et al	脳卒中センター	Antitumor effects of intracranial injection of B7-H3-targeted Car-T and Car-Nk cells in a patient-derived glioblastoma xenograft model.	Cancer Immunol Immunother. 2024 Oct 5 ; 73(12):256. (オンライン)	Original Article
480	Kadono Y, Maeno K	脳卒中センター	Transvenous embolization of a Borden III middle cranial fossa dural arteriovenous fistula through the vein of Trolard and superficial middle cerebral vein: A technical case report.	Radiol Case Rep. 2024 Sep 1 ; 19(11):5399-5403. (オンライン)	Case Report
481	Kuroda H, Kijima N, Tachi T, et al	脳卒中センター	Prostaglandin F2 receptor negative regulator as a potential target for chimeric antigen receptor-T cell therapy for glioblastoma.	Cancer Immunol Immunother. 2025 Mar 6 ; 74(4):136. (オンライン)	Original Article
482	Takenaka T, Nishida T, Takagaki M, et al	脳卒中センター	Ophthalmic Artery Feeders in Meningioma Reduce the Effectiveness of Transarterial Embolization With n-Butyl Cyanoacrylate.	World Neurosurg. 2025 Feb ; 194:123463.	Original Article
483	Kadono Y, Kajikawa R, Tsuzuki T, et al	脳卒中センター	Middle meningeal artery embolization for organized chronic subdural hematoma combined with minimal evacuation surgery: Two case reports.	Radiol Case Rep. 2024 Sep 25 ; 19(12):6328-6332. (オンライン)	Case Report
484	Ozaki T, Hiramatsu M, Nakamura H, et al	脳卒中センター	Classification, angioarchitecture and treatment outcomes of medullary bridging vein-draining dural arteriovenous fistulas in the foramen magnum region: a multicenter study.	Neuroradiology. 2025 Jan ; 67(1):213-225.	Original Article
485	Kuroda H, Khoo HM, Fujita Y, et al	脳卒中センター	Galvarial Thickening in Tuberos Sclerosis Complex.	World Neurosurg. 2024 Dec ; 192:e460-e467.	Original Article

486	Nakagawa R, Itokazu T, Shibuya N, et al	脳卒中センター	Perivascular Neutrophil Extracellular Traps Exacerbate Microvasospasm After Experimental Subarachnoid Hemorrhage.	Stroke. 2024 Dec ; 55(12):2872-2881.	Original Article
487	Chida D, Okita Y, Utsugi R, et al	脳卒中センター	Dynamic susceptibility contrast-enhanced perfusion magnetic resonance imaging parameters for predicting MGMT promoter methylation and prognostic value in newly diagnosed patients with	Oncol Lett. 2024 Oct 14 ; 28(6):610. (オンライン)	Original Article
488	Dong D, Hosomi K, Shimizu T, et al	脳卒中センター	Cross-Species Convergence of Functional Connectivity Changes in Thalamic Pain Across Human Patients and Model Macaques.	J Pain. 2024 Dec ; 25(12):104661.	Original Article
489	Fujinaga T, Maruo T, Kuramoto M, et al	脳卒中センター	Endovascular Treatment of Large Proximal Basilar Artery Fenestrated Aneurysms: Overlapping Stent with Coil Embolization-A Case Report.	NMC Case Rep J. 2024 Nov 16 ; 11:305-312. (オンライン)	Case Report
490	Kuroda H, Okita Y, Arisawa A, et al	脳卒中センター	Cerebral blood flow and histological analysis for the accurate differentiation of infiltrating tumor and vasogenic edema in glioblastoma.	PLoS One. 2025 Jan 10 ; 20(1):e0316168. (オンライン)	Original Article
491	Kimoto Y, Tani N, Emura T, et al	脳卒中センター	Beta-gamma phase-amplitude coupling of scalp electroencephalography during walking preparation in Parkinson's disease differs depending on the freezing of gait.	Front Hum Neurosci. 2024 Nov 13 ; 18:1495272. (オンライン)	Original Article
492	Fujita Y, Khoo HM, Kimoto Y, et al	脳卒中センター	Accuracy of Boltless Frame-Based Stereo-Electroencephalography Electrode Implantation.	Oper Neurosurg (Hagerstown). 2025 Jun 1 ; 28(6):788-795.	Original Article
493	Taenaka H, Wick KD, Sarma A, et al	麻酔科	Biological effects of corticosteroids on pneumococcal pneumonia in Mice-translational significance.	Crit Care. 2024 May 29 ; 28(1):185. (オンライン)	Original Article
494	Kikuchi K, Iura A, Hara N, et al	麻酔科	Anesthetic Management During Laparoscopic Liver Resection in a Patient With Fontan Physiology and High Central Venous Pressure.	J Cardiothorac Vasc Anesth. 2024 Aug ; 38(8):1742-1745.	Case Report
495	Taenaka H, Fang X, Maishan M, et al	麻酔科	Neutrophil reduction attenuates the severity of lung injury in the early phase of pneumococcal pneumonia in mice.	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol. 2024 Aug 1 ; 327(2):L141-L149.	Original Article

496	Yuba T, Koyama Y, Kinishi Y, et al	麻酔科	Analysis of Maternal and Fetal Oxidative Stress During Delivery with Epidural Analgesia.	Reprod Sci. 2024 Sep ; 31(9):2753-2762.	Original Article
497	Tanaka A, Yatabe T, Suhara T, et al	麻酔科	The optimal glycemic target in critically ill patients: an updated network meta-analysis.	J Intensive Care. 2024 Apr 14 ; 12(1):14. (オンライン)	Letter
498	Iwata H, Yoshida T, Hoshino T, et al	麻酔科	Electrical Impedance Tomography-based Ventilation Patterns in Patients after Major Surgery.	Am J Respir Crit Care Med. 2024 Jun 1 ; 209(11):1328-1337.	Original Article
499	Kinishi Y, Koyama Y, Yuba T, et al	麻酔科	Fever in childbirth: a mini-review of epidural-related maternal fever.	Front Neurosci. 2024 Apr 19 ; 18:1389132. (オンライン)	Original Article
500	Yuba T, Koyama Y, Ootaki C, et al	麻酔科	Effect of blood sample storage period on d-ROMs and BAP test data.	Heliyon. 2024 Jul 14 ; 10(14):e34573. (オンライン)	Original Article
501	Yuba T, Koyama Y, Kinishi Y, et al	麻酔科	The short term impact of radiofrequency ablative techniques and peripheral nerve block on thermoregulation in mouse models.	Sci Rep. 2024 Dec 28 ; 14(1):30956. (オンライン)	Original Article
502	Yuba T, Koyama Y, Takahashi A, et al	麻酔科	Association between oxidative stress and postoperative delirium in joint replacement using diacron-reactive oxygen metabolites and biological antioxidant potential tests.	Sci Rep. 2024 Dec 2 ; 14(1):29854. (オンライン)	Original Article
503	Hayashi Y, Miyake R, Sigurdsson G, et al	麻酔科	Immediate change following valve deployment in left ventricular systolic and diastolic functions in transcatheter aortic valve replacement: a retrospective cohort study.	J Thorac Dis. 2024 Sep 30 ; 16(9):5643-5649.	Original Article
504	Hoshino T, Yoshida T	麻酔科	Spontaneous breathing-induced lung injury in mechanically ventilated patients.	Curr Opin Crit Care. 2025 Feb 1 ; 31(1):5-11.	Original Article
505	Muratsu A, Oda S, Onishi S, et al	救命救急科	Bacterial sepsis causes more dramatic pathogenetic changes in the Th1 pathway than does viral (COVID-19) sepsis: a prospective observational study of whole blood transcriptomes.	Virol J. 2024 Aug 19 ; 21(1):190. (オンライン)	Original Article

506	Norii T, Igarashi Y, Yoshino Y, et al	救命救急科	The effects of bystander interventions for foreign body airway obstruction on survival and neurological outcomes: Findings of the MOCHI registry.	Resuscitation. 2024 Jun ; 199:110198.	Original Article
507	Tachino J, Togami Y, Matsumoto H, et al	救命救急科	Plasma proteomics profile-based comparison of torso versus brain injury: A prospective cohort study.	J Trauma Acute Care Surg. 2024 Oct 1 ; 97(4):557-565.	Original Article
508	Katayama Y, Tanaka K, Nakao S, et al	救命救急科	Factors associated with difficulty in hospital acceptance during the COVID-19 pandemic period in Osaka Prefecture, Japan: a population-based study.	Front Public Health. 2024 May 30 ; 12:1391519. (オンライン)	Original Article
509	Nakao S, Katsura M, Yagi M, et al	救命救急科	Assessing associated factors for failure of nonoperative management in pediatric blunt liver and spleen injuries: a secondary analysis of the SHIPPs study.	Eur J Trauma Emerg Surg. 2024 Oct ; 50(5):2249-2257.	Original Article
510	Tachino J, Demetriades AK, Peul W, et al	救命救急科	Effects of Concomitant Traumatic Spinal Cord and Brain Injury on In-Hospital Mortality: A Retrospective Analysis of a Nationwide Trauma Registry in Japan.	J Neurotrauma. 2024 Sep ; 41(17-18):2101-2113.	Original Article
511	Ofune K, Hirose T, Kai H, et al	救命救急科	A hidden danger: lung abscess following inhalation of kerosene-based pyrethroid insecticide spray.	Int J Emerg Med. 2025 Feb 11 ; 18(1):24. (オンライン)	Original Article
512	Nukiwa R, Oda S, Matsumoto H, et al	救命救急科	Changes in gene expression in healthcare workers during night shifts: implications for immune response and health risks.	J Intensive Care. 2025 Mar 11 ; 13(1):14. (オンライン)	Original Article
513	Norii T, Igarashi Y	救命救急科	Long-awaited evidence on back blows versus abdominal thrusts.	Resuscitation. 2024 Aug ; 201:110299.	Original Article
514	Ito H, Ebihara T, Matsumoto H, et al	救命救急科	Relationship between growth differentiation factor 15 and functional prognosis and severity in traumatic brain injury.	Sci Rep. 2025 Jan 20 ; 15(1):2470. (オンライン)	Original Article
515	Yoneda K, Hosomi S, Ito H, et al	救命救急科	How can heatstroke damage the brain? A mini review.	Front Neurosci. 2024 Oct 10 ; 18:1437216. (オンライン)	Original Article

516	Nishida T, Tachino J, Yokono Y, et al	救命救急科	Severe acute respiratory failure induced by TMP-SMX in a healthy adult with HLA-B*07:02 and HLA-C*07:02 alleles.	QJM. 2025 Feb 1 ; 118(2):129-131.	Original Article
517	Umemura Y, Yamakawa K, Mori H, et al	救命救急科	Validity of Diagnosis of Disseminated Intravascular Coagulation Based on International Classification of Diseases Coding in a Claims Database.	Thromb Haemost. 2024 Nov 18.	Original Article
518	Umemura Y, Okada N, Ogura H, et al	救命救急科	A machine learning model for early and accurate prediction of overt disseminated intravascular coagulation before its progression to an overt stage.	Res Pract Thromb Haemost. 2024 Jul 22 ; 8(5):102519. (オンライン)	Original Article
519	Ito H, Hosomi S, Nishida T, et al	救命救急科	A review on targeted temperature management for cardiac arrest and traumatic brain injury.	Front Neurosci. 2024 Oct 31 ; 18:1397300. (オンライン)	Original Article
520	Shimomura K, Ando W, Hart DA, et al	リハビリテーション部	A novel scaffold-free mesenchymal stem cell-derived tissue engineered construct for articular cartilage restoration - From basic to clinic.	Regen Ther. 2024 May 31 ; 26:124-131. (オンライン)	Original Article
521	Kanie Y, Takenaka S, Kitahara T, et al	リハビリテーション部	Appropriate pelvic obliquity measurement method in Lenke type 5C adolescent idiopathic scoliosis: a preliminary study.	J Spine Surg. 2024 Jun 21 ; 10(2):255-263.	Original Article
522	Ukon Y, Hosoya S, Morita K, et al	リハビリテーション部	Identification of unapproved orthopedic regenerative medicine: Usefulness of the Act on Safety of Regenerative Medicine.	Stem Cell Reports. 2024 May 14 ; 19(5):597-603.	Original Article
523	Oka K, Miyamura S, Shiode R, et al	リハビリテーション部	Intra-Articular Corrective Osteotomy for Distal Radial Intra-Articular Malunion Using Patient-Matched Instruments: A Prospective, Multicenter, Open-Label, Single-Arm Trial.	JB JS Open Access. 2024 Aug 19 ; 9(3):e24.00026. (オンライン)	Original Article
524	Ebina K, Etani Y, Noguchi T, et al	リハビリテーション部	Clinical effects of teriparatide, abaloparatide, and romosozumab in postmenopausal osteoporosis.	J Bone Miner Metab. 2025 Jan ; 43(1):3-9.	Original Article
525	Ukon Y, Kaito T, Hirai H, et al	リハビリテーション部	Cellular senescence by loss of Men1 in osteoblasts is critical for age-related osteoporosis.	Aging Cell. 2024 Oct ; 23(10):e14254.	Original Article

526	Miura T, Noguchi T, Hirao M, et al	リハビリテーション部	Mid-term Outcomes of Distal Tibial Oblique Osteotomy for Rheumatoid Arthritis-Associated Ankle Arthropathy: A Comparison with Osteoarthritis Outcomes.	Mod Rheumatol. 2025 Mar 7:roaf018.	Original Article
527	Kurihara T, Shimamura M, Etani Y, et al	リハビリテーション部	RANKL-derived peptide MHP1-AcN attenuates ovariectomy-induced osteoporosis by targeting RANK and TNFR1 in mice.	Bone. 2025 May ; 194:117440.	Original Article
528	Miura T, Kunugiza Y, Ogawa S, et al	リハビリテーション部	Obstructive sleep Apnoea in patients with knee osteoarthritis before total knee arthroplasty and its impact on post-operative recovery of blood oxygen concentrations.	Arch Orthop Trauma Surg. 2025 Mar 13 ; 145(1):187. (オンライン)	Original Article
529	Takashima K, Iwasa M, Ando W, et al	リハビリテーション部	Magnetic resonance imaging screening for A?osteonecrosis of A?the femoral head after coronavirus disease 2019.	Mod Rheumatol. 2024 Jul 6 ; 34(4):813-819.	Original Article
530	Sugimoto A, Ishibashi T, Yamazaki T, et al	リハビリテーション部	Detection of Multiple Tibial Malalignment-Induced Early Polyethylene Breakage Using Single Plane Fluoroscopy: A Case Report.	JBJS Case Connect. 2025 Jan 16 ; 15(1). (オンライン)	Case Report
531	Shimomura K, Tsuji A, Tanaka A, et al	リハビリテーション部	Bone-Patellar Tendon-Bone Versus Quadriceps Tendon-Bone Autografts in Anatomic Rectangular Tunnel Anterior Cruciate Ligament Reconstruction.	Orthop J Sports Med. 2024 Nov 27 ; 12(11):23259671241297104. (オンライン)	Original Article
532	Noguchi T, Hirao M, Tabuse Y, et al	リハビリテーション部	Modified scarf osteotomy has a possible capability to be indicated against very severe hallux valgus deformity.	BMC Musculoskelet Disord. 2024 Nov 29 ; 25(1):977. (オンライン)	Original Article
533	Kondo H, Shiode R, Miyamura S, et al	リハビリテーション部	Simultaneous Intra-articular and Extra-articular Corrective Osteotomies Using a Patient-Matched Surgical Guide and Plate for Malunion After Distal Radius Fractures: A Report of Two Cases.	J Am Acad Orthop Surg Glob Res Rev. 2025 Mar 4 ; 9(3):e24.00328. (オンライン)	Case Report
534	Noguchi T, Hirao M, Ebina K, et al	リハビリテーション部	Mid-term outcomes of distal tibial oblique osteotomy in patients with rheumatoid arthritis: A report of three cases.	Mod Rheumatol Case Rep. 2025 Jan 16 ; 9(1):15-19.	Case Report
535	Kazui A, Miyamura S, Shiode R, et al	リハビリテーション部	Association of dorsal malunion in distal radius fractures with wrist osteoarthritis: Alterations of bone density and stress-distribution patterns in relation to deformation angles.	Osteoarthritis Cartilage. 2025 Jan ; 33(1):146-154.	Original Article

536	Yamada Y, Wakamatsu T, Imura Y, et al	リハビリテーション部	Efficacy of surgery in the management of multiple recurrences of retroperitoneal dedifferentiated liposarcoma.	World J Surg Oncol. 2024 Oct 5 ; 22(1):265. (オンライン)	Original Article
537	Miyamura S, Shiode R, Iwahashi T, et al	リハビリテーション部	Estimating elbow loading conditions through the motion behaviors of subchondral bone density during joint movements.	Sci Rep. 2024 Nov 4 ; 14(1):26658. (オンライン)	Original Article
538	Ukon Y, Takenaka S, Hirai H, et al	リハビリテーション部	Establishment of Scoring to Predict Severe Complication After Pyogenic Spondylodiscitis Surgery.	Clin Spine Surg. 2025 Jan 29.	Original Article
539	Outani H, Ikegami M, Imura Y, et al	リハビリテーション部	Age-related genomic alterations and chemotherapy sensitivity in osteosarcoma: insights from cancer genome profiling analyses.	Int J Clin Oncol. 2025 Feb ; 30(2):397-406.	Original Article
540	Yoshimura Y, Iwahashi T, Kasuya T, et al	リハビリテーション部	Methylcobalamin-containing nanofiber sheets have better neuroprotective effects than small intestinal submucosa sheets.	Sci Rep. 2025 Jan 6 ; 15(1):950. (オンライン)	Original Article
541	Kitahara T, Tateiwa D, Hirai H, et al	リハビリテーション部	rhBMP-2-loaded hydroxyapatite/beta-tricalcium phosphate microsphere/hydrogel composite promotes bone regeneration in a novel rat femoral nonunion model.	Front Bioeng Biotechnol. 2024 Oct 7 ; 12:1461260. (オンライン)	Original Article
542	Kushioka J, Tada S, Takemura N, et al	リハビリテーション部	Deep learning-based screening for locomotive syndrome using single-camera walking video: Development and validation study.	PLOS Digit Health. 2024 Nov 26 ; 3(11):e0000668. (オンライン)	Original Article
543	Sabe H, Yahara Y, Ishii M	リハビリテーション部	Cell fusion dynamics: mechanisms of multinucleation in osteoclasts and macrophages.	Inflamm Regen. 2024 Nov 27 ; 44(1):49. (オンライン)	Original Article
544	Shimada T, Iwahashi T, Suzuki K, et al	リハビリテーション部	NeurotrophinAR alleviates nerve damage in a mouse chronic nerve compression model.	J Pharmacol Sci. 2025 Feb ; 157(2):88-95.	Original Article
545	Higuchi R, Uemura K, Kono S, et al	リハビリテーション部	Osteoporosis screening using X-ray assessment and osteoporosis self-assessment tool for Asians in hip surgery patients.	J Bone Miner Metab. 2025 Mar ; 43(2):158-165.	Original Article

546	Inoue A, Outani H, Imura Y, et al	リハビリテーション部	AURKA/PLK1/CDC25C Axis as a Novel Therapeutic Target in INI1-Deficient Epithelioid Sarcoma.	Cancer Sci. 2025 Apr ; 116(4):976-989.	Original Article
547	Ebina K, Kobayakawa T, Etani Y, et al	リハビリテーション部	Impact of prior teriparatide treatment on the effectiveness of romosozumab in patients with postmenopausal osteoporosis: A case-control study.	Bone. 2025 Apr ; 193:117389.	Original Article
548	Otani S, Tsujii A, Shimomura K, et al	リハビリテーション部	Locked Lateral Patellar Dislocation Reduced by Arthroscopic Procedure: A Case Report.	Cureus. 2024 Dec 27 ; 16(12):e76487. (オンライン)	Case Report
549	Hanai H, Hirose T, Nakai H, et al	リハビリテーション部	Early muscular training and immobilization in external rotation could reduce the recurrence rate in first-time shoulder dislocators among young rugby athletes.	J Shoulder Elbow Surg. 2025 Jun ; 34(6):e446-e454.	Original Article
550	Sahara W, Takagi K, Tada S, et al	リハビリテーション部	Muscle strength measurements reflecting the extent of complete subscapularis tears: reliability in patients with rotator cuff tears.	JSES Int. 2024 Sep 12 ; 9(1):109-115. (オンライン)	Original Article
551	Komatsu R, Mimura K, Matsuyama T, et al	産科・婦人科	Severe hemolysis, elevated liver enzymes, and low platelet syndrome requiring differentiation of thrombotic microangiopathy: Four cases from a nationwide survey in Japan.	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Jul ; 50(7):1258-1262.	Case Report
552	Ueda Y	産科・婦人科	Epidemiology of cervical cancer and HPV infection in Asia and Oceania.	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Oct ; 50 Suppl 1:31-41.	Original Article
553	Yagi A, Ueda Y, Oka E, et al	産科・婦人科	Even though active recommendation for HPV vaccination has restarted, Japan's rates have not recovered.	Cancer Sci. 2024 Jul ; 115(7):2410-2416.	Original Article
554	Shimizu A, Sawada K, Kobayashi M, et al	産科・婦人科	Patient-Derived Exosomes as siRNA Carriers in Ovarian Cancer Treatment.	Cancers (Basel). 2024 Apr 12 ; 16(8):1482. (オンライン)	Original Article
555	Yagi A, Ueda Y, Kimura T	産科・婦人科	HPV Vaccine Issues in Japan: A review of our attempts to promote the HPV vaccine and to provide effective evaluation of the problem through social-medical and behavioral-economic perspectives.	Vaccine. 2024 Sep 17 ; 42(22):125859.	Original Article

556	Matsuzaki S, Masjedi AD, Matsuzaki S, et al	産科・婦人科	Obstetric Characteristics and Outcomes of Gestational Carrier Pregnancies: A Systematic Review and Meta-Analysis.	JAMA Netw Open. 2024 Jul 1 ; 7(7):e2422634. (オンライン)	Original Article
557	Yagi A, Ueda Y, Oka E, et al	産科・婦人科	Human Papillomavirus Vaccination by Birth Fiscal Year in Japan.	JAMA Netw Open. 2024 Jul 1 ; 7(7):e2422513. (オンライン)	Original Article
558	Kanda M, Kumasawa K, Nemoto K, et al	産科・婦人科	The Effects of Low Concentrations of Pravastatin on Placental Cells.	Reprod Sci. 2024 Oct ; 31(10):3139-3147.	Original Article
559	Oka E, Ueda Y, Yagi A, et al	産科・婦人科	Challenges to promoting maternal respiratory syncytial virus vaccination in Japan.	Vaccine. 2025 Feb 27 ; 48:126767.	Original Article
560	Maeda M, Mabuchi S, Akazawa T, et al	産科・婦人科	Roles of C-reactive protein and LOX-1 on cancer and myeloid-derived suppressor cells in the progression of uterine cervical cancer.	Sci Rep. 2025 Mar 13 ; 15(1):8774. (オンライン)	Original Article
561	Bun M, Kawano M, Yamamoto G, et al	産科・婦人科	G-CSF induces neutrophil extracellular traps formation and promotes ovarian cancer peritoneal dissemination.	J Leukoc Biol. 2024 Nov 4 ; 116(5):1157-1168.	Original Article
562	Komatsu R, Nakamura H, Hosono T, et al	産科・婦人科	Local vaginal bioelectrical impedance can predict preterm delivery in mice.	Mol Hum Reprod. 2024 May 30 ; 30(6):gaae021.	Original Article
563	Kinose Y, Shimizu A, Kakuda M, et al	産科・婦人科	Laparoscopic surgery for left ovarian hemorrhage in a patient with an implantable left ventricular assist device on antithrombotic therapy and a history of right salpingo-oophorectomy open surgery for right ovarian bleeding:	Case Rep Womens Health. 2024 Nov 23 ; 44:e00669. (オンライン)	Case Report
564	Matsuo K, Einerson BD, Matsuzaki S, et al	産科・婦人科	Nationwide Assessment of Gestational Age Distribution at Delivery for Patients With Placenta Accreta Spectrum Disorder.	Obstet Gynecol. 2025 Jun 1 ; 145(6):654-663.	Original Article
565	Miyoshi A, Isohashi F, Fujii M, et al	産科・婦人科	The association between additional radiotherapy after systemic chemotherapy and the prognosis of stage FIGO 2018 IVB cervical cancer.	Int J Gynaecol Obstet. 2025 Mar 22.	Original Article

566	Handa M, Takiuchi T, Kawaguchi S, et al	産科・婦人科	Investigating dosage effects of ovulation inhibitors on oocyte maturation in assisted reproductive technology: A retrospective study among patients with normal ovarian reserve.	PLoS One. 2025 Jan 16 ; 20(1):e0317103. (オンライン)	Original Article
567	Yagi A, Ueda Y, Ikeda S, et al	産科・婦人科	A questionnaire survey of cervical and breast cancer screening among female employees and employees' spouses.	Sci Rep. 2025 Feb 12 ; 15(1):5277. (オンライン)	Original Article
568	Ohara Y, Matsubayashi H, Mizuta S, et al	産科・婦人科	Tailor-made embryo transfer considering embryonic developmental speed to overcome the dilemma of personalized embryo transfer.	Reprod Biomed Online. 2025 Feb ; 50(2):104405.	Original Article
569	Matsuzaki S, Ouzounian JG, Matsuo K	産科・婦人科	Distinct obstetrical characteristics and maternal mortality in patients with hemolysis, elevated liver enzymes, and low platelet count syndrome vs severe preeclampsia: a response.	Am J Obstet Gynecol. 2025 Mar ; 232(3):e118.	Letter
570	Ikeda S, Ueda Y, Yagi A, et al	産科・婦人科	Human papillomavirus vaccine to prevent CIN3 or worse (CIN3+): A nationwide case-control study in Japan.	Cancer Sci. 2025 Jan ; 116(1):226-232.	Original Article
571	Tani M, Hatano K, Yoshimura A, et al	がんゲノム医療センター	Cumulative incidence and risk factors for medication-related osteonecrosis of the jaw during long-term prostate cancer management.	Sci Rep. 2024 Jun 11 ; 14(1):13451. (オンライン)	Original Article
572	Kato T, Kawaguchi T, Funakoshi T, et al	がんゲノム医療センター	Efficacy of Magnesium Supplementation in Cancer Patients Developing Hypomagnesemia Due to Anti-EGFR Antibody: A Systematic Review.	Cancer Diagn Progn. 2024 Jul 3 ; 4(4):390-395. (オンライン)	Original Article
573	Kawashima A, Ishizuya Y, Yamamoto Y, et al	がんゲノム医療センター	Recent developments and future directions of first-line systemic therapy combined with immunotherapy for advanced or metastatic urothelial carcinoma: a historical perspective on treatment evolution.	Int J Clin Oncol. 2024 Aug ; 29(8):1096-1104.	Original Article
574	Segawa K, Yamamoto Y, Kato T, et al	がんゲノム医療センター	A case of malignant pheochromocytoma with neurofibromatosis type 1 having difficulty in differentiating spinal tumor.	IJU Case Rep. 2024 Jun 9 ; 7(4):336-340. (オンライン)	Case Report
575	Yamamoto Y, Nonomura N	がんゲノム医療センター	Editorial Comment to Survival beyond cabazitaxel for metastatic castration-resistant prostate cancer.	Int J Urol. 2024 Jul ; 31(7):831-832.	Original Article

576	Yoshimura A, Nagahara A, Ishizuya Y, et al	がんゲノム医療センター	The prognostic impact of peripheral blood eosinophil counts in metastatic renal cell carcinoma patients treated with nivolumab.	Clin Exp Med. 2024 May 23 ; 24(1):111. (オンライン)	Original Article
577	Liu Y, Hatano K, Nonomura N	がんゲノム医療センター	Liquid Biomarkers in Prostate Cancer Diagnosis: Current Status and Emerging Prospects.	World J Mens Health. 2025 Jan ; 43(1):8-27.	Original Article
578	Kuribayashi S, Fukuhara S, Kitakaze H, et al	がんゲノム医療センター	Association between serum testosterone changes and parameters of the metabolic syndrome.	Endocr J. 2024 Dec 2 ; 71(12):1125-1133.	Original Article
579	Yoshimura A, Kato T, Nakai Y, et al	がんゲノム医療センター	Clinical outcomes of first-line combination therapy with immune checkpoint inhibitor for metastatic non-clear cell renal cell carcinoma: a multi-institutional retrospective study in Japan.	Int J Clin Oncol. 2024 Dec ; 29(12):1916-1924.	Original Article
580	Nagahara A, Uemura M, Sato M, et al	がんゲノム医療センター	Determination of enzalutamide long-term safety and efficacy for castration-resistant prostate cancer patients after combined anti-androgen blockade followed by alternative anti-androgen therapy: a multicenter prospective DELC	Jpn J Clin Oncol. 2024 May 7 ; 54(5):584-591.	Original Article
581	Suzuki S, Yamamoto Y, Kato T, et al	がんゲノム医療センター	Postmortem genetic diagnosis of hereditary leiomyomatosis and renal cell carcinoma syndrome: Identification through normal kidney tissues after surgical removal.	IJU Case Rep. 2024 Dec 26 ; 8(2):109-113. (オンライン)	Original Article
582	Kawamura M, Matsumura S, Abe T, et al	がんゲノム医療センター	A novel Si-based antioxidant agent attenuates antibody-mediated rejection in allogeneic rat kidney transplantation.	Am J Transplant. 2025 May ; 25(5):943-953.	Original Article
583	Ishizuya Y, Kawashima A, Horibe Y, et al	がんゲノム医療センター	FAN score predicts prognosis after platinum-based first-line chemotherapy in patients with metastatic urothelial carcinoma.	Sci Rep. 2025 Feb 7 ; 15(1):4640. (オンライン)	Original Article
584	Kuribayashi S, Fukuhara S, Kitakaze H, et al	がんゲノム医療センター	Intratesticular creatine maintains spermatogenesis by defining tight junctions.	Sci Rep. 2024 Dec 28 ; 14(1):30692. (オンライン)	Original Article
585	Sekii Y, Kiuchi H, Takezawa K, et al	がんゲノム医療センター	Oxidative stress-induced NCC activation in the development of nocturnal polyuria in mice: Therapeutic potential of a sustained hydrogen-releasing silicon-based agent.	Biochem Biophys Rep. 2025 Jan 20 ; 41:101923. (オンライン)	Original Article

586	Yamamichi G, Kato T, Yoshimura A, et al	がんゲノム医療センター	Efficacy of Second-line Nivolumab Versus Tyrosine Kinase Inhibitors for Renal Cell Carcinoma With Bone Metastases.	Anticancer Res. 2025 Feb ; 45(2):639-650.	Original Article
587	Imanaka T, Takezawa K, Kujime Y, et al	がんゲノム医療センター	Decreased nitric oxide production is a novel therapeutic target for salt-induced nocturnal polyuria in aging.	Sci Rep. 2025 Jan 28 ; 15(1):3589. (オンライン)	Original Article
588	Honda H, Ueda N, Takezawa K, et al	がんゲノム医療センター	A case of right renal cell carcinoma with an inferior vena cava tumor thrombus extending above the diaphragm resected without cardiopulmonary bypass.	Urol Case Rep. 2025 Feb 10 ; 59:102982. (オンライン)	Case Report
589	Kakuta Y, Miyagawa S, Matsumura S, et al	がんゲノム医療センター	Complement and complement regulatory protein in allogeneic and xenogeneic kidney transplantation.	Transplant Rev (Orlando). 2025 Jan ; 39(1):100885.	Original Article
590	Kato T, Furukawa J, Hinata N, et al	がんゲノム医療センター	Real-world outcomes of avelumab plus axitinib in patients with advanced renal cell carcinoma in Japan: long-term follow-up from the J-DART2 retrospective study.	Int J Clin Oncol. 2025 Jan ; 30(1):99-109.	Original Article
591	Yamamoto A, Kawashima A, Sakai S, et al	がんゲノム医療センター	Serum D-asparagine concentration adjusted for eGFR could serve as a novel screening tool for urothelial carcinoma.	Biochem Biophys Res Commun. 2024 Nov 12 ; 733:150701.	Original Article
592	Hatano K	がんゲノム医療センター	Editorial Comment on "Management of apalutamide-induced rash with focus on early peaks".	Int J Urol. 2025 Jan ; 32(1):116.	Original Article
593	Fukae S, Yamanaka K, Matsumura S, et al	がんゲノム医療センター	Cranial neuropathy following coronavirus disease 2019 vaccination in kidney transplant recipients.	IJU Case Rep. 2024 Oct 2 ; 7(6):423-426. (オンライン)	Original Article
594	Yamamoto A, Kawashima A, Uemura T, et al	がんゲノム医療センター	A novel mouse model of upper tract urothelial carcinoma highlights the impact of dietary intervention on gut microbiota and carcinogenesis prevention despite carcinogen exposure.	Int J Cancer. 2025 Apr 1 ; 156(7):1439-1456.	Original Article
595	Tanaka R, Taniguchi A, Higa-Maegawa Y, et al	がんゲノム医療センター	The Development of a Predictive Model for Postoperative Renal Function in Living Kidney-Transplant Donors.	J Clin Med. 2024 Nov 23 ; 13(23):7090. (オンライン)	Original Article

596	Oka T, Hatano K, Tani M, et al	がんゲノム医療センター	PSA Kinetics Affect Prognosis in Patients With Castration-resistant Prostate Cancer Treated With Enzalutamide.	Cancer Diagn Progn. 2024 Nov 3 ; 4(6):706-714. (オンライン)	Original Article
597	Nonomura N, Ito T, Sato M, et al	がんゲノム医療センター	Post-marketing surveillance data for avelumab + axitinib treatment in patients with advanced renal cell carcinoma in Japan: Subgroup analyses by pathological classification.	Int J Urol. 2025 Mar ; 32(3):293-299.	Original Article
598	Tanaka R, Sakai S, Taniguchi A, et al	がんゲノム医療センター	Determination of urine volume and glomerular filtration rate using d-serine and d-asparagine.	Nephrol Dial Transplant. 2024 Nov 21:gfae279.	Original Article
599	Tanaka R, Kakuta Y, Imamura R, et al	がんゲノム医療センター	Oral administration of silicon-based agents attenuates renal fibrosis.	Biochem Biophys Res Commun. 2025 Jan ; 742:151041.	Original Article
600	Nonomura N, Ito T, Sato M, et al	がんゲノム医療センター	Final Analysis of Post-Marketing Surveillance for Avelumab + Axitinib in Patients With Renal Cell Carcinoma in Japan.	Cancer Med. 2025 Jan ; 14(2):e70275.	Original Article
601	Yamamichi G, Kato T, Arakawa N, et al	がんゲノム医療センター	GDF15 propeptide promotes bone metastasis of castration-resistant prostate cancer by augmenting the bone microenvironment.	Biomark Res. 2024 Nov 25 ; 12(1):147. (オンライン)	Original Article
602	Uemura T, Kawashima A, Jingushi K, et al	がんゲノム医療センター	Bacterial information in serum extracellular vesicles reflects the inflammation of adherent perinephric fat.	Cancer Sci. 2025 Feb ; 116(2):338-349.	Original Article
603	Nishio Y, Amemiya K, Oyama J	がんゲノム医療センター	Late-life parkinsonism in bipolar disorder.	Psychogeriatrics. 2025 Mar ; 25(2):e70006.	Original Article
604	Matsumoto D, Otani N, Seike S, et al	形成外科	Reconstruction with free jejunal flap in dystrophic epidermolysis bullosa complicated with hypopharyngeal cancer: A case report.	Microsurgery. 2024 Jul ; 44(5):e31207.	Case Report
605	Takahara M	臨床検査部	Diabetes mellitus and peripheral artery disease.	Diabetol Int. 2025 Jan 3 ; 16(1):7-12. (オンライン)	Original Article

606	Hata A	放射線部	Interstitial Lung Abnormalities at Clinical CT: Insights and Implications from a Large-Scale Study.	Radiology. 2024 Nov ; 313(2):e243020.	Original Article
607	Sato J, Sugimoto K, Suzuki Y, et al	放射線部	Annotation-free multi-organ anomaly detection in abdominal CT using free-text radiology reports: a multi-centre retrospective study.	EBioMedicine. 2024 Dec ; 110:105463.	Original Article
608	Kato Y, Kumanogoh A	病理部	The immune memory of innate immune systems.	Int Immunol. 2025 Mar 6 ; 37(4):195-202.	Original Article
609	Nakai R, Yokota T, Tokunaga M, et al	オンコロジーセンター	A newly identified gene Ahed plays essential roles in murine haematopoiesis.	Nat Commun. 2024 Jun 25 ; 15(1):5090. (オンライン)	Original Article
610	Wada S, Takeda T, Okada K, et al	医療情報部	Oversampling effect in pretraining for bidirectional encoder representations from transformers (BERT) to localize medical BERT and enhance biomedical BERT.	Artif Intell Med. 2024 Jul ; 153:102889.	Original Article
611	Sugimoto K, Wada S, Konishi S, et al	医療情報部	Assessment of Follow-Up for Pulmonary Nodules from Radiology Reports with Natural Language Processing.	Stud Health Technol Inform. 2024 Aug 22 ; 316:1795-1799.	Original Article
612	Sugimoto K, Wada S, Konishi S, et al	医療情報部	Automated Detection of Cancer-Suspicious Findings in Japanese Radiology Reports with Natural Language Processing: A Multicenter Study.	J Imaging Inform Med. 2025 Jan 22.	Original Article
613	Konishi K, Kutsuna S, Yamamoto K, et al	感染制御部	Travel-associated sexually transmitted infections in Japan: An observational study using imported infectious disease registry data.	Glob Health Med. 2024 Aug 31 ; 6(4):264-267.	Original Article
614	Onozuka D, Takatera S, Matsuo H, et al	感染制御部	Oral mouthwashes for asymptomatic to mildly symptomatic adults with COVID-19 and salivary viral load: a randomized, placebo-controlled, open-label clinical trial.	BMC Oral Health. 2024 Apr 25 ; 24(1):491. (オンライン)	Original Article
615	Kutsuna S, Ohbe H, Matsui H, et al	感染制御部	Exploring the efficacy of routine antimicrobial therapy in severe fever with thrombocytopenia syndrome: Overlap weighting analysis using a nationwide inpatient database.	J Infect Chemother. 2025 Jan ; 31(1):102457.	Original Article

616	Onozuka D, Konishi K, Takatera S, et al	感染制御部	A MULTICENTER, RANDOMIZED, OPEN-LABEL, PLACEBO-CONTROLLED CLINICAL TRIAL OF THE EFFECT OF CETYLPYRIDINIUM CHLORIDE (CPC) MOUTHWASH AND ON-DEMAND AQUEOUS CHLORINE DIOXIDE MOUTHWASH ON SARS-COV-2 VIRAL TITER IN	J Evid Based Dent Pract. 2024 Dec ; 24(4):102040.	Original Article
617	Kutsuna S, Tajima R, Ito G, et al	感染制御部	Symptoms of post COVID-19 condition and diseases/conditions diagnosed after COVID-19 in Japanese patients: A real-world study using a claims database.	J Infect Chemother. 2025 Feb ; 31(2):102540.	Original Article
618	Fujihara T, Matsuo H, Yamamoto G, et al	感染制御部	Accuracy of odor-based microorganism identification by microbiological technologists with different years of experience: A cross-sectional study.	Heliyon. 2024 Aug 22 ; 10(16):e36573. (オンライン)	Original Article
619	Konishi K, Matsuo H, Shirano M	感染制御部	Current management and awareness of hepatitis coinfection in HIV care: A single-center retrospective study in Japan.	J Infect Chemother. 2025 Feb ; 31(2):102557.	Original Article
620	Konishi K, Onozuka D, Okubo M, et al	感染制御部	Long-acting antiretroviral therapy effectiveness and patient satisfaction using patient questionnaires: data from a real-world setting.	BMC Infect Dis. 2024 Sep 16 ; 24(1):979. (オンライン)	Original Article
621	Wang D, Ikemura K, Hasegawa T, et al	薬剤部	Contribution of human organic anion transporter 3-mediated transport of a major linezolid metabolite, PNU-142586, in linezolid-induced thrombocytopenia.	Biomed Pharmacother. 2024 Jun ; 175:116801.	Original Article
622	Kawashima K, Ikemura K, Takemura M, et al	薬剤部	Febuxostat enhances the efficacy of dasatinib by inhibiting ATP-binding cassette subfamily G member 2 (ABCG2) in chronic myeloid leukemia cells.	Biomed Pharmacother. 2024 Dec ; 181:117709.	Original Article
623	Yamane F, Ikemura K, Kondo M, et al	薬剤部	Identification of dequalinium as a potent inhibitor of human organic cation transporter 2 by machine learning based QSAR model.	Sci Rep. 2025 Jan 20 ; 15(1):2581. (オンライン)	Original Article
624	Onishi Y, Akasaka H, Hatta K, et al	総合診療科	Association between serum vitamin D levels and skeletal muscle indices in an older Japanese population: The SONIC study.	Geriatr Gerontol Int. 2024 Sep ; 24(9):898-903.	Original Article

625	Yoshida S, Hayashi H, Kawahara T, et al	総合診療科	A Vaccine Against Fibroblast Activation Protein Improves Murine Cardiac Fibrosis by Preventing the Accumulation of Myofibroblasts.	Circ Res. 2025 Jan 3 ; 136(1):26-40.	Original Article
626	Nozato Y	総合診療科	Hypertension research 2024 update and perspectives: blood pressure management.	Hypertens Res. 2025 May ; 48(5):1733-1738.	Original Article
627	Ihara J, Huang Y, Takami Y, et al	総合診療科	Oxidized low-density lipoprotein potentiates angiotensin II-induced Gq activation through the AT1-LOX1 receptor complex.	Elife. 2025 Mar 25 ; 13:RP98766. (オンライン)	Original Article
628	Yamamoto K, Yarimizu D, Shimanishi A, et al	総合診療科	Efficacy and Safety of Sacubitril/Valsartan Versus Amlodipine in Japanese Patients With Essential Hypertension: A Randomized, Multicenter, Open-Label, Noninferiority Study (PARASOL Study).	J Clin Hypertens (Greenwich). 2025 Jan ; 27(1):e14938.	Original Article
629	Tsunetoshi Y, Sanada F, Kanemoto Y, et al	総合診療科	A Role for Periostin Pathological Variants and Their Interaction with HSP70-1a in Promoting Pancreatic Cancer Progression and Chemoresistance.	Int J Mol Sci. 2024 Dec 8 ; 25(23):13205. (オンライン)	Original Article
630	Takehita H, Yamamoto K, Mogi M, et al	総合診療科	Muscle mass, muscle strength and the renin-angiotensin system.	Clin Sci (Lond). 2024 Dec 24 ; 138(24):1561-1577.	Original Article
631	Oka K, Shiode R, Iwahashi T, et al	整形外科	Association of Clinical Findings With Complications in the Cubitus Varus Deformity After Supracondylar Fracture	JAAOS GLOB RES REV.2024 OCT:8(10):9	Original Article
632	Ota T, Nakamoto A, Onishi H, et al	放射線診断・IVR科	Low-KeV Virtual Monoenergetic Dual-Energy CT with Deep Learning Reconstruction for Assessing Hepatocellular Carcinoma	J MED BIOL ENG.2024 APR:44(2):14	Original Article
633	Umeda S, Kanemoto H, Suzuki M, et al	睡眠医療センター	Validation of the Japanese version of the Social Functioning in Dementia scale and COVID-19 pandemic's impact on social function in mild cognitive impairment and mild dementia	INT PSYCHOGERIATR.2024 MAR:36(12):14	Original Article
634	Kijima N, Kinoshita M, Kagawa N, et al	疼痛医療センター	Utility of a novel Exoscope, ORBEYE, in re-resection for recurrent brain tumor	INTERDISCIP NEUROSUR.2024 JUN:36:6	Original Article

計634件

(注)

- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					
2					
3					
~					

(注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 「大阪大学医学部附属病院における倫理審査委員会 標準業務手順書」において、倫理審査委員会の運営に必要な手続等を規定している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回（介入研究等） 年12回（観察研究等） （参考：臨床研究法にもとづく大阪大学臨床研究審査委員会は年12回）

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 審議事項、組織、手続き、指導及び勧告	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	以下のとおり
・ 研修の主な内容 ■ 阪大病院臨床研究講習会	

研修の主な内容：研究者の受講のルール2024年度、Real World Data・Real World Evidenceとは？臨中ネットのデータとその利用について、ヘルシンキ宣言改訂速報、臨床研究支援、モニタリング、監査等からの事例紹介とその留意点、DCT（Decentralized Clinical Trials）の活用例、臨床研究・治験活性化に係るアンケート結果について、理解度テスト

実施方法：臨床研究教育e-learning システムCROCO（公開期間：R7.2.3～R7.3.31）

参加人数：924名（医師含む）

■ 治験・倫理審査委員会委員養成研修

研修の主な内容

【講義1】 法的・倫理的視点

【講義2】 臨床試験への患者の関わり方

【講義3】 患者支援団体の取組

【課題1】 グループワーク「患者・市民の研究参画について」

【講義4】 患者・市民参画に関する規制当局の取り組みについて

【課題2】 規制当局と研究の関わりについて

総合討論ディスカッション Q&A

実施回数：1回 420分

開催日時：2025年2月22日（土）

全プログラム参加人数：26名（院外26名、院内0名、医師含む）

聴講者：68名（院外65名、院内3名、医師含む）

■ 治験・倫理審査委員会委員研修「委員長研修」

研修の主な内容

【講義】 「委員会の質向上のポイント」

【ワークショップ】 審査で難渋しそうな事例の検討

【Q&A / グループワーク】

実施回数：1回 120分

開催日時：2024年10月26日(土)

全プログラム参加人数：20名（院外20名、院内0名、医師含む）

■ 医師研修

研修の主な内容

【講義1】 臨床研究の立案から開始まで

ワークショップ概要説明 「統計家と始める研究デザイン」

課題説明

【講義2-1】 因果推論入門1

グループワーク1

【講義2-2】 因果推論入門2

【講義3】 サンプルサイズ設計入門

グループワーク2

発表

総評・閉会あいさつ

実施回数：1回 420分

開催日時：2024年12月7日(土)

全プログラム参加人数：11名（院外10名、院内1名、医師含む）

■ チュータリング研修（OJT研修）

研修の主な内容：

臨床研究中核病院以外の機関からの人材を受入れ、Clinical Question から研究計画立案に至る

までの教育

実施回数：1回～30回以上（受講者の臨床研究の実施環境（活用可能な時間など）により実施回数が異なる）

参加人数：6名（学外6名）

■上級者CRC養成研修

研修目的：上級者臨床研究コーディネーター（以下CRC）に求められる知識を学び、さらに質の高い臨床研究の推進に寄与できる人材を育成する

研修対象者：CRCの経験年数を6年以上有し現在従事している者（管理職を含む）

開催日時：2024年9月7日（土）

開催形式：大阪大学医学部附属病院主催による対面開催。演習はグループワーク形式にて開催。質疑応答の時間、ディスカッションを行う時間を十分に確保した。

研修時間：360分

内容：上級者CRC養成カリキュラムシラバスに準じた講義・演習。

講義：e-learning受講

演習1「その逸脱はなぜ起こったのか！？～なぜなぜ分析～」

演習2【モニター研修共同開催】「立場は違えどゴールは同じ！～多職種連携～」

■訪問&病院看護師むけ臨床研究・治験研修会

【開催日】2025年2月14日（金）

【開催形式】WEB（Zoom）

【研修内容】座学および質疑応答・ディスカッション

【テーマ】いま話題のDCT（分散型臨床試験）をご存じですか～治験における看護師の役割～

【対象者】訪問看護師・病院看護師・その他医療関係者（管理職含む）等。

【目的】DCT(分散型臨床試験)は来院に依存しない臨床試験手法であり、看護職（訪問看護師・病

院看護師)が、臨床研究・治験に関与するための関連法規や手順を学習することで、倫理的、法的、社会的課題に適切に対応できることを目指した。

■ モニター研修

研修目的：アカデミア・医療機関に所属する5年以上のモニタリング実務経験を有するモニタリング担当者を対象に、講義と演習を通してモニタリングの知識・技術を習得し、自施設でのモニタリング活動を通じて、臨床研究、医師主導を含む治験の適正な実施、品質の向上に貢献すること

開催形式：大阪大学医学部附属病院主催による現地開催

研修時間：390分

内容：コーチングスキルおよびコミュニケーションスキルに関する講義・演習、cQMS・CAPAを題材とした演習（事例検討）

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

本院では卒後 2 年間の臨床研修を修了した医師を対象に連携・関連施設と協力し、臨床医学系専門領域における専門医を取得し地域医療に貢献するとともに、幅広く活躍できる高度な医療人の育成を目的として「阪大病院専門研修プログラム」を運営している。日本専門医機構が指定する 19 の基本領域すべての基幹施設となっており、内科、外科および放射線科領域については、内科専門医、外科専門医、放射線科専門医を取得したのち、継続してサブスペシャリティ専門医取得を目指す連動プログラムとなっている。また全領域とも、大阪・阪神間にある他基幹病院を中心とする研修プログラムに連携施設として参加しており、本院は強固かつ密な地域医療ネットワークの中心リーダーとして、教育病院の責任を果たしている。各領域のプログラムは様々なローテーションのパターンを準備しており、本人の興味や希望、ライフイベントに合わせたキャリア形成をサポートしていく体制が整っている。様々なローテーションの中には、医学系研究科と密接に連携するコースも含んでおり、大学院に進学し臨床と直結した形で病態や治療に関する基礎研究を平行して行うこと、または専門医取得後に大学院に進学することを推奨しており、高い研究マインドを持った医師の養成も積極的に行っている。

また高度急性期医療を扱う「特定機能病院」、高度先端技術の提供・開発・評価・教育を担う「臨床研究中核病院」「がんゲノム医療中核拠点病院」など様々な認定を本院は受けている。高度な先端医療技術や臨床研究、臨床治験、再生医療、ゲノム医療、国際医療を行っており、移植や困難症例、危機状況への対応法を学ぶ機会が多く、関連するセミナーも日常的に開催されるなど、豊富な教育の機会を提供している。このような環境下、そして多彩なキャリアパスを備えたキャリア形成システムを通し、高度な臨床能力を持った専門医を多数養成している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	207人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
坂田 泰史	循環器内科	教授	31年	
猪阪 善隆	腎臓内科	教授	34年	
疋田 隼人	消化器内科	講師	23年	
下村 伊一郎	内分泌・代謝内科	教授	35年	
武田 吉人	呼吸器内科	准教授	30年	
西出 真之	免疫内科	講師	18年	
保仙 直毅	血液・腫瘍内科	教授	26年	
望月 秀樹	脳神経内科	教授	37年	
山本 浩一	老年・総合内科	教授	27年	
宮川 繁	心臓血管外科	教授	30年	
新谷 康	呼吸器外科	教授	29年	
土岐 祐一郎	消化器外科	教授	39年	
江口 英利	消化器外科	教授	30年	
島津 研三	乳腺・内分泌外科	教授	30年	
渡邊 美穂	小児外科	准教授	18年	

西田 幸二	眼科	教授	36年	
猪原 秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	35年	
岡田 誠司	整形外科	教授	26年	
藤本 学	皮膚科	教授	33年	
久保 盾貴	形成外科	教授	29年	
池田 学	神経科・精神科	教授	37年	
貴島 晴彦	脳神経外科	教授	34年	
小玉 美智子	産科・婦人科	教授	25年	
北畠 康司	小児科	教授	29年	
野々村 祝夫	泌尿器科	教授	39年	
富山 憲幸	放射線診断・IVR科	教授	38年	
吉田 健史	麻酔科・集中治療	教授	22年	
織田 順	救命救急科	教授	32年	
森井 英一	病理部	教授	33年	
藤井 智美	臨床検査部	准教授	16年	
金本 隆司	リハビリテーション部	准教授	26年	
郡山 弘	総合診療科	講師	22年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

<p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）</p>
<p>【医療技術部】</p> <ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 医療技術部職員を対象に患者動作介助、特定の疾患をテーマにした複数医療職からの発表、講師を招いてのスキルアップ講習会、各医療職領域におけるトピックス紹介、個人目標の達成度報告など・研修の期間・実施回数 毎月1回の開催を原則とし、令和6年度は12回開催・研修の参加人数 令和6年度の年間延べ参加人数は1342名 <p>【栄養マネジメント部】</p> <ul style="list-style-type: none">・栄養マネジメント部研修会（食事、栄養に関するテーマ） 半固形化栄養療法について（2024/4/25）14名 低栄養診断と栄養治療-日本人におけるGLIM基準をどのように使うか？-(全国国立大学病院栄養部門会議）（2024/5/15）15名 小児腸管不全患者へのNST介入効果の検討(日本栄養アセスメント研究会発表演題) （2024/5/30）13名 重症病態に対するアミノ酸輸液の窒素バランスに応じた投与方法(集中医療学会関西支部学術集会発表演題）（2024/6/27）15名 シンバイオティクスについて（2024/6/28）15名 胃癌術後栄養指導における食事記録アプリ導入に対する患者満足度の検討(日本外科代謝栄養学会発表演題）（2024/7/5）13名 短腸症候群患者への栄養食事指導(日本外科代謝栄養学会発表演題）（2024/7/8）13名 胃癌術後患者の遠隔栄養指導実施状況について(日本栄養治療学会近畿支部学術集会発表演

題) (2024/7/9) 14名

NSTとRSTによる人工呼吸器を装着した患者のREEを用いた必要栄養量の決定について(日本外科代謝栄養学会発表演題) (2024/7/19) 13名

間接熱量測定について (2024/8/6) 15名

セレンについて (2024/9/10) 14名

インスリンポンプ療法について (2024/10/1) 15名

間質性肺炎の治療について (2024/11/20) 15名

フリースタイルリブレ2について① (2024/12/12) 15名

肝不全用アミノ酸輸液投与後に高アンモニア血症を起こした非代償性肝硬変の2症例(日本栄養治療学会学術集会発表演題) (2025/1/31) 15名

フリースタイルリブレ2について② (2025/2/26) 14名

エレンタールについて (2025/3/13) 15名

・ 国立私立大学研修関連

全国国立大学病院栄養部門会議研修会Management研修会 (2024/6/13) 1回/年 1名

全国国立大学病院栄養部門会議研修会Basic研修会 (2024/11/14~15) 1回/年 1名

- ・ その他研修会 (大阪大学臨床栄養研究会、食品衛生講習会など)、学会 (日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本栄養治療学会など) 年数回、各数名

【未来医療開発部】

① 阪大病院臨床研究講習会

研修の主な内容：研究者の受講のルール2024年度、Real World Data・Real World Evidenceとは？臨中ネットのデータとその利用について、ヘルシンキ宣言改訂速報、臨床研究支援、モニタリング、監査等からの事例紹介とその留意点、DCT (Decentralized Clinical Trials) の活用例、臨床研究・治験活性化に係るアンケート結果について、理解度テスト

実施方法：臨床研究教育e-learning システムCROCO (公開期間：R7. 2. 3~R7. 3. 31)

参加人数：924名 (医師含む)

② 阪大モニタリング講習会

研修の主な内容：

基本講習 品質管理について、中央モニタリングの実際、モニタリングのポイント・事例紹介

更新講習 臨床研究における品質マネジメントについて、信頼性の高い臨床研究のために、モニタリングの事例紹介、QC活動報告

実施回数：令和6年度実績 Web講習 2回、e-learning

参加人数：144名（院内 院外、医師含む）

③ 治験・倫理審査委員会委員養成研修

研修の主な内容

【講義1】法的・倫理的視点

【講義2】臨床試験への患者の関わり方

【講義3】患者支援団体の取組

【課題1】グループワーク「患者・市民の研究参画について」

【講義4】患者・市民参画に関する規制当局の取り組みについて

【課題2】規制当局と研究の関わりについて

総合討論ディスカッション Q&A

実施回数：1回 420分

開催日時：2025年2月22日(土)

全プログラム参加人数：26名（院外26名、院内0名、医師含む）

聴講者：68名（院外65名、院内3名、医師含む）

④ 治験・倫理審査委員会委員研修「委員長研修」

研修の主な内容

【講義】 「委員会の質向上のポイント」

【ワークショップ】 審査で難渋しそうな事例の検討

【Q&A / グループワーク】

実施回数：1回 120分

開催日時：2024年10月26日(土)

全プログラム参加人数：20名（院外20名、院内0名、医師含む）

⑤ 上級者CRC養成研修

研修の主な内容：上級者臨床研究コーディネーター（以下CRC）に求められる知識を学び、さらに質の高い臨床研究の推進に寄与できる人材を育成する。

期間・実施回数：2024年9月7日

参加人数：17名

⑥ 訪問&病院看護師むけ臨床研究・治験研修会

研修の主な内容：DCT(分散型臨床試験)は来院に依存しない臨床試験手法であり、看護職（訪問看護師・病院看護師）が、臨床研究・治験に関与するための関連法規や手順を学習することで、倫理的、法的、社会的課題に適切に対応できることを目的とする座学および質疑応答・ディスカッション

期間・実施回数：2025年2月14日

参加人数：117名

⑦ モニター研修

研修の主な内容：コーチングスキルおよびコミュニケーションスキルに関する講義・演習、cQMS・CAPAを題材とした演習（事例検討）

期間・実施回数：2024年9月7日

参加人数:21名

⑧ DCT/DXセミナー

研修の主な内容:

(2024年7月24日) 自律分散を支援するテクノロジー

(2025年2月19日) PCT/DCTによる非中央集権的な臨床試験の実現

期間・実施回数:2024年7月24日・2025年2月19日

参加人数: 907名 (院内 院外 (医師含む))、928名 (院内 院外 (医師含む))

⑨ DCT/DXワークショップ

研修の主な内容: ゲームのUIやUXからの得たことを参加者で共有し、治験/臨床研究のデータの集め方を見つめ直す。

期間・実施回数: 2024年11月29日

参加人数:27名 (院外25名、院内2名)

⑩ データマネージャー養成研修 (中級)

研修の主な内容:

【講義】「DMが備える研究者の視点」「DMが備える統計家の視点」「データマネージャー (DM) が備えるスタディマネージャー (StM) の視点」「DMが備える品質管理者の視点」【演習】「Risk Based Approachの導入による品質マネジメント」「逸脱一覧をデータ管理の観点からRisk Reviewしてみよう」「グループ発表」

研修の期間・実施回数: 2024年12月14日 (土) 13:00~17:30

2024年12月15日 (日) 9:30~17:00

研修の参加人数: 11名 (CDM10名/LDM1名)

【看護部】

- ・研修の主な内容：医療安全・療養環境・コミュニケーション、自己の健康管理・看護技術演習（輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い、輸液管理、ヘパリンロック、静脈血採血、インスリン製剤の取り扱い、BLS）看護過程（身体面・精神面）
- ・研修の期間・実施回数 4月、5月、6月、10月、2月・計61回（一人当たり15回、62時間）
- ・研修の参加人数 延べ1925名

- ・研修の主な内容：看護過程（身体面・精神面・社会面・スピリチュアルな側面）の意図的な情報と分析、チーム医療の構成と役割の理解とチーム関係者との情報共有方法
- ・研修の期間・実施回数 7月、11月、1月・計12回（一人当たり3回、12時間）
- ・研修の参加人数 延べ241名

- ・研修の主な内容：目標管理、後輩指導、文献検索、自己の看護実践の振り返り
- ・研修の期間・実施回数 7月、12月・計7回（一人当たり2回、12時間）
- ・研修の参加人数 延べ160名

- ・研修の主な内容：患者理解によるケアの改善、臨床の疑問、学生・同僚・後輩への指導、自己の看護実践を用いた事例検討
- ・研修の期間・実施回数 9月、10月、2月・計8回（一人当たり4回、16時間）
- ・研修の参加人数 延べ235名

- ・研修の主な内容：リフレクション（看護実践の振り返り）
- ・研修の期間・実施回数 10月・計1回（3時間）
- ・研修の参加人数 3名

- ・研修の主な内容：アシスタントナース研修
看護部概要、アシスタントナースの業務、医療安全（患者確認、手指衛生）
- ・研修の期間・実施回数 9月・計5回（一人当たり1回、2時間）
- ・研修の参加人数 延べ105名（内10名はオンデマンド）

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

【医療技術部】

- ・研修の主な内容
新規導入機器、特定機能病院に必須の医療機器（人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細導装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置）、特に熟練を要する医療機器、OpenME、MRI研修などである。
- ・研修の期間・実施回数
新規導入機器（24回）、特定機能病院に必須の医療機器（23回）、特に熟練を要する医療機器（815回）、OpenME（76回）、MRI研修（体験学習）
- ・研修の参加人数
新規導入機器（443名）、特定機能病院に必須の医療機器（65名）、特に熟練を要する医療機器（1062名）、OpenME（138名）、MRI研修（128名）、合計1863名

【看護部】

- ・研修の主な内容：リーダーシップ

- ・研修の期間・実施回数 10月・計2回（一人当たり1回、4時間）
- ・研修の参加人数 延べ60名
- ・研修の主な内容：看護管理者としての人材育成
- ・研修の期間・実施回数 8月、9月、1月、2月・計8回（一人当たり2回、6時間）
- ・研修の参加人数 延べ78名（看護師長）
- ・研修の主な内容：看護管理者としてのリフレクション
- ・研修の期間・実施回数 6月、7月、9月、10月、3月・計8回（一人当たり3回、9時間）
- ・研修の参加人数 延べ273名（副看護師長）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

【未来医療開発部】

①医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）の①と⑥以外該当

■チュータリング研修（OJT研修）

研修の主な内容：

臨床研究中核病院以外の機関からの人材を受入れ、Clinical Question から研究計画立案に至るまでの教育

実施回数：1回～30回以上（受講者の臨床研究の実施環境（活用可能な時間など）により実施回数が異なる）

令和6年度受け入れ人数：6名

■摂南大学薬学部学生インターンシップ ※令和5年度実績

講義：治験について、コミュニケーションとは、CTUについて、プロトコール模擬テスト

ロールプレイング：インフォームドコンセント、OJT（CRC業務の実際見学）、薬剤部見学

期間・回数：令和6年8月20日（水）～22日（金）：8時30分～16時00分 3日間 参加人数：4名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 野々村 祝夫
管理担当者氏名	総務課長 中野 哲也 医事課長 鋤崎 信男 薬剤部長 奥田 真弘 放射線部長 富山 憲幸

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事課
		看護記録	医事課
		検査所見記録	医事課
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	医事課
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事課
		カルテ等病歴資料は、1患者1カルテとし、コンピュータによる集中管理を行っている。エックス線写真は、PACS（画像サーバ）で集中保管。 処方せんは紙媒体で保存。 ◆診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱い開示請求に基づき、診療記録のコピーを患者等に渡す場合は、患者からの請求に応じ、定められた手順に則り、当該患者の情報のみを印刷し渡すこととしている。 電子カルテを病院外から閲覧することは基本的にはできないが、治験における治験依頼者による原資料の確認の際に、当該患者の記録のみ、患者の同意を得た上で、病院が提供する端末を用いて病院外の指定する場所から閲覧することを許可している。また、セキュアなネットワークを引いた一部の医療機関に対して、その医療機関と当院が共同して診療に当たっている患者について、患者の同意が得られた場合に、診療記録の一部の閲覧を可能としている。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
		パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。 調剤数は薬剤部システ	

		高度の医療の研修の実績	総務課	ムで管理。	
		閲覧実績	総務課		
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
	掲げる 規則 第一 条の 十一 第一 項に		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
			医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課 感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療技術部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療技術部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療技術部	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療技術部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部 総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	中央クオリティマネジメント部 医事課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	中央クオリティマネジメント部 医事課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医事課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input checked="" type="radio"/> 2. 現状
閲覧責任者氏名	総務課長 中野 哲也
閲覧担当者氏名	総務課庶務係長 本田 俊介
閲覧の求めに応じる場所	総務課庶務係
閲覧の手続の概要 閲覧への希望が庶務係にあった場合に対応	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者中心の医療の実践 2. 診療情報の共有 3. 医療安全に関する組織的取り組み 4. インシデントの報告 5. 機能する医療事故防止対策 6. 適切な医療事故への対応 7. 患者からの医療相談の実施 8. 高難度真意医療技術の導入 9. 未承認新規医薬品等の導入 10. 医療安全情報の共有 11. 職員に対する教育研修 12. 医療安全文化の構築 13. 医療安全管理マニュアルの作成・更新 14. 医療安全管理に関する指針の公開 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無）</p> <p>・ 開催状況：年 29回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 統括医療安全管理委員会：本院における医療に係る安全管理について統括する 年11回 2. リスクマネジメント委員会：医療事故の防止策を策定する 年6回 3. 医療クオリティ審議委員会：医療の質の向上を図る 年12回 4. 医療事故対策委員会：医療事故が発生した場合の必要な対応を行う 年0回 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>正しい病理診断のために注意したいこと（e-Learning（令和6.6.13）開催、3291名参加）</p> <p>抗がん薬の安全な投与について／注射抗がん薬適正投与のために注意したいこと（e-Learning（令和6.11.11）開催、3291名参加）</p> <p>④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>問題点の把握状況（方法）</p> <p>【各部署・部門等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデントをイントラネット（インシデントレポート、医療クオリティ審議依頼書）から報告 <p>【リスクマネジメント委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデントレポートのデータベースのモニター（毎日・当番制、要IDとパスワード） <p>【医療クオリティ審議委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療クオリティ審議依頼書が入力されると直ちにコアメンバーに通知され、内容確認が行われる <p>【中央クオリティマネジメント部】</p>	

- ・専任リスクマネジャーによりインシデントレポートのモニターや報告された医療クオリティ審議依頼書の内容をもとに、事例に関する問い合わせ、現場の確認

問題点の分析状況（方法）

【各部署・部門等】

- ・当該部署、部門等にて事例の背景要因を分析

【リスクマネジメント委員会】

- ・当番委員によりインシデントの背景要因を分析

【医療クオリティ審議委員会】

- ・委員会において、医療クオリティ審議依頼書、報告者からのヒアリング、及び委員からの意見をもとにインシデントの発生メカニズムを多角的に分析

【中央クオリティマネジメント部】

- ・専任リスクマネジャーを含む多職種の構成員によりインシデントの背景要因を多角的に分析

改善策の検討状況（方法）

【各部署・部門等】

- ・当該部署、部門等にてリスクマネジャーもしくは医療安全担当者が中心となり、改善策等を検討。必要に応じ、専任リスクマネジャーが介入。

【リスクマネジメント委員会】

- ・インシデントの要旨と背景要因をシステム思考で分析し、再発防止策を提示
- ・事故防止策について意見交換、事故防止策を承認
- ・院内の他の委員会や他部門への検討や改善の申し入れ

【医療クオリティ審議委員会】

- ・審議依頼事例について、関係診療科・部門への再発防止策の検討や改善を指示
- ・各診療科・部門から提出された再発防止策について承認

【中央クオリティマネジメント部】

- ・専任リスクマネジャーによるインシデントに関する問い合わせ、現場の点検、改善の支援
- ・事故防止策を実行するために必要な業務の実施、他部門との連携協力
- ・リスクマネジャーメーリングリストによる情報提供
- ・院内ラウンド、院内相互チェックの実施計画
- ・リスクマネジャー会議（運営部会）での周知
- ・教育のための教材を作成・教育の実施
- ・対象部署や職種を限定した教育教材（e-ラーニング）の作成
- ・リスクマネジメントニュースの作成・発行（警鐘事例等の共有）
- ・QM（クオリティマネジメント）ニュース（医療安全広報誌）の作成・発行

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容： 大阪大学医学部附属病院は、わが国の医学における診療、教育及び研究の発展に貢献するとともに、特定機能病院としての高度先進医療・未来医療の開発・実践を担い、同時に安全な医療を実現する使命を負っている。安全な医療の実現のためには医療関連感染対策の推進が不可欠であるとの認識を持ち、職員の一人ひとり、そして各部署それぞれが、医療関連感染対策の推進に真摯に取り組むと同時に、病院全体が包括的に医療関連感染対策を行っていくものとする。また新型コロナウイルス感染症の流行により新興感染症対策の重要性が広く認識されるようになっており、当院も新たな新興感染症が出現した際には、大阪府の要請に基づき患者を受け入れ、新興感染症対策の地域の基幹病院となることが求められている。このような医療関連感染対策・新興感染症対策を通して、患者本位の安心・安全な全人的医療を提供することのできる環境を整えるように努力し、その活動を基盤として、社会や地域医療にも貢献することが大阪大学医学部附属病院の使命である。</p> <p>なお指針の詳細については以下に掲載されています。 https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/home/hp-infect/file/manual/1.pdf 感染管理マニュアル</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容： 感染対策委員会 1. 院内感染症の届出状況や抗菌薬の使用状況等の報告 2. 院内感染対策についての審議 （感染対策の重要事項に関すること、必要に応じての指導助言に関すること、院内感染防止対策の施設区順に関すること等）</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2回
<p>・ 研修の内容（すべて）： 第1回感染対策講習会：「耐性菌の拡大防止のための感染対策と抗菌薬適正使用」 第2回感染対策講習会：「耐性菌を増やさないための感染対策の基本/手指衛生の疑問にお答えします」</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： ICTラウンド（週1回環境ラウンド、随時感染対策ラウンド） 感染管理に視点における環境管理状況の確認を年間通して部署のラウンドを実施 ●耐性菌検出システム（ICTWeb®）を使用して、薬剤耐性菌検出状況を毎日監視し、感染対策の実施状況を確認。また、海外渡航歴や治療歴のある方の中でリスクのある方は、耐性菌スクリーニングを実施 ●サーベイランス 耐性菌サーベイランスを元にした介入（VRE、CPE、CRE、MRSA、MDRP、ESBL産生、CDなど） デバイスサーベイランス実施部署：全部署（中心静脈カテーテル関連血流感染、尿道留置カテーテル関連感染、人工呼吸器関連肺炎）、手術部位感染サーベイランス（心臓血管外科、消化器外科、泌尿器科、婦人科、乳腺内分泌外科、脳神経外科、呼吸器外科、整形外科） ●抗菌薬適正使用に向けての活動 ・ 抗菌薬投与7日以降経過している患者を毎日カンファレンスにて介入を実施 ●感染症治療コンサルテーション、感染制御コンサルテーションの実施 ●手指衛生啓発の強化（医療者、患者家族への啓発）</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<p>・ 研修の主な内容:</p> <p>1. 第1回医薬品安全講習会(阪大病院フォーラム) 令和6年6月20日よりE-ラーニングシステム上で公開 演題: 病院フォーミュラリ(使用ガイド付き医薬品集)の概要と当院での運用について</p> <p>2. 令和6年度第1回医薬品安全管理講習会 令和6年11月11日よりE-ラーニングシステム上で公開 演題: ポリファーマシー対策について ポリファーマシー対策としての処方見直しと多職種連携</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有)・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容:</p> <p>▶ 手順書の一部改訂(2025年3月25日)</p> <p>・新たに「第X章 医薬品関連の情報システムの利用」を設け、マスタ管理、オーダー入力や記録の保管・管理時等において遵守すべき事項を記載することで医薬品安全対策のさらなる徹底を図った。</p> <p>・前回改訂後に変更された医薬品使用手順の反映</p> <p>▶ 手順書に基づく業務実施の確認・記録</p> <p>・6月に各部署の医薬品安全管理者(リスクマネジャー)に対して、手順書に基づいて業務が実施されているかについて、手順書の各章の項目別にアンケート調査方式にて遵守状況確認を実施</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無)</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば):</p> <p>▶ 未承認医薬品: 2件(MMRワクチンの使用)</p> <p>▶ 適応外(医薬品): 13件(自己免疫性肝炎に対するミコフェノール酸モフェチルの使用等)</p> <p>▶ 院内製剤: 10件(0.5%ガンシクロビル点眼液等)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容:</p> <p>▶ 薬剤師の電子カルテ記載内容を一元的に確認できる仕組みを構築し、過去の疑義照会記録等を容易に確認できるようにした。</p> <p>▶ DI室保管の紙資料を電子的に閲覧可能とするため、スキャン作業を開始した。</p> <p>▶ ポリファーマシー対策に関する業務手順書を策定した。</p> <p>▶ 抗がん薬投与患者の当日検査を把握できるシステムを改修し、調製保留の必要性をより簡便に把握できるよう改善した。</p> <p>▶ 抗菌薬薬物血中濃度測定オーダー代行入力に関するPBPMを策定した。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 961回
<p>・ 研修の主な内容： 機器の有用性、機器の安全性、機器の動作、機器の操作、機器の故障対策、機器の点検説明、使用に関する法令順守など</p> <p>研修の内訳</p> <p>1. 新規導入医療機器の安全使用研修（24回） 【上半期】11回開催、受講者数132名(令和6年 4月1日～令和6年9月30日) 【下半期】13回開催、受講者数311名(令和6年10月1日～令和7年3月31日)</p> <p>2. 特定機能病院に必須の医療機器の安全使用研修（23回） 特定機能 5品目：e-learning形式</p> <p>① 人工心肺装置・補助循環装置 補助循環装置（IABP）： 【上半期】512名／552名（受講率92.8%） 【下半期】496名／535名（受講率92.7%） 補助循環装置（PCPS）： 【上半期】512名／552名（受講率92.8%） 【下半期】496名／535名（受講率92.7%）</p> <p>② 人工呼吸器： 【上半期】1,137名／1,211名（受講率93.9%） 【下半期】1,128名／1,194名（受講率94.5%）</p> <p>③ 血液浄化装置： 【上半期】427名／458名（受講率93.2%） 【下半期】397名／441名（受講率90.0%）</p> <p>④ 除細動装置： 【上半期】2,751名／3,050名（受講率90.2%） 【下半期】2,670名／2,911名（受講率91.7%）</p> <p>⑤ 閉鎖式保育器： 【上半期】222名／225名（受講率98.7%） 【下半期】211名／216名（受講率97.7%）</p> <p>特定機能 2品目：対面形式 【上半期】13回開催、受講者数33名 受講率100%（令和6年 4月1日～令和6年9月30日） 【下半期】10回開催、受講者数32名 受講率100%（令和6年10月1日～令和7年3月31日）</p> <p>3. 特に熟練を要する医療機器の安全使用研修とOpenME</p> <p>① 医療機器の安全使用研修（815回） 【上半期】353回、570名受講(令和6年 4月1日～令和6年9月30日) 【下半期】462回、492名受講(令和6年10月1日～令和7年3月31日)</p> <p>② OpenMEの実施状況（76回） 【上半期】42回、79名受講(令和6年 4月1日～令和6年9月30日) 【下半期】34回、59名受講(令和6年10月1日～令和7年3月31日)</p>	

4. 新規採用者対象のMRI装置の安全管理講習会（体験学習を含む対面形式）
受講者128名(令和6年6月5日～令和6年6月28日)

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- 医療機器に係る計画の策定 (有 ・ 無)

特定機能 5品目（人工心肺装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細導装置、閉鎖式保育器）については、臨床工学部で計画を立て、それに則って臨床工学技士ならびにメーカーによる保守点検を実施している。

特定機能 2品目（診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置）、その他、保守点検が必要な医療機器については、放射線部ならびに関係部署で計画を立てて、臨床工学士ならびに委託業者による保守点検を実施している。

- 機器ごとの保守点検の主な内容：
放射線医療機器は全てメーカーとの定期点検契約。
臨床工学部が担う医療機器の一部が院内点検に該当する。

【点検内容】

安全点検、電気的安全点検、器械的安全点検、予防保全、予防保全の部品交換、
予防保全の調整、予防保全の動作点検、動作値の確認、品質点検、
イメージクオリティの点検、装置全般の機能点検、ソフトウェア点検など

【点検台数】

- 臨床工学部が管理する特定機能病院必須医療機器5品目（補助循環装置53台、人工呼吸器158台、血液浄化装置44台、除細動装置44台、閉鎖式保育器11台）について、点検計画に則って適切に実施した。（令和6年4月1日～令和6年9月30日）
- 臨床工学部が管理する特定機能病院必須医療機器5品目（人工呼吸器158台、補助循環装置53台、血液浄化装置44台（内廃棄2台）、除細動装置44台、閉鎖式保育器11台）について、点検計画に則って適切に実施した。（令和6年10月1日～令和7年3月31日）
- 放射線部が管理する特定機能病院必須医療機器2品目を含む全装置131台について、点検計画に則って適切に実施した。（令和6年4月1日～令和6年9月30日）
- 放射線部が管理する特定機能病院必須医療機器2品目を含む全装置128台について、点検計画に則って適切に実施した。（令和6年10月1日～令和7年3月31日）

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)

医療機器の不具合情報や安全性情報等を製造販売業者やPMDAから提供される医療安全情報
厚生労働省が発行する「医薬・医療機器安全情報」などから一元的に収集する。
病院運営会議と医療機器安全委員会で報告、阪大フォーラムやリスクマネジャ会議での啓発や
リスクマネジャのメーリングリストを通じて周知を図っている。
年6回の会議にて、保守点検および医療機器安全使用研修の進捗状況の把握ならびに医療機器
安全情報の共有を図り常に連携をとっている。

- 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：
- その他の改善のための方策の主な内容：

- ・「大阪大学医学部附属病院における医療機器安全のための指針」の策定
- ・定期安全使用研修のためのe-learningの作成
- ・医療機器安全管理室組織図の改定と内規策定の検討
- ・医療機器導入と保守点検の一元化システム策定の検討

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>本院における医療に係る安全管理について統括するため、統括医療安全管理委員会を設置しており、医療安全担当の副病院長（医療安全管理責任者）が同委員会の委員長となっている。同委員会にリスクマネジメント委員会及び医療クオリティ審議委員会（医療安全管理部門である中央クオリティマネジメント部が主管）、医薬品安全管理委員会（医薬品安全管理責任者である薬剤部長が委員長）、医療機器安全管理委員会（医療技術部長が委員長（医療機器安全管理責任者は医療技術部副部長）を置き、統括医療安全管理委員会委員長（医療安全管理責任者）が統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（9名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 ▶ 年1回以上の「医薬品安全使用のための業務手順書」の改訂 ▶ 毎年6月に改訂後の業務手順書の遵守状況について、各部署に対してアンケート調査を実施 ▶ 院内職員対象に医薬品安全管理講習会を実施（年2回以上） ▶ 重要安全性情報の発信（医薬品安全管理委員および各部署管理者に速報） ▶ Drug Information News（医薬品の適応追加・用法用量変更、安全性情報、適正使用情報等のお知らせ）の発行、および各部署での周知の記録をFAXにて回収 ▶ 薬剤部 News（医薬品に関する薬剤部からのお知らせ）の発行 ▶ 院内ホームページ・イントラネット上での情報提供 ▶ 最新の医薬品添付文書情報を電子カルテ端末から閲覧できるよう整備 ▶ 医薬品情報データベース「UpToDate Lexidrug(Wolters Kluwer N.V.)」と契約し情報収集 ▶ 電子カルテに登録された副作用情報は薬剤部の医薬品情報室にて一元的に管理し、必要があると判断した情報は医薬品医療機器総合機構(PMDA)に報告 ▶ 医薬品使用状況を確認し、必要に応じて、薬事委員会、医薬品安全管理委員会、病院運営会議等で報告。 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 未承認等の医薬品を使用する場合は、未承認新規医薬品等診療審査部にて審査・評価を行い、診療の提供の適否を決定 ▶ 薬剤部医薬品情報室が未承認新規医薬品等審査部の事務局を担当し、医薬品に関する情報収集を行 	

う。

- ▶ 薬剤師等が収集・把握した未承認医薬品等の使用に関する情報は、薬剤部医薬品情報室に集約し、医薬品情報室で内容を確認、評価し、未承認新規医薬品等診療審査部への審査対象となる診療は未承認新規医薬品等診療審査部へ諮問
- ▶ 未承認医薬品の使用、適応外使用、禁忌での使用状況について、医薬品安全管理委員会および病院運営会議にて報告

・ 担当者の指名の有無 (有)・無

・ 担当者の所属・職種：

(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 (副薬剤部長 2 名、医薬品情報室長 1 名

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

(有)・無

- ・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有)・無)
- ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：定期的に各診療科・各中央診療施設のインフォームド・コンセントの実施状況を確認する。適切でない事例が認められる場合は、必要な指導を行うとともに当該事例を院内に周知する。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

(有)・無

・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療情報管理士が毎日、退院時サマリを確認し、不備当の修正依頼を適時実施している。毎月、手術記録、カウンターサイン、医師事務作業補助者の承認状況を確認し、作成状況や未承認の催促を各診療科の病歴管理委員宛に通知している。ピアレビューは、年 7 回の頻度で、4 診療科の医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、診療情報管理士を招集し、多職種でカルテ監査をしている。ピアレビュー後に各自 3 症例を持ち帰り、監査を行い、後日結果を報告する。また、半年後に再監査を診療情報管理士が各 4 症例ずつ実施しており、1 年 228 症例の監査計画で運用している。年間の全診療科の結果は、病歴管理委員会で資料を配布し、周知を行っている。インフォームドコンセントについても、診療情報管理士がカルテ記載内容を確認し、一年で全診療科一巡。結果はインフォームドコンセント委員会で報告している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

・所属職員：専従（８）名、専任（０）名、兼任（１２）名

うち医師：専従（４）名、専任（０）名、兼任（０）名

うち薬剤師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（２）名

うち看護師：専従（３）名、専任（０）名、兼任（１）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

1. インシデントの調査・分析・レポート管理及びカンファレンスの開催
2. 医療事故防止方策の検討・実施・評価
3. リスクマネジャー会議の開催
4. 職員研修の企画・実施および、理解度テストの実施と評価
5. 医療安全推進及び教育のための教材の開発・活用
6. 現場のリスクマネジャーの支援、連絡調整、院内ラウンドの実施
7. 他の委員会や部署、各職種間の連絡調整
8. リスクマネジメント委員会等の開催準備及び支援
9. 患者相談窓口等の担当者との連携、医療安全に係る患者及び家族等への対応支援
10. 全死亡症例の把握・検証
11. 医療の質・安全に関するモニタリング
12. 高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品を用いた医療の導入に係る委員会への参画

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

令和5年10月1日現在の医療安全に資するモニタリング項目は以下の7つであり、リスクマネジメント委員会及び病院運営会議、リスクマネジャー会議で報告を行っている。

1. 手術安全チェックリスト使用率
2. 初回抗がん剤導入前のHBVスクリーニング実施率
3. 内視鏡治療例での気道確保困難チェックリスト使用率
4. 2週間以内の退院サマリ作成率
5. 臨床工学部から貸し出した人工呼吸器の日常点検実施率
6. 病理検査および画像検査における重要所見ToDoの翌月までの消去率
7. 輸血投与時の認証システムによる照合実施率

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（6件）、及び許可件数（6件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）

・活動の主な内容：

診療科長から高難度新規医療技術を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認を行うとともに、高難度新規医療技術評価委員会に、当該高難度新規医療技術を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。

また、定期的及び術後に患者が死亡した場合など、必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われていたか、診療記録等の確認や従事者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (34 件)、及び許可件数 (34 件)

・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 ・ 無)

・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 ・ 無)

・ 活動の主な内容：

診療科長から未承認新規医薬品等を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認を行うとともに、未承認新規医薬品等診療評価委員会に、当該未承認新規医薬品等を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。

また、定期的及び術後に患者が死亡した場合など、必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われていたか、診療記録等の確認や従事者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 461 件

・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 31 件

・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

【院内死亡症例】

院内死亡・死産症例は、退院転帰が「死亡（あるいは死産）」と入力されることで全例漏れなく医療安全部門が把握することができるシステムを構築しており、医療安全部門では、毎週、多職種で全死亡症例の診療経過について検証している。

さらに診療科では全死亡・死産症例について、診療科内で医療プロセスについて検証し、その結果

を院内死亡症例報告書に入力する。医療クオリティ審議委員会での検討が必要と判断された際は、医療クオリティ審議依頼書を提出する。

診療科長及び中央クオリティマネジメント部部长が全症例の検証結果を確認し、医療クオリティ審議委員会において医療安全管理責任者に報告する。医療安全管理責任者は、病院運営会議において管理者に報告する。平成 28 年 9 月 20 日より運用を開始している。

【管理者が定める水準以上の事象】

平成 14 年から国立大学医学部附属病院で使用している影響レベルのうち、レベル 3b 以上は管理者が定める水準以上の事象として、月一回開催される医療クオリティ審議委員会において医療クオリティ審議依頼書で報告のあった事象の事実関係の調査・把握を行い、報告された事象が医療事故か否かを判断する。また、日本医療機能評価機構及び医療事故調査制度に伴う報告事例を審議する。その後、病院運営会議、統括医療安全管理委員会で報告される。

医療事故と判断された場合は、速やかに医療事故対策委員会を立ち上げ、患者や家族等及び医療事故を起こした当事者や部署に対して、必要な支援を行う。医療事故に関して、情報収集・統合、分析、意思決定、関係機関への報告、院内外への公表を行う。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（）（病院名：東北大学病院）・無
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（）（病院名：広島大学病院）・無
- ・技術的助言の実施状況

「日本医療機能評価機構への報告時期について、事例発生から 2 週間以内の報告をより進めていくと良い。」との助言を受け、医療クオリティ審議委員会において、当該制度への報告対象事例と判断された場合には、可及的速やかに（原則として 2 週間以内に）、把握できている情報の報告を行うこととした。

また、「重大な副作用等が生じていないか確認するために、年 1 回の使用報告に加えて能動的なモニタリングを検討すると良い。」との助言を受け、未承認新規医薬品等診療の承認済一覧を電子カルテ上に掲載し、医療従事者が常時確認できる体制を構築した。また、薬剤師による副作用の把握と報告に関するワークフローを整理し、薬剤師が把握した重大な副作用等が医薬品情報室（審査部の事務局）に共有される運用とした（医薬品安全管理委員会にて承認済）。事務局にて電子カルテの副作用登録情報に基づいた月 1 回のモニタリングを行い、副作用発現状況を多角的に把握できる体制を整備した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

窓口の名称：患者相談室（平成 16 年 4 月 2 日設置）

対応する職員：患者包括サポートセンター患者相談部門

医師 1 名

看護師 1 名

医療ソーシャルワーカー(MSW) 1 名

事務職員 2 名

計 5 名

相談に応じる時間帯：月～金曜日 8：30～17：00

患者相談室設置要項

第7条(1) 相談を受けた者は、相談等の内容を病院長まで報告するものとする。

第7条(2) 病院長は相談等の内容が、本院の医療安全管理体制確保に有益であると認められるときは、関係部署及び関係委員会に対して、検討及び改善を指示するものとする。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

リスクマネジメント講習会にて、特定機能病院としての高度な医療を提供するために必要な知識について研修を行った

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

【管理者】

令和6年度特定機能病院管理者研修 (主催：公益財団法人日本医療機能評価機構)
⇒令和7年1月15日受講

【医療安全管理責任者】

令和6年度特定機能病院管理者研修 (主催：公益財団法人日本医療機能評価機構)
⇒令和6年12月13日受講

【医薬品安全管理責任者】

令和6年度特定機能病院管理者研修 (主催：公益財団法人日本医療機能評価機構)
⇒令和6年12月9日受講

【医療機器安全管理責任者】

令和6年度特定機能病院管理者研修 (主催：公益財団法人日本医療機能評価機構)
⇒令和7年1月17日受講

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

実施年月日：令和3年10月13日～10月15日

実施機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構

評価内容：公益財団法人日本医療機能評価機構による「一般病院3」の認証受審

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

公表年月日：令和4年4月1日

本院ホームページにおいて公表：<https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/pr/evaluation.html>

・評価を踏まえ講じた措置

1. 手術部位感染サーベイランスの実施に即して、貴院が補充的な審査で提示した改善策の継続的な実践と対象診療科の拡大に努めた。
2. 診療の質の向上に向けた活動に関して、補充的な審査で提示された改善策を継続的に実践した。
3. 新たに組織された業務改善委員会を縮続的に開催し、実績を積み上げた。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 下記のとおり定めました。 (1) 医療法第10条に規定された病院の管理者として要件を満たす医師であること。 (2) 大学附属病院の管理運営に必要な資質・能力を有すること。 (3) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有すること。 (4) 大阪大学医学部附属病院の理念・基本方針を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 本学のHPにて公表している。
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 本学のHPにて公表している。 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
藤尾 慈	大阪大学理事 (共創、病院担当)	○	病院運営を担当する理事 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
武田 邦宣	大阪大学理事 (人事労務担当)		人事労務を担当する理事 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
石井 優	大阪大学大学院医学系研究科長		医学系研究科長 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
野々村 祝夫	大阪大学医学部附属病院長		医学部附属病院長 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
加納 康至	一般社団法人大阪府医師会会長		医学又は医療に関し識見を有する者一般社団法人大阪府医師会会長として、マネジメントはもとより、医学・医療全般について、高い識見を有している者として選定するもの。	有 <input checked="" type="radio"/> 無

中村 博亮	公立大学法人大阪 大阪公立大学医学 部附属病院長		医学又は医療に関し識見を有する者公立大学法人大阪 大阪公立大学医学部附属病院長として、マネジメントはもとより医学・地域医療全般について、高い識見を有する者として選定するもの。	有 <input checked="" type="radio"/> 無
西野 誠	大阪府健康医療部 長		医学又は医療に関し識見を有する者 大阪府における健康医療の行政責任者として、豊富な知見を有している者として選定するもの。	有 <input checked="" type="radio"/> 無

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有 無 ）
- ・ 公表の方法
本学のHPに掲載
- ・ 規程の主な内容
大阪大学医学部附属病院規程に副病院長及び病院長補佐は管理者（病院長）が指名すると規定している。
 - ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割別紙2のとおり
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
国立大学附属病院を取り巻く様々な課題に対して、病院長のリーダーシップ、病院長を支えるサポート体制の強化及び病院経営等、病院執行部のガバナンス強化に向け、各国立大学附属病院の病院長、副病院長、看護部長及び事務部長等の次世代リーダー等の役職者を対象に国立大学附属病院長会議が主催する幹部職員セミナー（病院長塾・病院経営次世代リーダー養成塾）に参加させ、育成しており、今後も引き続き参加させる。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2回</p> <p>・ 活動の主な内容</p> <p>○医療安全管理体制の活動報告：以下の委員会・部会等から活動報告を行う。</p> <p>感染対策委員会、医療放射線安全管理委員会、高難度新規医療技術審査部、未承認新規医薬品等診療審査部、医薬品安全管理委員会、医療機器安全管理委員会、リスクマネジメント委員会、医療クオリティ審議委員会及び医療安全の中央機能に係る報告</p> <p>○医療安全に関する特筆すべき取組があれば報告</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 公表の方法：本学のHPに掲載</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
倉智 博久	大阪母子医療センター 総長	○	医療側・経営側の両知識を有する者として選定	有・(無)	1
橋本 重厚	福島県立医科大学 会津医療センター 糖尿病内分泌代謝 ・腎臓内科学講座 教授同附属病院医療安全管理部長		医療安全管理部長として医療安全管理の専門家として選定	有・(無)	1
水島 幸子	水島綜合法律事務所 所長		法律の専門家である上、医療に精通している者として選定	有・(無)	1
橋本佐与子	認定 NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML 理事		患者・医療者双方のコミュニケーション能力を高める活動等に取り組み、患者目線で医療について助言できる者として選定	有・(無)	2

井上 恵嗣	大阪大学理事		リスク管理を担当する 理事として選定	有・無	3
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

平成29年7月19日に大阪大学コンプライアンス推進委員会を設置し、各種コンプライアンス事案（研究上の不正行為、研究費の不正使用、情報漏えい事案、公益通報事案等）の総括と、コンプライアンスの推進に係る取組みの検討及び実施等を行っている。

また、下記のとおり具体的な取組みを行っている。

○大阪大学行動規範の制定

○コンプライアンス事案の発生を踏まえた再発防止策の検討及び実施（本部事務機構の各専門部署等による集合型研修やe-learningによる各種コンプライアンス教育の実施、注意喚起文書の発出、各種冊子やリーフレット等の配布、各種通報・相談窓口の設置及び周知等）

○コンプライアンスに関する教職員意識調査の実施

・ 専門部署の設置の有無（ 有 無 ）

・ 内部規程の整備の有無（ 有 無 ）

・ 内部規程の公表の有無（ 有 無 ）

・ 公表の方法

本学のHPにて公表している。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 理事会等とは別に総長が設置する大阪大学医学部附属病院戦略会議の下に下記委員を構成員とする大阪大学医学部附属病院管理運営専門委員会を平成31年3月8日に設置し、令和5年9月27日に管理運営専門委員会を開催した。 専門委員会では、病院長から外部委員に対して下記事項についての説明を行い、質疑応答の後外部委員から特に本院の管理運営に関する指摘事項は無かった。 ・ 会議体の実施状況（年1回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="radio"/>有・<input type="radio"/>無）（年1回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有<input type="radio"/>無<input checked="" type="radio"/>） ・ 公表の方法 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
御前 治	吹田市医師会長		有・ <input type="radio"/> 無
倉智 博久	大阪母子医療センター総長		有・ <input type="radio"/> 無
吉川 秀樹	ベルランド総合病院 医学教育センター長		有・ <input type="radio"/> 無
林 紀夫	独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院 病院長	○	有・ <input type="radio"/> 無
松坂 英孝	大阪ガス株式会社顧問		有・ <input type="radio"/> 無
橋本 佐与子	認定 NPO 法人 ささえあい医療 人権センターCOML 理事		有・ <input type="radio"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (年 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 院内各会議にて附議・周知するとともに、本院 HP の職員専用ページ及び院内ホームページ・インターネットに設置の趣旨及び通報方法等を掲載

副病院長・病院長補佐の所掌業務及び主な課題(令和6年度)

	担当区分	氏名	所掌業務及び主な課題		
副病院長	財務・人事労務	坂田泰史	財務	①病床運営のための経費支援 ②病院基盤整備経費配分 ③長期的展望に立った財務基盤の確立	
			人事労務	①人事労務 ②看護職員の確保 ③医師の処遇改善	
	医療安全・がん診療	江口英利	医療安全	①医療安全管理体制担当校としての業務 (医療安全・質向上のための相互チェック及びピアレビュー等) ②院内の医療の質・安全	
			がん診療	①オンコロジーセンターの運営 ②がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療中核拠点病院関係 ③がんプロを後継する発展的事業の開拓	
	地域医療・医療情報 外部評価	武田理宏	地域医療	①医療情報を介した地域医療の充実	
			医療情報	①医療情報	
			外部評価	①外部評価(機能評価、特定共同指導等)に対する院内準備	
	ホスピタリティ	岩崎朋之	ホスピタリティ	①患者接遇の向上に関する取組 (ご意見箱の対応、盗難防止対策、禁煙対策、職員教育など) ②ボランティア活動の充実	
	病院長補佐	小児・周産期	北島康司	小児医療	①小児医療
				周産期	①周産期医療
再開発		貴島晴彦	再開発	①病院再開発の企画・機能強化に関する検討	
研究・臨床研究中核病院		下村伊一郎	研究	①臨床研究支援体制整備及び未来医療開発部の強化発展	
			臨床研究中核病院	①臨床研究中核病院	
中央診療施設		小川和彦	中央診療施設	①中央診療施設	
広報・中期目標・計画		猪阪善隆	広報	①病院ニュース・アニュアルレポートの作成 ②職員募集計画を念頭においた広報戦略 ③市民への病院紹介コンテンツの立案 ④病院フォーラムの企画	
			中期目標・計画	①中期目標・計画の策定と評価	
教育・診療体制		新谷康	教育	①研修医・新専門医制度 ②メディカルスタッフに対する大学病院の特徴を生かしたキャリアパス開発	
			診療体制	①診療体制の整備充実・病棟再編事業の発展的継続 ②手術・ICU運用	
救急医療		織田順	救急医療	①救急医療	
女性支援・ダイバーシティ		中島和江	女性支援	①女性教職員の安定的就労支援	
			ダイバーシティ	①男女教職員の多様な働き方の確立	
経営・組織改革		多田典史	経営	①経営戦略の検討	
			組織改革	①事務組織の改革	
その他一般業務	土岐祐一郎				

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>阪大病院ニュースの発行：紙媒体で年4回発行し、本院の活動を情報発信している。</p> <p>病院要覧：紙媒体で年1回発行し、本院の概要を掲載している。</p> <p>ホームページ：随時更新し、情報発信している。阪大病院ニュース、病院要覧、診療等実績データ、国立大学附属病院機能指標データ等をPDFで掲載している。</p> <p>病院見学会：年1回一般市民を対象に開催している。（令和3・4年度は、コロナ禍で見学会を休止し、動画で配信した）</p> <p>「がん診療」市民公開フォーラム：地域がん診療連携拠点病院として、がん診療啓蒙のための公開講座を、年1回一般市民を対象にハイブリッドで開催している。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>本院では、対象となる疾患等に対し、関連診療科や診療部門並びに関連医師やコメディカルが連携し、包括的な診断及び治療を実現するため、中央診療施設として以下のセンターを配置し、複数の診療科が連携して対応に当たる体制を整えている。</p> <p>・脳卒中センター ・前立腺センター ・睡眠医療センター ・疼痛医療センター ・生殖医療センター ・ハートセンター ・小児医療センター ・オンコロジーセンター ・呼吸器センター ・てんかんセンター ・消化器センター ・IVRセンター ・胎児診断治療センター ・難病医療推進センター ・子どものこころの診療センター ・糖尿病センター ・がんゲノム医療センター ・緩和医療センター ・腸管不全治療センター ・摂食嚥下センター ・アイソトープ治療センター ・リウマチセンター</p>	